

## ご質問・ご意見への回答・考え方一覧（西部エリア）

No.	区分	質問・意見	回答
1	再編方針案 全般	あまりに先のことで、まだどうなるかも分からない第3期(2035～2044年)や第4期(2045～2054年)までの再編方針案を、なぜ今公表するのか。	国の方針として、数十年間の長期間の計画を策定することになっています。現時点で、第4期までの方針は策定しますが、施設の利用状況や老朽化、人口変化を見ながら、随時、計画の見直しを行っていく予定です。
2		アセットマネジメントについて、国主導の計画なのか、熊谷市独自の計画なのか。	国から要請されているものではありませんが、本市独自の計画です。
3		コストの削減という点では、維持管理よりも解体・新設の方が、費用が掛かりそうだが予算はあるのか。	老朽化した施設の維持管理には構造的に比較的高いコストがかかります。そうした施設を更新することで、全体的なコストを削減するものです。
4		人口減少や施設の統廃合について、もっと市民と問題共有すべきではないのか。	エリア別説明会、地域説明会、市政宅配講座等で説明していきます。
5		タイトルが分かりにくい。公共施設に学校を含むということを書いた方が分かりやすいのではないか。	公共施設の全てを対象としており、学校施設も含むものです。
6		方針案の決定プロセスを教えてください。方針決定後、この方針案の市行政での位置付けはどこなのか。議決はとるのか。方針案の見直しのローリングはどれくらいか。	エリア別・地域説明会での御意見を踏まえて、再編方針に基づく個別施設計画案を作成し、パブリックコメントを行います。パブリックコメントでの御意見を踏まえて、個別施設計画を策定し、議事に報告します。 個別施設計画の見直しは、少なくとも、国勢調査に基づく推計人口が更新される5年ごとに行う予定ですが、必要であれば随時、毎年度でも行います。
7		公共施設の新設や改廃について費用がどのくらいかかるか分からない。	費用推計については、個別施設計画の策定に合わせ、公表していきたいと考えております。
8		1. 40年間の建替えにかかる135億円の検証と実際に統廃合にかかる費用の差額(これだけの新築があって大丈夫なのか) 2. 施設の統廃合だけでなく、組織や余剰人員に係る経済的効果とデメリットの検証	費用推計については、個別施設計画の策定に合わせ、公表していきたいと考えておりますが、新築の場合でも純増ではなく、より広い面積の廃止とセットになった新築ですので、単純な更新よりも費用を抑制できる見込みです。更新費用推計(135億円の根拠)については、熊谷市公共施設アセットマネジメント基本方針の第3章(39～46頁)に記載されていますので、御参照ください。組織や人員への影響についても考慮していますが、小規模施設の集約や指定管理者制度の活用によるメリットの方がより大きいものと考えています。
9		地域の高齢化・少子化・過疎化の進行中で、この再編案で地域が良くなるのが、全くイメージが持てません。	今回の再編方針案では、高齢化対策としての地域公共交通の再編・充実(スクールバスの地域循環バスとしての活用)や、少子化対策としてのより良い教育環境の整備(子ども達に「知・徳・体」の確かな学力を身に付けさせるため学校規模適正化)などを含んでいます。また、再編方針案の内容ではありませんが、過疎化(人口減少)対策として、新幹線通勤の補助や固定資産税の免除、三世同居への補助金交付などの施策を既に実施しています。

No.	区分	質問・意見	回答
10	再編方針案全般	実施する統廃合施設のモニタリングの徹底、検討項目の選別注意	適切なモニタリング等による施設の現状把握は施設マネジメントの基礎ですので、検討項目を適切に設定し、しっかりと進めてまいりたいと考えております。
11		沢山の質問、意見に同感したり、参考になったので、出張所問題でも市としても国からの方針ありきで下におろさずやってほしい。	公共施設再編方針案については、市が調査・検討し作成しました。
12		別府荘にプールができ、施設内容が豊かになるといいと思います。産婦人科に力を入れることは賛成です。	別府荘については、幅広い世代が交流できる施設として再編していくことを目指してまいります。
13		市民サービスということを前提に考えを進めてほしい。	施設の総数・総面積(量)は減らしても、サービスの水準(質)は維持・向上させることが、施設マネジメントの目標です。
14		子どもが気軽に野球やサッカーができる広場が少ないため、空き地などを有効に活用してほしい。	廃校後の施設の活用可能性については、サウンディング調査(案件内容決定の前段階での公募による民間(事業者)の意向調査等)の実施の可否も含め、地域の意見を伺いながら検討してまいります。
15		学校跡地に私立校の誘致(県北は私立校(小中)がほとんどない)	学校体育館は地域体育館への転用を見込んでいますが、体育館以外の学校施設は、原則として除却の予定です。ただし、廃校後の施設の活用可能性については、サウンディング調査(案件内容決定の前段階での公募による民間(事業者)の意向調査等)の実施の可否も含め、地域の意見を伺いながら検討してまいります。
16	適正規模	小中学校の適正規模とはどれくらいなのか。	小学校は12～18学級、クラス替えが可能な1学年2学級以上、中学校は9～18学級で1学年3学級以上が望ましいとされています。
17	学校統廃合	大麻生小学校は残してほしい。最小限の統廃合にしてほしい。	学校統廃合は、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するために推進するものです。子どもたちが適正規模の学校において、集団での生活や役割等を学べるようにしたいと考えています。
18		学校廃止には反対！もし、市の財産上税金が掛かるようなら日本政府に税金軽減or免除を交渉してください。	—
19		小学校の分校化、また、小中学校の統一	学校統廃合については、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するためにお示したものです。また、少人数学級や小中一貫校については、直接学校小規模化の解消につながるものではないことから、今後の検討課題としています。
20		小中学校の統廃合については慎重にしてください。登下校時の事故が心配です。	学校の統廃合は、適正規模による教育環境の向上を図ることを第一に考えております。また、子どもたちの体力面や安全面等を踏まえ、スクールバスの導入を考えております。

No.	区分	質問・意見	回答
21	学校統廃合	小中学校の統廃合はやめてほしい。通学が遠くなるのは危険度も増える。小規模校の方が学力がつくのではないか。	学校の統廃合は、適正規模による教育環境の向上を図ることを第一に考えております。また、子どもたちの体力面や安全面等を踏まえ、スクールバスの導入を考えております。
22		小学校・中学校は、今までのように地域により近いところで継続してください。小学校の児童数については、少なければそれなりに他校と定期的交流していけばカバーできると思います。実際、熊子連やスポーツ少年団は小学校間で交流しています。	学校統廃合については、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するためにお示したものです。
23		小中学校の統廃合について、'09～'19現在の人数(生徒数)で算出しているが、幼児数等(現7歳未満～)からシミュレーションを行っているのか。多面的に様々な可能性含めシミュレーションを行ってほしい。	未就学児の人数からも推計を行っています。
24		熊谷市がさびれていくよ。山間地と同じになってしまうよ。移動時間をもつたいない。学校は近い方がよいと思いますよ。	学校の統廃合は、適正規模による教育環境の向上を図ることを第一に考えております。また、子どもたちの体力面や安全面等を踏まえ、スクールバスの導入を考えております。
25	通学・スクールバス	小中学校の統廃合については、子ども安全面(通学路など)を重視してほしい。	学校の統廃合は、適正規模による教育環境の向上を図ることを第一に考えております。また、子どもたちの体力面や安全面等を踏まえ、スクールバスの導入を考えております。
26	学校プール	水泳授業を校外方式にて行うとあるが、移動時間等で授業の時間が短くなってしまうと思われるがどうするのか。校外方式にすることでデメリットがあるのではないか。水泳校外授業では、バス移動の負担により児童の成績が下がってしまうのではないか。また、水泳授業を2時間続けて行うことはカリキュラム的に問題ないのか。これらの不安に加え、防災上の観点からもプールの継続を望む。	校外方式の水泳授業は実際に他自治体にて既に行われています。校内式の屋外プールでは天候や水温によって授業が行えないこともあり、また、炎天下での授業のため熱中症の危険もありますが、校外方式では、室内プールのため、気温や水温も管理でき、天候等に授業の実施が左右されないメリットがあります。加えて専門のインストラクターが授業を行うため、先進市では、児童の水泳技術の上達が目に見えて分かるとの声もあり、保護者からは好評であると聞いています。 移動時間等については、水泳授業を2時間続けて行う等の方法で、授業時間を確保できると考えています。
27		プールも校内にある方がいい。校外では先生の負担も増える。	現況のプールについては、利用時期が限られ、天候により授業数も不規則になっています。屋内プールの利用することで、プール利用時期も長くなり、天候に左右されることなく、水泳授業数を確保できます。また、専門のインストラクターによる授業を通して、子どもたちの水泳能力上達が見込めます。
28	学校全般	学校のない地域に若い人は住まない。地域に必要なものは小学校、中学校、いざというときに避難できる防災施設である。学校は親がすぐに行ける距離にあるべきで、教育には予算措置をすべきである。	今回の学校統廃合は、子どもたちにとって何が一番良いかを考えて計画しています。適正規模による学校の運営を行い、集団での生活や役割等を学校生活の中で学べるようにしたいと考えています。また、地域コミュニティの維持は、防災拠点でもある地域拠点施設としての再編・整備により図っていきます。現時点では、統廃合後も各地域にできるだけ小学校か中学校のどちらかを残せるように検討しています。
29	地域会館	学校に、公民館併設は賛成だが、安全性・利便性の確保、地域活動の活性化が図れるよう検討してほしい。	併設にあたっては、安全性を確保しつつ学校機能との共存を図り、併せて地域の方々にとっての利便性も確保してまいります。

No.	区分	質問・意見	回答
30	公共交通	車がなくても、いろいろな施設に行けるようにコミュニティバスを充実させてほしいです。	<p>公共施設再編に合わせて、地域公共交通の充実を推進してまいります。具体的には、民間路線バスや「ゆうゆうバス」、地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによって構成される公共交通ネットワークを整備し、利用しやすい施設への交通手段を模索してまいります。</p>
31		高齢者のこれらの施設への足の確保を！引きこもりにならないように。	
32		施設を再編することにより、自宅から遠くなる方が多くなると思う。高齢者は近くにあるから行けるけど遠くなると足が遠のくとなる。送迎の車等があれば少しはいいと思うけど。	
33		統廃合により交通機関が必要になる場合のきめ細かな行政を	
34		公共施設の統廃合とともに、公共交通の充実をお願いしたい。	
35		高齢者の足のことが確保されないと施設に出かけ利用することもできない。	
36		複合施設化による交通移動手段についても同時進行を！	
39	人口施策等	2050年に人口が13万人になることを是としてアセットを進めるのか。人口減少を食い止める政策や若い世代を熊谷に増やすような政策はしないのか。	<p>少子高齢化・人口減少が進行している現状では、公共施設の再編は、現時点から検討し、計画していかなければならない問題であると考えております。</p> <p>熊谷市では、人口減少の対策も行ってまいります。具体例としては、新幹線通勤の補助や固定資産税の免除、三世同居への補助金交付などのほか、若い世代を本市に呼び込むためには、就労の場と産婦人科の確保が必要なため、企業誘致や事業支援を病院や農業法人にも拡大して取り組んでいます。また、子育て支援のため、妊娠から子育て卒業までの様々な相談に対応する子育て世代包括支援センター「くまっこる一む」の設置、高校卒業までの医療費の無償化、放課後児童クラブの充実などの取組を進めております。</p>
40		市人口増加のための施策をお願いする。	
41		高齢化・少子化・生産年齢人口の減少等々をどう解決するかという前提抜きの施策にしかうつらないのですか・・・	
42		減少でなく、人口増を考えた方がいい。会社、病院を呼び込む運動をしていくべきだ。	
43		住みたくなるような市づくりや人口増加への対策が先決	

No.	区分	質問・意見	回答
44	子育て支援	子育て支援に力を入れてください。このままだと他市へ引っ越していってしまいます。	本市では、平成28年3月に熊谷市総合戦略を策定し、各施策の実施により人口減少の抑制に努めておりますが、そのなかでも例えば妊娠から子育て卒業までの様々な相談に対応する子育て世代包括支援センター「くまっころむ」の設置、高校卒業までの医療費の無償化、放課後児童クラブの充実化など、出産や子育て支援を大きな柱の一つとして取組みを進めているところです。
45	市施策全般	市の施策としては、優先順位が違うのではないかと。まずは、内から改革すべきです。宜しくお願いします。	市の他の施策を進めると並行して、公共施設再編についても検討・計画していかなければならないと考えております。
46	市施策全般	廃止・除却、建て替えの計画があるのに、大規模修繕や長寿命化工事を予定している施設があるのは少しもったいない気がします。既存の施設の利活用で少しでも無駄を無くす方法を探っていただきたい。施設の統廃合と合わせて移動手段・交通網の整備を考えていただきたい。官主導ではなく、市と市民が協力しあって、暮らしやすく楽しい魅力ある地域を作っていくのが良いと思います。自分たちが暮らす地域の事に関心があり、それぞれに思いを持った方がこんなに大勢いらっしゃるのには驚きました。皆が力を合わせれば、きっと良い熊谷市になっていくと思いました。市民の想いや力は、もっともっと活用すべきだと思います。	廃止・除去・更新される施設について、サービス提供に必要な範囲の修繕等については実施していくことを想定しておりますが、コスト削減のため更に精査してまいります。公共施設の再編に当たっては、併せて公共交通の充実を推進していきたいと考えております。
47		市街地の公園の樹木をけやき・イチヨウなどの大木から小さいものに替えれば枝切りの費用が少なくなり、また落ち葉が少なくなり、付近住民も喜ぶ。	御意見として承ります。
48		人・物が移動するには、物流(人の流れ、車の流れなど)に対する近辺道路の巾幅も考えてください。	御意見として承ります。
49		市管理施設、特に大里、江南等の大規模の有効活用、一括運用し、効率を図る(14年前の市の再編がゴールではないはず)。市の発展は道路等のインフラ整備の充実が必要。物流が不可欠である。又、大型商業施設の導入、新規工業団地の導入(大里、江南地区)、病院等を中心とした新しい時代の街づくりを新設する取組を図る。 消防団員の中で(総員約500名)各参加率は？また、まったく参加していない団員がいるということ、年間の総費は？どうなっているのか。不必要な団員は削除すべきではないか。そもそも500名の団員が必要なんですか。団員が何人いても火を消すことができるんですか。	持続可能性にも配慮しつつ、合併後本市の一層の発展のため、道路等のインフラを含め、施設の有効活用と効率的維持・運営を引き続き図ってまいります。 大型商業施設や新規工業団地の導入につきましては、総合振興計画における「多核連携型コンパクト&ネットワークシティ」の考えのもと、都市計画法や農地法をはじめとする法規制や店舗・工場など事業者のニーズの有無も踏まえながら、可能性を探ってまいります。 消防団員は自身の職業を持ちながら、火災等の災害に従事しており、災害活動の他にも防災訓練の活動や救急救命講習等に御協力をいただいております。 また、大規模災害時には、多くの消防団員の活動協力が不可欠であり、現在、熊谷市消防団の条例定数528名に対して令和元年8月1日現在の実員は491名となっており、団員数が不足している状況であると考えます。
50	町づくりが大事。魅力ある熊谷市を作っていくことが重要です。	少子高齢化・人口減少が進行している現状では、アセットマネジメント(公共施設の再編)は、現時点から、検討し、計画していかなければならない問題です。公共施設再編と並行し、住みやすい街づくり目指してまいります。	
51	説明会	6月下旬から7月にかけての説明会では、農繁期で忙しくて出席できる者が少ない。地域で個別に説明会を行ってほしい。	3月から自治会等の様々な団体に説明してきましたが、詳細な資料をまとめ、広く市民の皆様にも、可能な限り早く周知するためにこの時期となってしまいました。エリア別説明会後、学校の再編が見込まれる地域について、地域説明会を開催します。また、市政宅配講座ではアセット全般のお話しをさせていただきます。

No.	区分	質問・意見	回答
52	説明会	出席者に若い人が少ないです。もっと広く知らせる必要があると思います。	今後アナウンス方法について研究してまいります。
53		今回の説明会では、不安しか残りませんでした。アセットマネジメントをすることで、こんな熊谷市になりますという未来の熊谷に希望が持てるような説明会になるとよかったです。多くの方はアセットマネジメントには賛成あるいは仕方ないと思っているのです。	ご指摘ありがとうございます。今後工夫してまいります。
54		統廃合・削減等に関連する地域にて説明会を実施し、地域住民を納得させてください。問題が多い。	統廃合が想定される小学校での地域説明会、各施設の利用者への説明会等の開催も予定しており、御意見を伺わせていただきたいと思いますと考えております。
57		各自治会への合同説明会をお願い	市政宅配講座にて対応させていただきます。
55		各小学校区別の説明会開催を要求する。	統廃合が想定される小学校での地域説明会、各施設の利用者への説明会等の開催も予定しており、御意見を伺わせていただきたいと思いますと考えております。
56		方向性はわかります。具体的には別途説明要。	
37	アンケート	市民向けアンケートについて、複合・廃止を前提としたアンケート内容である。これで市民の声を聞いたと言えるのか。	平成26年度実施のアンケートでは、複合施設化を推進するアセットマネジメントの考え方に8割以上が賛成としています。平成29年度のアンケートは、それを踏まえて作成したものです。
38		アンケートの対象として自治会等をもっと利用してほしい。	アンケート調査は、客観性を担保するため対象者を無作為に選んでいます。
58	その他	籠原駅北口が区画整理によって駐車場が増え、商店がなくなった。この区画整理は40年前に計画されたものをそのまま行っている。現段階で40年後の計画を策定して今後見直しは行われるのか。区画整理と同じように策定時の計画のまま統廃合を行っていくのではないのか。	個別施設計画の見直しは、少なくとも、国勢調査に基づく推計人口が更新される5年ごとに行う予定ですが、必要であれば随時、毎年度でも行います。
59		取組が遅い。人口減少等は30年以上前から分かっていた。この30年はどのような対策を考えていたのか。	インフラを含めた施設の有効活用と効率的な維持・運営については、以前から取り組んできているところですが、これまでは各所管が個々別々に対応している状況でした。今後は一定の方針に基づいた全庁的な調整を行った上で、より効率的・効果的な取組を進めてまいりたいと考えております。

## ご質問・ご意見への回答・考え方一覧（北部エリア）

No.	区分	質問・意見	回答
1	再編方針案 全般	市の考える「市のあるべき姿」は資料のどこを見れば分かるのか。文言では分かりにくいので、資料3のような全体図で施設ごとにいちいち分けず全部まとめ、パッと見て分かるよう掲載してほしい。	今回の再編方針案における「市のあるべき姿」としては、資料2の1ページにあります基本的な考え方とおおりです。「資料3のような全体図で」「パッと見て分かるよう」にとのことですが、再編関連施設を全て1枚にまとめてしまうと資料が大変見づらくなってしまいうため、分野ごとに分けて掲載しました。なお、今後の資料作成では、「全体像の一覧性」という視点もより重視して取り組んでいきたいと考えます。
2		人口減少の中で市内の公共施設が555施設あるのは多いと言っていたが、比較したデータはあるのか。何と比較して多いのか。データの数値が古いのは何故か。最新のデータを用いるべきだ。	施設数については平成27年度に基本方針を作成した時のもので、より詳細なデータは公共施設白書でまとめています。例えば、深谷市では1小学校あたりの生徒数が約410名、中学校では約370名に対し、熊谷市では1小学校あたり約320名、中学校は約300名となっており、太田市と比べても同様の傾向で、近隣市に比して学校数は多い状況と言えます。基本方針は2015年の国勢調査を基に作成しているため、数値が古いものとなっています。来年度、平成27年の国勢調査に基づく人口推計を受けた見直しを行う予定です。
3		アセットに反対である。旧熊谷市と旧妻沼町との合併時の約束は「サービスについては絶対に低下させない」とのことであった。アセットによってサービスが低下する可能性があるように見えるため、反対である。	施設の総数・総面積(量)は減らしても、サービスの水準(質)は維持・向上させることが、施設マネジメントの目標です。御心配のようなことにならぬように、引き続き検討してまいります。
4		熊谷市は縦長です。子育ての福祉施設など一番はしの妻沼地域に集めすぎです。小さな子供を連れての車での移動、思いのほか大変です。まず、小中統合など考える前に、商業施設をなんとかしていただきたいです。熊谷は何もなさすぎです。小学生の遊び場ありません。買物は市外へ行きます。今回の説明会でのお話を聞いて、ますます住みにくい市になっていくと思いました。市の商業を牛耳っているというわさの八木橋をなんとかしてください。	「子育ての福祉施設など一番はしの妻沼地域に集めすぎ」という御指摘は、妻沼児童館や妻沼運動公園子供広場を指してのことかと推察いたしますが、現在の再編方針案では、中央エリアへの(仮称)こどもセンター整備を想定しております。また、東部エリアに整備予定の(仮称)道の駅「くまがや」には、相当規模の屋内遊び場を併設することも検討されております。子育て支援施設については、配置のバランスも考慮しつつ、検討してまいります。
5		活動の中心は施設廃止ですか？利用、活用のマネージメントはどうですか？利用しづらくなるようですが。	施設の総数・総面積(量)は減らしても、サービスの水準(質)は維持・向上させることが、施設マネジメントの目標です。
6		熊谷市公共施設再編についての必要性は理解出来ました。今後の市政サービスの方向性を明示頂くことと共に市民ニーズの集約方法を増やして頂きまとめてくださる様お願いします(子供達の気持ちが最優先なのは？)	施設利用者の御意見やアンケート調査の実施結果、説明会での御意見等を踏まえて、市民の皆様とともに考えてまいります。
7		世代を超えて集えるエリアの開設。一つの箱物の中に各々の活動内容を集約すると便利(建物をあちこちに開設しない)。説明会…資料が多すぎ(複雑)、又紙の質がよすぎます(カラー、上質紙)ここまでの必要性に疑問。	幅広い世代が集える施設の新設・集約を図ってまいります。
8		すべてが統計、数字上の机上の計画でしかありません。住民、学校に通う子どもの顔、意見、思いが見えてきません。特に学校の地域における存在の意義・役割がまったく配慮されていない。	子どもの教育環境を第一に考え、併せて地域活動の維持についても、公共交通の充実・地域会館の整備等を考えていきます。

No.	区分	質問・意見	回答
9	再編方針案全般	業者まかせのように思えたが、市が主導権を取ってやってほしい。小中学校の統廃合には絶対反対です。給食センター化も自校方式で進めるのが市の方針だったはずなのになぜ、ここでセンター化なのか理解できない。(センター化の方が予算がかかるという話だったが…)財源がないという説明だが、地方交付税の代わりに地方債の発行が認められているはずなのでそれを活用すべきである。	公共施設再編方針案については、市が調査・検討し作成しました。学校統廃合については、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するためにお示したものです。今後、PTAの方々から御意見を伺ってまいります。給食施設については、自校式の整備について具体的な検討を行いました。敷地の確保などの課題が明確になり、改めて給食施設のあり方について検討を行い、今回、センター方式とすることといたしました。また、施設整備等において利用できる制度については、財政負担の軽減の観点から活用してまいります。
10		再編により、不便になることは覚悟しているが、できるだけ市民サービスが維持できるよう最善を尽くしていただきたい。	公共施設の再編に当たっては、市民サービス維持と利用者皆様の活動の場を確保を図り、併せて公共交通の充実を推進していきたいと考えております。
11	学校統廃合	学校の統廃合を行うとのことだが、学校教育は縮小してはいけないのではないかな。	統合後も教育が縮小されてしまうことのないよう努めていきます。
12		妻沼にスクールバスで通うことが市民、子どものためになると言えるのか。妻沼は地域で小学校を守ってきた。	学校の統廃合は、適正規模による教育環境の向上を図ることを第一に考えております。また、子どもたちの体力面や安全面等を踏まえ、スクールバスの導入を考えております。
13		本計画の一番の犠牲者は子どもであり、子どもを優先した計画を考えるべきである。スクールバスを走らせれば解決するのか。部活動等後の帰宅に対応できるのか。また、学校のない地域には、若い人は集まらないのではないかな。	子どもたちにとってより良い教育環境を整備するために推進するものです。子どもたちが適正規模の学校において、集団での生活や役割等を学べるようにしたいと考えています。スクールバスの具体的な運用については、今後検討してまいります。
14		公共施設と学校教育施設は同じ土壌で考えられない。	公共施設全般については、熊谷市公共施設アセットマネジメント基本方針や同基本計画に基づき検討しておりますが、学校教育施設、特に小中学校については、「熊谷市立学校の適正な規模に関する基本方針」に定める基準に従って検討した結果(案)をまとめたものです。学校を統廃合するのは、コスト削減が第一ではなく、適正規模による教育環境の向上を図るためです。
15		小中学校は今まで通りが良い。給食センターは反対。	学校統廃合は、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するために推進するものです。給食施設については、現在、給食センター式、自校式と調理方式が混在していることから、市内の子ども達に格差が生じないよう、同じ調理方式、同じ献立等により給食を提供してまいりたいと考えております。新たな給食センターでは、衛生管理やアレルギー食について管理の一元化を図り、安心、安全な給食の提供に努めてまいります。また、食育など自校式のメリットを取り入れた運営についても現在、検討しております。
16	学校は地域コミュニティの中心であり、未来です。また防災拠点です。	現在の学校・体育館は、地域活動の拠点となる地域会館としての整備をし、引き続き防災拠点としていくことを想定しております。	

No.	区分	質問・意見	回答
17	事前の 転校 ・ 指定変更	私の息子は3年後に小学校にあがるのですが、今の区域だと男沼小学校の予定です。男沼小学校と妻沼小学校とちょうど境目の区域に住んでおり、妻沼小学校を選択することは可能なのでしょうか？ 男沼小学校は人数も少なく、通学班も隣の地区まで行っている子たちを見ていると我が息子も心配になります。 男沼小学校まで通学して途中から再編することがよいことなのか？それであれば別の小学校に最初から通うという選択肢が可能なのか？お尋ねしたいです。 また再編時期が早まるということはないのでしょうか？	学区については、変更の予定はありませんので、男沼小学校を指定校とさせていただきます。 入学時から新しい学校に通うことについては、想定していません。 再編時期が早まる予定は現時点ではありません。  →その後、検討を行った結果、原則、統合するまでは統合前の学校に通うようすべての保護者の方々にお願いすることといたしました。ただし、お子様にとって途中で学校が変わることが不登校やいじめ等の心配があり不安な場合には、指定校変更の申請により個別に協議いたします。
18	学校プール	小学校のプールは子どもたちが四季を感じる貴重な場であるため、残すべきである。水泳授業を校外方式にて行うとあるが、移動時間等で授業の時間が短くなってしまおうと思われるが時間割はどうするのか。カリキュラム等はどう組むのか。それを踏まえて、校外プールの利用時間はどう確保されるのか。	カリキュラムの工夫等で対応できると考えています。例えば、3時間のうち、前後の時間をバスでの移動等に充て、1回に2時間の授業を行ったり、補修授業を夏休みに行ったりしていく予定です。
19		民間施設のプールを利用するにあたってどのように利用するかたちになるのか。キャパシティはあるのか。児童・生徒が使用するレーンと施設利用者のレーンはどう分けるのか。	具体的な検討を進める中で、民間事業者と調整していきたいと考えております。
20		校内プールをなくしてしまったら火災等の災害時の水源確保はどうするのか。防火水槽としての役割はどうするのか。	プールとは別に防火水槽が設置されています。有事の際の飲料水は給水車等での対応を想定しています。
21	給食	自校給食は災害時避難所となる学校に絶対に残すべき。	新たな学校給食センターでは、災害時に稼働できる調理機器等の整備を行い、炊き出し・搬送による避難所の支援を検討しております。
22	公共交通	アセットに断固反対である。高齢者の施設利用の交通手段について考えているのか。	老朽施設の廃止や市民ニーズに合致した施設の新設・集約と同時に、公共交通の充実も推進してまいります。具体的には、民間路線バスや「ゆうゆうバス」、地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによって構成される公共交通ネットワークを整備し、高齢者にも利用しやすい施設への交通手段を模索してまいります。
23		地域拠点施設まで歩いていけない老人が増えます。老人の為の「お茶のみ」の為の施策を考えて欲しい。個人宅で開催の場合の補助、物的支援が必要です。	施設利用にあたり、できるだけ御不便のないように、地域公共交通の充実を推進してまいります。
24	市施策全般	子育てしやすいまちづくりをしていかないと、どんどん隣りまち（深谷・行田）と差ができてしまう。駅から離れた妻沼に、支援拠点をおくのは車の運転のできない人など交通手段を考えなきゃならない。これでは本当に子育てしにくいまちになってしまう。若い人が子育てしやすい魅力のあるまちにしてください。	妻沼の中心部は、市街化区域であり、鉄道駅こそないものの、民間バス路線等は比較的充実していますので、エリアの拠点たり得るものと考えております。民間路線バスや「ゆうゆうバス」、将来的には地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによって構成される公共交通ネットワークの整備を引き続き進め、「子育てしやすい魅力のあるまち」を目指してまいります。
25	庁舎	市役所の建替えを考えているのか。公共施設の建て替えの基金はあるのか。	市役所の建替えは20年後の予定で、それまでは既存の建物を利用していきます。また、公共施設建設基金として、約90億円を積み立てています。

No.	区分	質問・意見	回答
26	地域 コミュニティ センター	妻沼東のコミュニティセンターの地元譲渡について詳しく伺いたい。	他の自治会では地元で集会所を建設している中で、妻沼東地区については区画整理時に当時の町で建設しました。これを全市的に統一することを検討しています。
27	本町駐車場	施設の維持・管理やコスト削減を目的とするならば、市営本町駐車場を先にやめた方がよっぽどいいのではないかと。市営駐車場の維持・管理費はどうなっているのか。	運営改善方策等を検討し、個別施設計画を策定します。
28	説明会	今回の説明や質疑応答は録音しているのか。録音しているのであればデータが欲しい。市役所の文言では分かりにくい上に説明ではより大切なことを言っているため、説明したデータ等が欲しい。今回の説明会について記録していると思うが、書記は誰がやっているのか。	今回の説明会の内容は、資料のほか説明文も掲載します。書記は、各職員が記録しています。
29		説明会の内容を広報で配ることができるか。	市報の限られたスペースへの掲載方法を検討します。
30		現在、小学生の子どもを育てています。小学校児童数が少ないことには危機感を抱いています。今回の説明会は、ご年配の方が多く否定的な意見も多かったが、子育て世代、若い方の意見も必要だと思います。	御指摘のとおりであると考えます。子育て世代や若い方の意見を伺うため、現在、子育て支援のNPOと連携した説明会の開催を検討しております。
31		参加者の割合が高齢者が多い。政治もそうだが、もっと若い人の意見を聞いてください。若い人は、なかなか参加しないが、意見を吸いあげてください。	若い世代の意見を吸い上げるため、例えば、平成29年度に実施した「公共施設マネジメントに関する市民アンケート」では、「中学生以上」の市民を対象に実施しました。御指摘はもっともであると考えますので、引き続き若い世代の意見を聴く方法を工夫してまいります。
32		もっと理解しやすい言葉での説明をお願いします。	今後、工夫してまいります。不明な点については、お問い合わせください。
33		各施設の現場の情報少数意見を取り入れる方針を次回に説明して下さい。	各施設のごとの利用者への説明等を行ってまいります。

## ご質問・ご意見への回答・考え方一覧（中央エリア）

No.	区分	質問・意見	回答
1	再編方針案全般	今回エリア説明会は、2050年頃までの長期プランでよかった。熊谷市はプランを実行してほしい。賛成。頑張ってください。苦言を呈せば反対は必ずいます。絵に描いた餅にならないことを祈ります。	人口推計や建物等の状況の変化を踏まえ、市民の皆様の御意見を伺いながら、計画を見直し、推進していきたいと考えています。
2		人口も減るし、施設も少なくなるのは事実と考えられる。ならばいかに費用を圧縮して事業を行うかを真剣に考えなくてはならない時期に来ていると思う。建物と共に人件費、採用する建設会社の精査、1円でも無駄にしない心構えが必要なのかと思う。	御意見として承ります。
3		人口減、税収減を前提とした公共施設再編ではだめである。熊谷市をどう発展させるかの中長期ビジョンを元に公共施設再編計画を考えるべき。子供の教育ビジョンがあり小中学生、保育園の統廃合を考えるべき。今のやり方では熊谷市に未来はない。	市の政策の一つとして、これからも進行すると思われる人口減少への対策として、公共施設の再編を考えております。
4		イオン内等（民間業者）のテナントを公共施設として一部借りた場合のメリットはどのようなものか。	これからの検討となります。
5		施設集約でなく、空家を利活用して、人々が集まれる場所をつくることはどうか。	御意見として承ります。
6		将来が不安になりました。	人口減少の進行する将来を見据え、今から準備していかなければならない課題です。
7		時代の変化、仕方ないことと思います。がんばってください。	今後も人口減少が予想されますので、市民皆様とともに検討してまいりたいと考えております。
8		文化施設（利用価値のあるもの）がほしい。	施設分野別の再編の中で検討してまいります。
9		ネット社会や新技術を考慮した新しい発想/インフラで再検討をお願いします。	御意見として承ります。
10	学校統廃合	荒川中と大原中の統合について、大幡中も統合となった場合、位置的には大原中が真ん中の位置になると思うが、将来の位置も想定して考えているのか。	今後の生徒数の推移や北部エリア（中条・奈良）との統合可能性を視野に入れ、検討していきます。

No.	区分	質問・意見	回答
11	学校統廃合	将来なくなると決まっている学校に子どもを入れたくないと考え、その結果生徒が減るのではないか。また、児童・生徒数について、現在時点で学区を越境して通学している児童・生徒もいることを考慮して検討すべき。	統廃合までは、原則として、元の学校に通うことといたします。保護者の方々にもそのようにお願いしてまいります。 →その後、検討を行った結果、原則、統廃合するまでは統廃合前の学校に通うようすべての保護者の方々をお願いすることといたしました。ただし、お子様にとって途中で学校が変わることが不登校やいじめ等の心配があり不安な場合には、指定校変更の申請により個別に協議いたします。
12		学校の統廃合は、公共施設では、最後に取り組む事案と考えます。	学校統廃合については、他の公共施設再編とは別の視点で検討しております。少子化が進行する中で、子ども達の教育環境を第一に考え検討していかなければならない課題です。
13	小中一貫校等	学校統廃合について、小中一貫校を考えていないのは何故か。	配布した資料には記載していませんが、義務教育学校としての運営方法もあるため、事例の研究を含め、今後検討していきます。県内では春日部市で1校事例があります。併せて、学区見直しも検討していきます。
14	学区	学区について、鉄道や幹線道路を通学区境としてはどうか。	今後、統廃合のタイミングで学区の見直し等も行います。学区を単独で見直すことは困難です。
15	学校プール	水泳の校外方式導入により移動手段の確保が必要になるがどのように考えているのか。	スクールバスの利用を考えています。また、スイミングスクールを利用する場合にはスイミングスクールのバスの利用も検討しています。
16		水泳の校外方式は夏休み中を想定しているのか。若い意見を取り入れてほしい。	1年(5月から11、12月の間)の通常期間を想定しています。
17	その他 学校関連	余裕教室を貸していただきたい。最近の事件から校内の安全の確保をしたいのも分かるが、貸していただきたい。	学校と相談します。
18		学校の統廃合の厳しい中ですが、私立の学校に来てもらえれば状況が良くなると思いますので、検討して下さい。	御意見として承ります。
19	地域会館	(仮称)地域拠点施設について、公民館併設は体育館の中に併設なのか、敷地内に併設をするのか。敷地内とした場合、さらに学校敷地が狭くなる。	大幡公民館はくまびあに機能集約を考えています。学校体育館を地域体育館に転用した際の公民館併設については、建物内ではなく敷地内の併設を考えています。具体的な場所として考えているのは、校外方式等により廃止した後のプール跡地の活用を考えています。
20		高齢化の進行で、公共交通の充実が必要だが、公民館等は歩いていくことのできる場所にあったほうが良い。	老朽化した施設の集約と共に、公共交通の充実を図ってまいりたいと考えています。

No.	区分	質問・意見	回答
21		新施設を作った場合に交通手段がどうなるのか知りたかった。	公共交通の充実・利便性の向上が課題と認識しております。
22	公共交通	施設統合すると交通に不便を生じる事があります。バス等の交通も併せて考えてほしいです。	公共施設再編と同時に、民間路線バスや「ゆうゆうバス」、将来的には地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによって構成される地域公共交通ネットワークの整備を引き続き進め、地域公共交通の充実も図ってまいります。
23	跡地利用	石原児童館が2027年に廃止とあるが、跡地の利用は考えているのか。	これからの検討となります。
24		集約は良いと思うが跡地をどうするのかまた管理はどうするのか。	計画の進捗に合わせ検討してまいります。
25	保育所	保育所について、数を減らさず小学校近隣等に設置した方がよいのでは。	現在の公立の保育施設はほとんどが老朽化しています。また、10月から幼児教育・保育の無償化が始まります。ただし、少子化等で適正の見極めが難しい。
26		少子化が進むなか、幼児と保護者への負担がより大きなものになる。保育施設の集約は送迎する保護者に負担がかかる上に、集約した分の児童全員を見ることは保育士にも負担がかかる。児童人数が多い中で、どのような保育をするのか。少ない人員の施設を各所に配置するのが良いのではないか。	4施設の統合ではありますが、定員については検討していきます。玉井保育所については、近隣の民間の認可保育園での受け入れも考慮しています。
27		蚕業試験場跡地に保育所を設置予定とあるが、道路はどうするのか。入口に接する道路が一方通行であり、現在も不便な状態だが、保育所となると送迎等でさらに混雑すると思われるため、道路行政に大きな課題があると思われる。	現時点で、道路の拡幅は想定していません。
28	蚕業試験場跡地	蚕業試験場跡地は道路が不便なので一方通行の道路を拡幅してほしい。	現状では困難と考えておりますが、交通渋滞対策等検討してまいります。
29		蚕業試験場跡地利用に際し、進路の整備は重要。地域住民の理解は得られないと思う。	交通渋滞対策の中で検討していきたいと考えています。
30		公共施設の変更により交通の流れが変化するので道路整備は第1に考えるべきであります。蚕業試験場跡地利用については特に考慮の必要があります。	御意見として承ります。

No.	区分	質問・意見	回答
31	防災	防災について皆無。防災についての基礎構想・地域防災についての計画を組み入れてほしい。学校統合について、基本方針に小中一貫校があったのですが人数合わせの統合になっている。	公共施設統廃合とともに、地域防災計画の見直しも行っています。小中一貫校・義務教育学校については、研究を重ねつつ検討してまいります。
32	ホール	文化施設をなぜ集約するのか。また、なぜさくらめいと的位置に集約施設を作るのか。市の中央に文化施設がなくなってしまうのか。	ホールは現在市内5カ所にあり、これらを集約するものになります。位置は不確定です。中央エリアの図書館は既存の位置のままを想定しています。
33	市施策全般	人口が減れば税収が下がるのはやむを得ないが、ふるさと納税等収入を上げる取組をしているのか。	熊谷市のふるさと納税による収入は2,500万となっており県内15位となっています。
34	説明会	資料1の15ページにある建替費用についての算出方法を教えていただきたい。この建替は同規模修繕で考えたものなのか。	国で示している基準(施設種類ごとの面積単価)に床面積を乗じて算出しています。
35		資料1の税収の根拠は。	1人当たりの税収に人口を掛けて算出しています。
36		(説明会では、参加者用の)机を設置することを考慮していただきたい。	御用意できず、申し訳ございません。
37		熊谷市の公債費は年々減少していると聞かすが、資料1を見ると減少していない。どういうことか。	資料1は地方自治体全体のもので、熊谷市は、公債費は年々減少しているのは事実です。
38		資料1のデータは地方自治体全体のものだけでなく熊谷市のもも入れてほしかった。	御意見を参考にいたします。
39		分かりやすく資料を説明してほしい。	分かりやすい資料作成に努めてまいります。
40		これからのことなので、若い人や子育て世代に参加してもらおう工夫をした方が良い。	御意見ありがとうございます。検討してまいります。
41		説明が長く、質疑応答の時間が短い。	説明会においては、配付資料が多く、市からの説明時間も長くなってしまい申し訳ございませんでした。御意見・御質問等ございましたら、お問い合わせください。
42		質疑応答を含めた説明会の内容を公表してほしい。 市民からの意見・提案について、どうなったかをフィードバックしてほしい。	説明会報告書がまとまりましたら、本庁舎・行政センター等での閲覧やホームページにて公表いたします。
43		資料1に公共施設再編後の予算と歳入を入れてほしい。(熊谷市の予算と支出の関係と今回の公共施設再編の影響がわかりづらい)	御意見として承ります。

No.	区分	質問・意見	回答
44	説明会	この案の修正版はいつ発表されますか。	令和元年12月頃に改正案のパブリックコメントを実施する予定です。
45		40年間の計画であるなら子育て世代など若い人たちの意見を積極的に聞くべきだと思います。公民館や学校などの統廃合によって使いにくくなり悪循環になるのではないかと。説明がわかりにくい。	子育て世代等の若い方々からの意見聴取にも務めていきたいと考えています。
46		これだけ多くの問題点があることはわかった。机くらいは準備してください。国のデータを基に算出では135億円では不足しますね。もちろん全部立て替えた場合ですが…	説明会参加者皆様に机をご用意できず申し訳ございませんでした。現在ある公共施設を今後全て更新することは不可能であることは明白な状況です。
47		今回で説明会が終了と言う事ないですね。施設に行く交通網が説明あれば良かったが、利用するのは住民ですから、住民が使うように	各施設の再編等についての個別の説明のほか、再編方針や校別施設計画については、随時、見直し・公表をまいります。
48		今後もこのような説明会を是非とも開催をお願いします。長期に亘る計画であるので、進捗情報を伝達して下さい。	
49		市の現状、公共施設等の現状を知り得た事は大半ではないかと思う。「挨拶」については、簡単に願います。目的だけで良いのではないかと。	御意見として承ります。
50	再度の説明会を求めます。	各施設の再編等についての個別の説明のほか、再編方針や個別施設計画については、随時、見直し・公表をまいります。	
51	アンケート	アンケートはどこを対象としたのか。自治会単位でアンケートを取ったのか。回答率は。	アンケートは無作為抽出です。平成26年度のは33%ほど、平成29年度のは23%ほどとの回答でした。

ご質問・ご意見への回答・考え方一覧（東部エリア）

No.	区分	質問・意見	回答
1	再編方針案全般	取組は、理解できますが、個別的には、地域性及び現在ある施設の位置により、利活用が困難なものもある。	公共施設再編に合わせて、地域公共交通の充実を推進してまいります。具体的には、民間路線バスや「ゆうゆうバス」、地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによって構成される公共交通ネットワークを整備し、利用しやすい施設への交通手段を模索してまいります。
2		市が長期的に公共施設マネジメントを取り組み方向性を見出している大変良いと思う。早く実施できてこそ市民の生活に生かされると思います。どんどん早く実行できるようにしてほしい。頑張れ。	人口推計や建物等の状況の変化を踏まえ、市民の皆様の御意見を伺いながら、計画を見直しつつ推進していきたいと考えています。
3		今後も計画内容の広報を提供してもらいたい。	再編方針や校別施設計画については、随時、見直し・公表してまいります。
4		人口減にともなう公共施設のマネジメントは必要であると思うが、原案が出来上がってからの説明会とは何なのか。前々から必要性を市報等に載せてあるのを見ていたが、ここまでの案が出来上がってからは意見を出しても認められる事は無いのは、国の政策を見ても明らかで、行政とはこの様な物なのか。身近な公共施設を利用するのは今、年のいった人々が多いのではないのか。統廃合して遠くの施設に行くのは大変。車の免許も返納させられ、公共のバスの不便な事、このままではどの様に暮らしていくのか、心配である。この地域を改めて説明受けると東部は大した施設の無い事が思い知らされました。	今回お示した再編方針案は、市民皆様の御意見を伺うためのたたき台です。各施設の利用者への説明会の開催も予定しており、併せて、公共交通サービスの充実も検討してまいります。
5		公共施設再編を先取りして行った団体では、新しく施設を作った方が解体等含めて費用がかかっているようだが？	施設の 신설よりも、古い施設を直す方がお金がかからない場合もあります。しかし、古い施設は設計等自体が古いため、同じ様に利用しても、電気や水道等が多くかかってしまったり、エレベーターがないといった点などの不便さがあります。これらを新しい施設に変えて利便性を確保すると同時に、運営コストも減少させていこうと考えています。施設のコストは建設費がせいぜい2割程度、8割は運営等のコストです。高い費用で建設したとしても、長い目で見ると、トータルでは低コストで、より良いサービスの提供ができると考えられます。
6		学校統廃合等に人口分布を考えて再配置とあるが、どの時点での人口分布をで考えているのか。現在は農地の土地も宅地の増開発によって、児童の人口が爆発的に増えることも考えられると思う。そういった将来的なことを踏まえているのか。	人口分布については、将来推計をこちらで2025年、35年、45年、55年と策定いたしまして、それをベースに統廃合時における児童数を算出し、その数値では適正規模を満たすことができないことから統廃合を考えています。現時点での推計を基にしているため、年度が経過をしていけば推計も変動すると思われるため、その時点で計画を見直ししていくといった形で対応していきたいと考えています。

No.	区分	質問・意見	回答
7		小学校の統合は反対です。	学校の統廃合により、子ども達の教育環境の向上させることを考えております。
8	学校統廃合	学校の適正化について、成田小と星宮小を一番最初に統合とのことだが、校区連絡会・緊急避難箇所といった点も踏まえてなるべく早く住人の皆さんの意見を聞いていただきたい。	星宮小学校については、7月28日に説明会を予定しています。成田小学校についても、統廃合受入れ側として後日説明会を開催したいと考えています。説明会については、参加者を限定はしていませんので、保護者、住民、自治会等の関係者全員に参加していただき、御意見等いただければと考えています。避難箇所については、小学校体育館は原則存続ですので、避難箇所として存続すると想定しております。
9	指定校変更	来年星宮小学校に上がる児童について、成田小学校に行きたい人は行ってもいいよという連絡が回っていると聞いた。こんなことを本当に行うつもりですか。	以前一部のPTAの方とそのような話題になりましたが、教育委員会としては、そのようなことは考えていません。現時点では、統合の際に児童全員が学校を移ることを考えております。
10	生涯活動センター	上之荘跡地に集中した大きな施設を作ると言っていたが、それはどのようなものか。デザイン重視で使い勝手の悪い施設はやめていただきたい。高齢社会なので、車で行き使い勝手の良いものを作っていただきたい。	(仮称)生涯活動センターについては、公民館だけでなく、他の施設機能も入る予定です。
11	地域	公共施設の統廃合は理解できるが、廃止した地域では(特に小学校の廃止)若い人の地域離れが促進され、高齢者のみの凍結集落が増加するのではと考えられるが、その対策はどう考えているか？	小学校のような地域の施設が統廃合される場合には、地域体育館、地域会館等によって構成される地域拠点施設を学校跡地に整備する予定です。統廃合後も、この拠点施設が、その地域の中核的な施設として利用されることを想定しています。また、閉校となった地域の子供たちはスクールバスなどで統合先の学校に通学しますが、そのスクールバスを地域循環バスとしても活用することで地域公共交通の再編・充実を進め、(運転免許を返納した)高齢化など車を運転しない方にとっても生活しやすい地域を目指したいと考えています。新幹線通勤の補助や固定資産税の免除、三世同居への補助金交付などの人口減少対策と併せ、過疎化を抑制する施策を、今後も実施してまいります。
12		行政的には、考えざるを得ないと思うが、地域の事を考えると「カソ」化をいっそう進めるのではないか。	
13	地域会館	各地域の人々が集まれる場所①徒歩で②自転車で③車で往復が楽になる場所(車いす等も含めて)	地域の方々に利用していただけるよう、地域貸館施設(地域会館)を計画しております。できるだけ御不便のないように、地域公共交通の充実を推進してまいります。
14		貸館機能を集中したものをつくらと思うが、部屋を複数設置し、地区ごとに使えるよう配慮していただきたい。一部屋を回して使うのでは、とてもまかなえない。地区ごとに部屋を分けるという考えているのか。	地域会館につきましては、地区ごとに1つつ設置を考えています。また、部屋数については稼働率等を見て、建設したいと考えております。
15		小学校跡地の体育館に地域会館を併設するとのことですが、そこに常駐する職員はいるのか。また、管理についてはどうなるのか。会館はだれが、どのように管理するのか。	管理方法についてはいくつか考えられます。例えば、まとめて指定管理をしてもらうことや、地域の体育館ですと職員が常駐せずに、使用していただいているケースもあります。既存の管理方法や新しい方法等を組み合わせて御不便がないよう工夫して管理していきたいと考えています。ただし、施設によっては必ず職員がいるとは言えません。

No.	区分	質問・意見	回答
16	市民文化施設全般	公民館は古くからあり、その位置付けが明確であり、地域の拠点としての評価を得ている。これから少子高齢化、老人の孤立化等を防ぐためにも、公民館は重要な役割があると考えられる。その中で公民館を会館に建替えるというのはどういった意図があるのか教えていただきたい。	現在の公民館の生涯学習機能と貸館機能について、地域には貸館機能を持つ施設として地域会館を設置し、生涯学習機能については、生涯活動センターを設置し機能移転する事を考えています。
17	市民文化施設全般	生涯活動センターと公民館について、公民館はどのような位置にあるのか。貸館機能だけ残るとなると、今までのような地域密着の活動ができなくなると思う。生涯活動センターとって統廃合とされてしまうと足もなくなってしまふ。今後どのような感じになるのか、公民館はどのようなものなのか、また、新しくできるという会館の業務、建物はどのようなことをするのかを教えてください。	生涯活動センターの基本的な考え方としては、中央公民館や妻沼中央公民館といった大きい拠点的な公民館の機能とコミュニティセンター、市民活動支援センター等、色々な考え方や活動したりする市民が集まる施設をつくり、皆さんに使っていただくというものになります。一方近隣にも、活動するための施設がほしいという要請もありますので、地域会館という形で一定の規模を残しまして、用途に合わせて生涯活動センターと地域会館のどちらかを利用できると考えていただければと思います。交通については、公共交通や民間路線バス、ゆうゆうバス、さらにはスクールバスを地域循環バス等として扱うことを、ルート設定等含めて、意見を伺っていきたくと考えています。
18		小中学校を統廃合した際に、避難場所はどうなるのでしょうか。	小中学校統廃合後も体育館は地域体育館として存続させますので、そこを避難場所として残すことを想定しております。
19	防災	現状、小学校が避難場所となっているが、統廃合に伴って地域会館となったときに、避難場所の管理者は誰になるのか。教職員のいない体育館で避難所開設ができるのか。また、現状は避難場所に何も置いていないようだが、資材等はどうか。	避難場所等は、被害想定の見直しや施設の建替等、状況の変化に合わせて見直します。災害発生時には市の避難所担当職員や施設管理者が避難所開設に当たります。避難所開設後は避難者が主体となって避難所の運営に当たることとされています(「避難所運営委員会」の設置・活動など)。避難所である小学校には、乾パンや飲料水、毛布や発電機、投光器やランタンなどを備蓄しており、その他必要なものは市内の備蓄倉庫から搬入します。
20	公共交通	どのように公共交通を充実させるのかの説明がない。統廃合後の我々の足はどうなるのか。	施設の統廃合を行った際に、施設を結ぶ交通については考慮したいと考えています。現状の熊谷市は、近隣市に比べて比較的鉄道や民間路線バスが、ある程度は網羅されています。循環バスのゆうゆうバスはこれを補完するという目的で運行しています。学校や公民館といった地域の拠点が整備されたときには、それを網羅するように皆様の声を聞き、ルートについて考えていきたいと思います。今の時点では統廃合は決定していませんので、具体的なルートは考えておりませんが、決定した際には、最適なルートを考えていきたいと思います。また、スクールバスを運行した際には、朝と夕をスクールバスとして運行し、空いた昼の時間帯は市民の移動手段として、よりきめ細かい運用ができるようにといったことも考えております。

No.	区分	質問・意見	回答
21	公共交通	今後、高齢者の交通手段がなくなることを考えると、施設の集約ではなく、施設を各地域に点在させた方がよいのではないかと。	確かに自転車や徒歩で行ける距離に施設がある方が便利ですが、施設を多数存続させますと、コスト負担の問題が発生します。総合的に考えたうえで、施設を集約し、そこをバスで繋ぎ、また将来的に自動運転技術が普及すれば、さらにバスの運営コストが下がることも見込まれます。
22		公共バスが今後より良く利用できるようになるのとありますが、例えば車椅子の方が利用することができるようになるのか。	ゆうゆうバスは超低床のノンステップバスでして車椅子の方も御利用いただけます。また、去年の秋から別府沼公園の方を回るグライダーワゴンが運行していきまして、普段は12人乗りですが、車椅子の方が搭乗する際は、座席を折りたたみ、搭乗できるように運行しております。他にもバスと異なり、福祉タクシーも御利用していただければと考えています。福祉タクシーは実費負担となりますが、そちらに対する補助等も行っております。
23	投票所	選挙の投票場所は今の場所を継続と考えていいですか。	詳細については選挙管理委員会で決めることとなりますが、現状の投票場所の近隣で考えていければと思います。
24	図書館	図書館について、人口分布等を踏まえた施設の再配置等を検討とあるが、この人口分布は何年後の分布を考えているのか。	例えば西部と南部を比較した際に、人口が多い西部に図書館がなく、人口が少ない南部に図書館施設が2つある状況となっています。こういったアンバランスさは過去の経緯等もありますが、熊谷という一つの市として見た際に、エリアや人口分布等の視点から、再配置を考えていきたいと考えています。また、人口分布については、現状の分布を踏まえて、推計したものになりますので、今後推計が変動することもあると思いますが、現在は現状のものと考えていただければと思います。
25		図書館等の主要施設が熊谷市内の街中に集中しすぎている。行くまでの時間がかかることと駐車場が少ない。他のエリアに分散できないのか。	都市計画法により、市街化区域と市街化調整区域と分かれており、調整区域では市街化を抑制するとなっておりますので、大きな施設が建てづらいのが現状です。公共施設再編を検討する中で、法律に則ったうえでの施設建設の可能性・駐車場確保について探っていきたく考えています。
26	人口施策	首都圏に沿っては人口は増えており、埼玉県も人口は増えている中で、なぜ熊谷市は人口減なのか。	ごく概略で申し上げますと、熊谷市には秩父線沿線から市に集まっていますが、高崎線沿いの都心に出て行ってしまいう人数がそれよりも少し多くなっています。人口増施策として、企業誘致を行っており、一定の効果も出ています。また、こども医療費の高校生までの無料化も行っております。こちらは他の市と比べても、先進的な取組みであると考えております。他にも固定資産税3年免除や新幹線通勤者への2年間の補助等も行っており、その効果もあって転入者と転出者の差はあまりない状況です。人口減の原因としては、出生数の減少であり、熊谷市の課題と考えております。

No.	区分	質問・意見	回答
27	市施策全般	様々な制約は理解できるが、市外からの住民の誘致につながるような、魅力ある街づくりも検討してほしい。人口の少ない地域も市街地域と同じ考えで対策を検討するのは、無理は無いのか？	少子高齢化・人口減少が進行している現状では、アセットマネジメント(公共施設の再編)は、現時点から、検討し、計画していかなければならない問題です。公共施設再編と並行し、住みやすい街づくり目指してまいります。
28		効率ばかり考えないで、住みやすい熊谷をつくるべきである。	施設の総数・総面積(量)は減らしても、サービスの水準(質)は維持・向上させることが、施設マネジメントの目標です。公共施設再編に合わせて、地域公共交通の充実を推進してまいります。具体的には、民間路線バスや「ゆうゆうバス」、地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによって構成される公共交通ネットワークを整備し、住みやすい街を目指します。
29	説明会	今回の説明会において、資料1に上下水道関係の記述があるが、管以外の施設関係は掲載されている予算に組み込まれていないということは別ということなのか。その場合、予算はどのようにとるのか。税金からまかなわれるのか。水道事業は独立採算制となっているため、市税等とは別の枠組みである。水道料金を財源とするならば、資料は間違った説明であるため、水道予算について削除していただきたい。	上下水道については排水場等の施設についても含んでおりまして、本日説明したものととは別に策定等進めております。今回の説明会では、ハコモノ関係をテーマとしていまして、上下水道や道路等のインフラ関係は直接のテーマとしていないため、概略のみの説明となっております。なお、上水道については、既に計画自体は策定済みで、概要等はホームページに掲載しております。また、上下水道の更新等の予算は基本的に水道料金や下水道使用料等を財源としますため、市税等とは別の枠組みになります。ですが、今回は独立採算制等を含めた市全体としての費用を皆様にお見せしたものととなりますため、間違った説明ではないことをご理解お願いいたします。また、今後の資料の見せ方やグラフの作り方等も検討させていただきます。貴重な御意見ありがとうございます。
30	説明会	市民アンケートについて、3000人に聞き、半分以上が答えていない。まだ関心が低いことや、知らされていない事実が今日聞いて初めて分かること等があることから、周知が足りていないと思う。また、学校に通う児童の保護者の意見が反映されていない。今後、保護者の意見が反映されるような説明会を開催してほしい。	アンケートについて、これで終わりではなく、今後も市民の皆様の声をアンケートにも工夫をしつつ聞いていきたいと考えています。
31	アンケート	学校にアンケートを配布したらどうか？児童クラブと貸館を一緒にしたらどうか？(子供が公民館を利用することが全然ない為)地域の方とのつながり	まずは統合が想定される小学校での地域説明会、保護者の方々との意見交換会等を実施してまいります。その後、施設の整備について検討してまいります。
32	その他	人口減少が分かっている中で、他の事業所(JA)が10年ほど前にこのような取組みを行っているが、市としてはこの取組みは遅れているのではないのか。	農協関係はかなり進んだかたちで事業所の統廃合を進めているようですが、市としても数年前から検討してきています。熊谷市としては、まず合併から10年間は合併市町村の融和を中心に進めてきたため、合併から10数年経ち、市が一つになったということで、今回の計画を提案させていただいています。将来の人口推計をしっかりと見据えたかたちで今後の10年、20年と先を検討するうえで御協力していただければと思います。

## ご質問・ご意見への回答・考え方一覧（南部エリア）

No.	区分	質問・意見	回答
1	再編方針案 全般	集約したものを広く公表して欲しい。	各施設の個別計画にあわせ公表してまいります。
2		再編により、どのくらいの費用面での効果(予測)を出してください。	計画の策定に合わせ、効果額を公表していきたいと考えております。
3		問答無用でおしつけるのはやめてくれ。何でも政府から来るものに順応していたのでは自治体とは言えない。	公共施設再編方針案については、将来の熊谷市を想定し、市で調査・検討し作成し、「案」としてお示しさせていただきました。説明会等とおして、御意見をお伺いしていきたいと考えております。
4		人件費・建物維持管理費の節減の観点から、残し・活用するのは最小限にするしかないと思います。	施設の総数・総面積(量)は減らしても、サービスの水準(質)は維持・向上させることを、施設マネジメントの目標としています。
5		高齢者に向けた施設が不足していると思います。また、子育て支援も進めて学校跡地も利用してスポーツ施設を増やしていただきたい。	学校跡地の活用可能性については、サウンディング調査(案件内容決定の前段階での公募による民間(事業者)の意向調査等)の実施の可否も含め、地域の意見を伺いながら検討してまいります。
6		方向的には賛成です。	—
7	再編方針案 全般 ・ 人口施策	「機能」存続は良い考え方であると思うが、市民の負担(税金)はどうなるのか。これだけ新設、移転があると負担が増えるのではないかと？人口を増加させる案が全く出てないのが残念である。	現状の各施設をそのまま更新・維持していくより、集約し新設とした方がコストを節減できると考えております。 また公共施設再編と並行して、人口減少の対策も行っております。具体例としては、新幹線通勤の補助や固定資産税の免除、三世同居への補助金交付などのほか、若い世代を本市に呼ぶ込むためには、就労の場と産婦人科の確保が必要なため、企業誘致や事業支援を病院や農業法人にも拡大して取り組んでいます。
8	適正規模	適正規模について、適正とはどのような意味を持つのか。学力が上がる規模なのか、いじめがなくなる規模なのか。少人数校が悪者にされているように感じる。 また、他の施設と教育施設を同列に扱うことに疑問を感じる。	文部科学省のから平成27年に「小学校中学校の適正規模、適正配置に関する手引等」が出され、熊谷市もこの手引に基づいて適正規模の方針を作りました。 一人一人によく目が行き届く、家族のようなあたたかさといった小規模校の良さも理解しております。また教育というものは国の将来を左右するものであり、お金の有無ではないということも理解しております。ですが、複式学級も出てくる現状を踏まえ、小規模の良さと適正規模の良さのどちらがより望ましいかを考えた場合に、熊谷市では適正規模に向け、統廃合を進めた方が子どもたちにとって良いのではないかと考えて、今回のこのような案をお示しているところです。
9	学校統廃合	「学校区の見直し」や「小中一貫校の導入」についても十分ご検討いただき、「適正規模」の確保のため、「統廃合」は最後の選択肢として御説明できるようお願いいたします。	学区の見直しや小中一貫校については、直接学校小規模化の解消につながるものではないことから、今後の検討課題としています。

No.	区分	質問・意見	回答
10	学校統廃合	今回の説明は、簡潔に言えば、「お金がかかるから、学校の統廃合を図る」としか捉えられない説明会でした。もっと「小規模だから廃止する」というのではなく、子供たちの為となるという観点での説明でないと納得できないという心情です。もっと地域を大切にすることや小中一貫校の視点での統廃合を考えるべきです。	学校統廃合については、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するためにお示したものです。今後、小学校での地域説明会、PTAの方々との意見交換会等を実施し、御意見を伺って参ります。
11		小学校の統廃合には反対です。	学校統廃合については、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するためにお示したものです。今後、小学校での地域説明会、PTAの方々との意見交換会等を実施し、御意見を伺って参ります。
12		小中学校の統廃合は絶対反対	学校の統廃合は、適正規模による教育環境の向上を図ることを第一に考えております。
13		学校統廃合には反対。少人数でゆきとどいた教育をしてほしい。	学校統廃合については、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するためにお示したものです。
14		学校の統廃は良くないと思う。分校にしてでもおくべき。	学校統廃合については、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するためにお示したものです。
15		学校規模を学年のクラス数で考えるのはよろしくない。統廃合はすべきではない。日本の高度な競争的な教育は、国連子ども権利委員会に危ないと言われ続けている。子どもたちが生きていて良かったと思える教育をしていただきたい。	小規模校の方がいいのではないかという意見は大変貴重でありがたく思います。ただ、競い合うために統廃合をするのではなく、多くの人数の中で、子どもたちが多くの人と触れ合い、多様な考え方に触れ、コミュニケーション能力の向上、学びあうこと、教えあうことといったプラスの面があると考えております。いずれにしても、いじめ、虐待、過度な競争、そういったことがないように熊谷市の学校も取り組んでいくことに変わりはないことを御承知ください。
16	小中一貫校等	学校については、再考願いたい。他の施設については、仕方ないと思えるのであるが、このことについては、別に考えていくべきである。江南・吉岡・大里一貫校教育をぜひ考えていただきたい。	公共施設全般については、熊谷市公共施設アセットマネジメント基本方針や同基本計画に基づき検討しておりますが、学校教育施設、特に小中学校については、「熊谷市立学校の適正な規模に関する基本方針」に定める基準に従って検討した結果(案)をまとめたものです。学校の統廃合は、適正規模による教育環境の向上を図ることを第一に考えております。一貫校教育については、今後研究・検討をしてまいります。
17		学校の統廃合について、小学校と中学校をまとめて一つの学校として運営するといった方向も検討しているのか。	熊谷市の適正規模の基本方針の中にも、適正規模を進めるにあたり、統廃合、小中一貫校をさらに発展させた義務教育学校、学区の見直しの3つがあります。学区については、今後統廃合を進める中で、保護者の方等としっかり話し合って決めていきたいと考えています。義務教育学校については、研究中でございます。県内では、春日部市で今年、江戸川小中学校という義務教育学校ができました。9年教育で校長は一人という学校ができています。熊谷市もそういった学校についてよく研究をし、今後もし熊谷市内で義務教育学校ができるとなれば、計画の中に入れていくかどうかということを検討しています。

No.	区分	質問・意見	回答
18	学校プール	プールについて、埼玉県はプールの保有率が日本一で教育については水泳に力を入れていたと思うが、プールがなくなることでそこも変わってしまうのか。	学校プールは除却し、プールの授業は校外式にて行っていきたいと考えています。メリットとしては、室内のため天候に左右されない、夏季シーズンに限らず広いシーズンで水泳授業が行えるといった点が考えられます。
19	給食	自校式給食を廃止し、給食センターを設置するとあるが、これで食育ができるのか。	朝食の欠乏や肥満、痩身といった現在の児童の状況を考えますと、給食における食育の推進をするようにといった状況になっております。そういった観点から食育の中心となる施設として給食センターを提案させていただいております。
20	通学路	小中学校統合の際、特に中学校の自転車での登下校が遠くなる吉岡中の生徒が心配です。事故が多い道路は通学路にしないで欲しいです。(吉岡小から東にまっすぐる道とP407の交差点、施設おおさとの西側のT字路など)	安全な通学路について検討してまいります。
21	スクールバス・人口施策	子どもの育ちは登下校の自然のなか、地域の住民とのかかわりのなかで培われていくと思うが、スクールバスの登下校でその機会を奪っていいのか。スクールバスで子どもを遠い学校に通わせなければならない環境のなかで、若い人が子どもを生み育てていく希望が持てるのか。人口が減ることに備えるよりも、人口を増やすための施策を考えるべきではないのか。	子どもたちの体力面や安全面等を踏まえ、スクールバスの導入を考えております。具体的なスクールバス運行方法については、今後皆さんと相談していきたいと考えております。また、本市の人口減少の一番の課題としては、出生率の低さになります。そのため支援として、子育て支援・出産支援を行っておりまして、子ども医療費の無償化拡大として高校生までを対象にしたこととなります。これは県内でも先進的な取組みとなっております。他にも、児童クラブを毎年設置するなど、子育てをする保護者の力に少しでもなればと思い、取り組ませていただいております。
22	地域活動・地域コミュニティ	小、中学校を減らすと学校経営単位等の地域コミュニティーが崩れてしまうと思うが、そのフォローについて市はどう考えているのか。また、こういった事業を近隣の市ではどのように行っているのか。	学校経営単位の活動につきましては、校区連絡会で活動されていると思いますが、そちらの活動については、各地域に地域会館を設置いたしますので、そのまま活動していただければと思います。また、近隣の市の状況ですが、行田市も本市と同様に統廃合を進めておりまして、行田市は小中一貫の学校を中心に進めていると伺っております。また、深谷市は統廃合の予定はないと伺っております。鴻巣は一部の学校の統廃合を検討していると伺っております。
23	公共交通	10年後、吉岡公民館の使用が、吉岡中学校に移動したら、中学校へ行く坂道は、車が使用出来ない人は、どう登り、下っていくのか不安です。(70代、80代になると)	公共施設再編と同時に、地域公共交通の充実も図ってまいります。
24	人口施策	少子化問題についての十分な検討。	人口減少対策については、新幹線通勤の補助や固定資産税の免除、三世同居への補助金交付などのほか、若い世代を本市に呼び込むために就労の場と産婦人科の確保が必要なため、企業誘致や事業支援を病院や農業法人にも拡大して取り組んでいます。また、子ども医療費の高校生までの無料化も行っております。今後も少子化・人口減少問題について検討してまいります。
25	市施策全般	先に重要項目あり。少子化、企業誘致、労働人口増思いきった施策。(全国に高実績実例あり)	人口施策等については引き続き実施してまいります。公共施設再編については、人口施策等と平行して、将来に向けて取り組むべき事案であると考えております。

No.	区分	質問・意見	回答
26	子育て支援	①本日の説明で再編縮小の話だけで、前向きな計画案等聞いたら希望が持てるのですが、②当熊谷地区は東京通勤の中で、もっと生活環境整備を実施して子供を育てたい。この地で若い者が住みたいという政策を検討してもらいたい。③子供教育は基本であり中心に考えてもらいたい。	老朽化した施設の機能を集約し、幅広い世代が交流できる施設として公共施設再編を図るとともに、若年層の転入・定住を促進する取組を実施してまいります。
27	子育て支援施設	大里地域の過疎化が進み、中心地域に人口が集まってしまうのではないかと心配しています。子育て世代ですが、これ以上不便にしないでほしいです。荒川南側の地区にもこどもセンターを作ってほしいです。車がない人は石原小となり小さな子を連れて行きにくいと思います。	市有地の活用として、蚕業試験場跡地への子育ての複合的な施設としての運用を検討しています。ただし、現段階では課題もあるため、案としての段階です。
28		子育て支援施設について、蚕業試験場跡地に設置して使いやすいのか。	
29		これだけ少子化が進み、社会構造が変化している中では、公共施設の再編は仕方ないことだと思います。いろいろな意見がある中、集約は難しいと思いますが、丁寧にやってください。ただ、大里、江南地区から消防施設がなくなるのは、心配です。安心安全がなくなるようで、心配です。	施設の総数・総面積(量)は減らしても、サービスの水準(質)は維持・向上させることを、施設マネジメントの目標としています。 消防施設については、荒川南部地区全体の消防力向上の視点から、大里分署と江南分署の機能を吉岡地区周辺へ移転・統合することを検討しています。統合により消防力を集約することで、柔軟な部隊運用や車両運用が可能となり、大規模な事故現場等へ救急車を複数隊同時に出勤させることができ、多様化する消防行政及び大規模災害への対応力の強化が期待できます。両庁舎の統合に伴う諸問題について検討してまいりますので、御理解をお願いいたします。
30	消防	小学校は公共施設の再編とは切り離して考えるべきだ。大里地区にも救急消防施設を残してほしい。吉岡地区にも消防分署を設置するは賛成だ。	学校の統廃合は、適正規模による教育環境の向上を図ることを第一に考えております。 荒川南部地区全体の消防力向上の視点から、大里分署と江南分署の機能を吉岡地区周辺へ移転・統合することを検討しています。
31		大里地域に消防機能、救急機能のある分署がなくなるということに不安を感じる。高齢化社会を迎えるにあたり、地域から救急機能がなくなってしまうのは危険である。	過去に大里地区で水害が起きた際に、大里分署や行政センター、警察の駐在所も水害に見舞われ、機能が著しく低下したことがありました。また、ハザードマップによると推定2mから5mの水害に見舞われると推定されています。したがって、大里分署を地区内で建替えるのは厳しい状況であり、移転を考えています。統廃合につきましては、平成25年3月に荒川分署を統廃合しまして、中央消防署を建設した事例もございます。消防署建屋が雨漏りや建物の亀裂、耐震基準を満たしていない等の現状やコスト面を考えますと、災害、火災、救急などに対応できる拠点施設として、大きな消防施設を吉岡地区周辺に建築するということを検討しております。

No.	区分	質問・意見	回答
32	農産物直売所	大里の直売場は赤字なのか。	基本的に公共施設はほとんどが赤字であり、熊谷の施設で黒字に近いのは「道の駅めめま」です。
33	説明会	もっと時間をかけて、どういうビジョン・方針で取組を行うことで市民にどういうメリット・デメリットがあってもどういう考えのもので実施するのかしっかり説明すれば理解・受け入れられやすいと思います。	今後の説明に活かしてまいります。
34		今現在義務教育のお子さんをもつ保護者向けにわかりやすい説明をしてほしい。皆、こういう説明会、公共施設統廃合の話すら知りません。	統合が想定される小学校での地域説明会、保護者の方々との意見交換会等を実施してまいります。
35		説明がかけ足で理解するには難しかった。教育環境の維持を第一に考えているのであれば、統合するにしてももう少し丁寧に考えてもらいたい。この説明会のことが市報にのっているのを知人から聞いて知ったが、「公共施設の…」ということだと学校更には保育園が対象になるということはピンとこない。アナウンスの方法をもっと考えてもらいたい。学校が関係するとわかればもっとたくさんの方が参加するのではないかと思う。	統合が想定される小学校での地域説明会、保護者の方々との意見交換会等を実施してまいります。アナウンス方法については、今後工夫してまいります。
36		個別施設計画の策定が本年度予定されていますが、市民の要望が少しでも入るように機会をつくっていただければと思います。	今後、小学校での地域説明会、各施設の利用者への説明会等の開催も予定しており、御意見を伺わせていただきたいと思いますと考えております。
37		話し方が早くてよくわかりません。「いちおう話をして」では困ります。住民がわかるように話をして欲しかった。これから理解できるよう話をして欲しい。「説明会をやった」ことは、住民が理解するまで「説明会」をやり意見を聞いて欲しい。	統合により小学校が移転する地域での説明会、保護者の方々との意見交換会等を実施してまいります。
38		これだけの重要な問題を2時間の説明会で終了してしまうのは、きわめて不誠実です。	統合により小学校が移転する地域での説明会、保護者の方々との意見交換会等を実施してまいります。
39		方針案については、理解得ましたが、個々の説明内容が説明不足に思えます。今後も各項目について説明対応行っていただきたく思います。	各施設の再編について、利用者への説明をしてまいります。
40		本日のテーマに添った設問を出して下さい。設問の中から市民の意を汲み上げて下さい。	御意見として承ります。
41	アンケート	回答50%を超えていないアンケートを用いるのは問題ないのか。	2017年度に実施したアンケートの回答状況につきましては、期待した回答数よりも若干少ない状況でした。しかし、統計学上では90%半ば程の信頼性が見られますので、参考として資料に掲載させていただいています。また、アンケートについては、今後も工夫しながら行っていきたいと考えています。

ご質問・ご意見への回答・考え方一覧（太田小学校区）

No.	区分	質問・意見	回答
1	再編方針 案 全般	<p>反対です。①子供達の事を考えていないし、高齢化社会である現在、免許証を返す方が増えている中で、地元の施設が遠いというのは問題。②また、災害での避難場所が確保できるのでしょうか。小学校跡地に新たに公民館を建設するとのことだが、太田地区民が避難できるほどのキャパシティがあるのかが心配(体育館だけでは小さい)。③プール入るのに授業を何時間つぶれるか考えてますか？バスで行くのは時間かかりすぎ。4*以上はバスでって重いランドセル背負って何*歩かせる気？☆給食センターも美味しくないから反対。食べることが嫌いになっちゃいますよ。</p>	<p>①施設の集約等と同時に、公共交通の充実も推進してまいります。具体的には、民間路線バスや「ゆうゆうバス」、地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによって構成される公共交通ネットワークを整備し、高齢者にも利用しやすい施設への交通手段を模索してまいります。 ②避難場所等は、被害想定の見直しや施設の建替等、状況の変化に合わせて見直します。 ③水泳授業の校外方式について、実施のためにはカリキュラム調整が必要と考えます。児童生徒、教職員にとって過度の負担とならず、有益なものとなるよう、方法を検討します。スクールバスについて、通学距離の基準につきましては一つの目安ですので、地域の実情に合わせ、バス運行方法を検討してまいります。 給食については、より保温性の高い食缶などを導入し、温かいものは温かく、冷たいものは冷たいまま提供できるよう努めてまいります。また、献立については、現在、バランス良く、児童生徒からの感想を参考にし、季節のもの、地場産品、行事食を多く取り入れたものにしておりますが、さらに満足度の高い給食が提供できるよう検討してまいります。</p>
2		<p>一か所に集中する形にすると何も無い地域はどんどんすたれていってしまう心配があります。</p>	<p>施設の集約等と同時に、公共交通の充実も推進してまいります。具体的には、民間路線バスや「ゆうゆうバス」、地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによって構成される公共交通ネットワークを整備する方向性を考えています。仮に近くに施設が無くなっても、施設へのアクセス手段を確保していくことにより、地域の衰退を食い止めたいと考えております。</p>
3		<p>①避難所が体育館だけで十分なのかどうか心配です。②(冷暖房の設備も含めて)ふりい施設をなくしていくのはいいが、イベントなどができる施設が少なくなり、行事などが重なってイベントができない予約がとれないという事にはならないのかどうか。(幼稚園とか大きくやるイベントとかができるかな?)</p>	<p>①避難場所等は、被害想定の見直しや施設の建替等、状況の変化に合わせて見直します。 ②施設数が少なくなると、バッティングする可能性も高まる面はあると考えますが、市の施設(屋内の文化系貸館施設)の稼働率は平均で30パーセント台ですので、存続・新設する施設間での役割分担を進め、利用者の御協力も得ながら調整してまいりたいと考えております。</p>
4		<p>国からのお達しとのことで進められているので、私が何を言っても、そうなるんでしょう？と思います。また、お金の削減ということでやっていることでしょうか、単学級の学校でも、たくさんいい面もあると思います。複数学級となり広範囲から子ども達が集まると、悪くなることもあると思います。</p>	<p>公共施設再編方針案については、将来の熊谷市を想定し、市で調査・検討し作成し、「案」としてお示しさせていただきました。説明会等とおして、御意見をお伺いしていきたいと考えております。 また、学校統廃合については、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するためにお示したものです。</p>
5		<p>マイナスになる事を想定して物事を進めるのではなく、熊谷市の発展のために考えてほしい。孫ができたなら、熊谷に住ませたくない。</p>	<p>少子高齢化・人口減少が進行している現状では、公共施設の再編は、現時点から、検討し、計画していかなければならない問題であると考えております。これと並行して、熊谷市発展のための施策についても考えてまいります。</p>
6		<p>やむを得ない。実行してほしい。</p>	<p>市民・地域の皆さんの意見をよく聴き、引き続き検討してまいります。</p>

No.	区分	質問・意見	回答
7	再編方針案全般	<p>①道の駅くまがやができるからと言ってめぬまを(直売所)廃止するのはどうだろう。地域農家を廃業させるつもりですか？②小学校のことも公共施設のこともそうだが、市は、お金の事しか考えていない。それでいいのですか？市民の事ちゃんと考えてますか？③ここまで決まっている事を事前に少しずつでも地域住民に説明がなかったのはおかしい。(自治会長すら知らなかった)住民数が少ない地域はどうでもいいって事なのかな。熊谷市にがっかり。妻沼は深谷と合併すべきだった。大きな市のわりにはたいした事ない。熊谷市街の事ばかりで農業関係はそっこのけ。対応悪すぎ。市民が税金を払っているのだから意見を押しつけるだけでなく、市民の意見をもう少し聞いてほしい。</p>	<p>①(仮称)道の駅「くまがや」との関係で「めぬまを(直売所)廃止する」ということはありません。道の駅めぬま(特に、めぬま物産センター)は、民間による再整備・運営を検討中です。</p> <p>②市が「お金の事」を考えるのは、その実質的・究極的な負担者が納税者である市民自身であり、将来を見据えた市民の負担軽減は重要課題であると考えためです。「市民の事ちゃんと考えると、必然的に「お金の事」も考えざるを得ないのではないのでしょうか。</p> <p>③今回お示した再編方針案は、その名のとおり「案」であり、市民の皆さんの意見をよく聴いた上で、今後変更・修正していくことを想定しています。したがって、「決まっている事」ではありません。施設マネジメントも学校統廃合も長期にわたる取組であり、今回のエリア別市民説明会も地域説明会も、これで終わりというものではありません。また、仮に市が「住民数が少ない地域はどうでもいい」と考えていたならば、そもそも「地域説明会」も開催しようとはしなかったのではないのでしょうか。なお、事前周知として、本年3月以降、市議会全員協議会(3/18)、臨時校長会(3/20)、自治会連合会正副会長会議(4/3)、公民館長会議(4/5)、自治会連合会理事会(4/22)、自治会連合会総会(5/15)などの場で、説明を行ってきたところです。</p> <p>なお、「熊谷市にがっかり。妻沼は深谷と合併すべきだった。」等の部分については、コメントは差し控えてさせていただきます。</p>
8		あまりにも事業が多い。予算は大丈夫ですか？もう少し縮小したらどうですか？職員の余った場合はどうしますか？	長期にわたる施設更新・再編の話ですので、起債による対応が必須となりますが、財政サイドや組織サイド(職員の定数管理)とも協議・調整しつつ、進めてまいります。
9		今回の太田・男沼・妻沼南小の統合は決定事項なのか？	市で作成した(案)であり、説明会当日に御意見を頂きたい。
10		妻沼地区の他の学校の統合計画は？	秦小・長井小が2027予定。全市的な学校統廃合案について、説明会で資料を配付・説明します。
11		統合後の妻沼南小について、保護者等が集まるイベント時の駐車場対策は？自動車を使わないと小学校に行けない。	学校敷地及び近隣市有地の活用により対応していくことを想定しております。
12	学校統廃合	学校統廃合について、市の財政的理由に傾向している。こども・保護者の意思を尊重してほしい。また、地域の将来ビジョンが不鮮明であり、未来の展望がない。	公共施設再編案の方向性について、住民皆様に周知したく、今回の説明会を開催しました。頂いた御意見を参考に「個別施設計画」を策定していきます。また、説明会の状況については、ホームページ掲載や公民館での閲覧等の方法で公開していきます。また、計画についても随時公表を行っていきます。
13		人口、財政等考えれば統廃合してもらいたいが、親・保護者ではなく、子供優先で考えてもらいたい。学校統廃合等の検討基準の通学距離の基準小学校4km中学校6kmは距離が長いと思います。	学校統廃合については、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するためにお示したものです。今後、小学校での地域説明会、保護者の方々との意見交換会等を実施し、御意見を伺ってまいります。 <p>統合にあたり、子どもたちの体力面や安全面等を踏まえ、スクールバスの導入を考えております。通学距離の基準につきましては一つの目安ですので、地域の実情に合わせ、具体的なスクールバス運行方法について、皆さんと相談していきたいと考えております。</p>

No.	区分	質問・意見	回答
14	学校統廃合	出来れば統合はしてほしくないです。今日の説明だけでは不安な事ばかりで今後の心配です。今後も詳しい説明などを実施してほしいです。	学校統廃合については、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するためにお示したものです。今後小学校での地域説明会、保護者の方々との意見交換会等を実施し、御意見を伺ってまいります。
15		2025年度だと自分の子どもが5年生、3年生になるので、どのようになるのか不安ですが、沢山の友だちが増えていくと良いです。	学校統廃合については、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するためにお示したものです。 学校は、単に教科等の知識や技能を習得させるだけではなく、集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨する事を通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要です。そうした教育を十分に行うためには、ある程度の規模(クラス替えのできる規模)の中で子ども達に学ばせた方が、さらに力を伸ばすことができると考えております。
16		50年後までのロードマップではなく、5年後の計画のお話です。現在、保護者、市民からの意見を集約して検討するのでは遅いと考えます。今、現在でまとまった計画、予算がないと2025年度までの統合は難しいように見えました。たくさんの課題がある中、解決する時間もかかると思います。熊谷市として、今後どのようにしていくのか大きなビジョンがあった中のものですので、子供と保護者そして市民にとって暮らしやすい生活しやすい市に活性化していけるよう、スピードをあげ取り組んでいきたいと考えております。行政に関わる方々は非常に大変でしょうが、何とぞよろしくお願いいたします。	学校の統合には、校名や通学方法の決定など、さまざまな準備が必要になります。これらのことの多くは、学校や保護者、地域の皆様と相談しながら決定していくこととなりますので、今回お示した方針案の予定とさせていただきます。
17		初めてのことで、今回の説明会で急いで説明されたので、何が何だかわかりづらいと感じました。とにかく、南小への統合ということでまだまだ小さな子どもが今以上の負担が増えないことを願います。人数が少ないからといって、そこに住んでいる子どもたちだけ負担が(通学ルート)など増えないことを願います。	統合にあたり、子どもたちの体力面や安全面等を踏まえ、スクールバスの導入を考えております。
18		統合する事で、メリットはありますが、通学等のデメリットもあるので、まだまだ検討の余地有りだと思います。	今後小学校での地域説明会、保護者の方々との意見交換会等を実施し、御意見を伺ってまいります。
19		学校がなくなるのは淋しい。6年から子供が南小に入学するのは不安ばかりです。	子ども達の不安や悩みに関するアンケートや面談の実施など、継続的に必要な対応を行っていきたくと考えております。
20		時代の流れで少子化なので、統合については、教員や設備に関わる経費などを考慮すると仕方ないことと思えます。学校の児童数が増えるといろいろな個性が集まるので、刺激も多くなり、良い面もあると思うが、現段階で人数が多い学校の方が少ない学校に比べて子供たちにとってメリットが多いのかどうかというのは疑問です。	多くの人数の中で、子どもたちが多くの人と触れ合い、多様な考え方に触れ、コミュニケーション能力の向上、学びあうこと、教えあうことといったプラスの面があると考えております。
21		(学校統廃合について)市としての案をもう少しほしかった。話し合いが出来ない。	今後小学校での地域説明会、保護者の方々との意見交換会等を実施し、御意見を伺ってまいります。
22	学校統合は仕方ないと思う。新しく作る施設を含めてトイレは全て洋式タイプに出来ないでしょうか。	洋式トイレ・多目的トイレの設置を検討いたします。	

No.	区分	質問・意見	回答
23	学校統廃合	再編年度を決めてあるのに内容を説明できないとは？	学校の統合には、校名や通学方法の決定など、さまざまな準備が必要になります。これらのことの多くは、学校や保護者、地域の皆様と相談しながら決定していくこととなりますので、今回お示した方針案の予定とさせていただきます。
24		変化はおもしろい。	—
25		①小中学校全て廃止して新たに建設する、そして再編検討をしないのはなぜか？良く平等にという表現を利用していますので、視野が低め。新しい発想が必要ではないか？②魅力のない熊谷市を変えて行かないと人口減の一方である。早く他市と合併をした方がよいと思います。	①学校統廃合については、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するためにお示したものです。引き続き、市民の皆様から御意見を伺い、検討してまいります。 ②(企画課)平成30年3月に、市民と行政の協働による魅力的なまちづくりの推進を目的として策定した第2期熊谷市総合振興計画基本構想において、本市は、地域資源を生かした独自性と自立性の高い持続可能なまちづくりを進めるとともに、子どもたちが郷土愛を育みながら健やかに育つ都市を目指すこととしており、これに基づき各施策を進めているところです。
26	学校統廃合	反対 子供達のためと言っているが、本当に子供達のためになっているのか。4km以内→子供の足だと1時間以上かかる。ますます熊谷市が住みづらくなり、後期高齢がすすむ。	子どもたちの体力面や安全面等を踏まえ、スクールバスの導入を考えております。通学距離の基準につきましては一つの目安ですので、地域の実情に合わせ、スクールバス運行方法について検討してまいります。
27	スクールバス	統廃合は時代の流れ。登下校の安全・確実な方策を確立してから実施してほしい。	子どもたちの体力面や安全面等を踏まえ、スクールバスの導入を考えております。
28	学区	小学校について、通学先の選択制にはならないのか？	熊谷市では学区制を導入しています。現在の学区については、自治会地区との関係・歴史的な経緯等もあることから、今後協議を重ねた上で、学区の見直しを検討していきます。
29		選択制を考えてほしい。男沼小は妻沼小学校の方が近い。	熊谷市では学区制を導入しています。現在の学区については、自治会地区との関係・歴史的な経緯等もあることから、今後協議を重ねた上で、学区の見直しを検討していきます。
30	学校用品	小学校児童の学校用品(体育着、帽子等)について、統廃合後も継続して利用できるような対策をとってほしい。(例:統合前から用具の統一をする等)	保護者皆様の負担が軽減されるよう検討をしていきます。
31	給食	給食について、センター方式に切り替える理由は？	本市では、これまで全校で自校方式の導入を検討いたしました。学校の敷地調査を実施したところ敷地の確保が困難な学校があったことや多額の経費が必要になることなどの課題から、引き続き検討することとし、今回、公共施設再編方針案としてセンターといたしました。センター方式は、衛生管理やアレルギー対応等について管理の一元化を図ることが可能であり安心安全な給食を提供することができること。学校間において格差が生じないことなどがあります。
32		給食方式について、子供の食育を最優先で考えてほしい。	給食施設は、これまでアセットとは別に施設のあり方を検討してきました。現在の施設は、衛生管理については基準は満たしているものの今後、強化される衛生管理基準に適合することは困難であり、施設の老朽化も進んでいます。熊谷学校給食センターでは100%熊谷米を使用していますが、地産地消や食育についても今後進めていかなければならないと考えております。

No.	区分	質問・意見	回答
33	給食	給食方式について、地場産食材を使い、栄養基準を満たしていれば、全市共通(センター方式)の必要は無いのでは？	給食施設については、現在、給食センター、自校式と調理方式が混在していることから、市内の子ども達に格差が生じないよう、同じ調理方式、同じ献立等により給食を提供してまいりたいと考えております。新たな給食センターでは、衛生管理やアレルギー食について管理の一元化を図り、安心安全な給食の提供に努めてまいります。また、食育など自校式のメリットを取り入れた運営についても現在、検討しております。
34		給食方式について、自校式とセンター方式とのコスト比較・メリット・デメリット等の公表してほしい。	今後、ホームページにおいて公表いたします。
35		熊谷給食センターについて、更新ありきなのか？具体的な計画はどうなっているのか？	熊谷給食センターは1981年に建築され、老朽化が進んでおり、更新については喫緊の課題です。来年度、基本計画の作成を予定しています。同センター更新を機に、妻沼・江南地区へのセンター方式導入を検討しています。
36	通学方法・ 通学路	学校統廃合後、通学の方法は？	スクールバスの導入を検討しています。
37		学校統廃合後の登下校について、冬期の日没時間等も考慮し、こどもの安全面を第1に検討してほしい。	登下校時の児童の安全性を最優先して検討してまいります。
38		子ども、特に低学年が大きな国道を渡って通学というのが心配です。4 <sup>キ</sup> 未満の距離で歩道がなく、通学路として安全と言えない場合でもスクールバスに乗せてもらえないのですか？	通学距離の基準につきましては一つの目安ですので、地域の実情に合わせ、具体的なスクールバス運行方法について、皆さんと相談していきたくて考えております。
39		市の税収が減少するにあたり、やむを得ないかなとは思いますが、通学の件について、安全優先に考えて頂きたい。	子どもたちの体力面や安全面等を踏まえ、スクールバスの導入を考えております。
40		自転車通学もよし	統合にあたり、小学校については、子どもたちの体力面や安全面等を踏まえ、スクールバスの導入を考えております。中学校については自転車通学を考えておりますが、今後の検討課題とします。
41	スクールバス	スクールバスについて、車両の規模・台数、ルート等の具体的計画はどうなっているのか？	スクールバス導入について、具体的な内容については保護者や地域の方々とともに、今後検討してまいります。
42	児童の人間関係・いじめ防止	学校統廃合後、太田小学校の教職員は妻沼南小に行くのか？環境の変化により、子供の不安が大きくなるのでは？	児童の不安をサポート・受け止められるような職員体制を構築していきます。
43		友達が増えるのはいいと思うが、イジメが心配。	学校等とも協議しながら、学校行事などにおいては、それぞれの児童同士の事前交流を増やす、学校の統廃合の意味や内容について、児童に事前指導を十分に行うなど、必要な対応を統合前から丁寧に行います。また、統合後についても不安や悩みに関するアンケートや面談の実施など、継続的に必要な対応を行っていきたくて考えております。

No.	区分	質問・意見	回答
44	名称	統廃合後の新学校名について、住民の声を聞いてほしい。	統廃合の際には、各校区の保護者・住民の皆様と協議・調整を行ってまいります。
45	その他 学校関連	小中学校の統合は少子化問題、老朽化の問題について理解はあります。ただ、先の計画の内容見ても又統合の話にしかならない。今後も人口減少する見込みとの為、先行きが不安にしかない。学校統合について、教師が生徒をしっかりと見れるのでしょうか？スクールバスを利用しない子供の為に通学路の整備も考えられるのか？	児童の不安をサポート・受け止められるような職員体制を構築していきます。また、通学路の安全については、必要な対応をおこなってまいります。
46	防災	学校統廃合後の避難所機能はどうなるのか？また、職員が常駐していない施設(廃校後の体育館等)が、緊急時に避難所になりえるのか？	学校統廃合後も体育館は原則として存続するため、この体育館に避難所機能を残すことを想定しております。
47		学校体育館は避難所として利用されるが、空調の整備は考えているのか？また、校舎の利用は？	学校体育館の耐震化工事が終了し、現在は校舎の大規模改造工事を優先的に行っています。体育館の空調については、現在のところ、整備の予定はありません。また、校舎は除却する予定です。
48		災害時のことを考慮してほしい。太田地区の人がヒナンする場合、太田小学校の体育館だけで間に合うのか。	避難場所等は、被害想定の見直しや施設の建替等、状況の変化に合わせて見直します。
49	地域会館	短い期間ではなく、長期の期間では、数が多すぎる。人口減少等考えれば、施設を少なくして機能の集約したほうがいいのか？	御指摘のような方向性で再編方針案を作成しました。引き続き検討してまいります。
50		今までどうり使えるといいです。	従前施設の機能を他施設が引き継ぐ「機能移転」を行うことで、サービスを継続できるよう検討してまいりました。 現在の公民館が有する機能のうち、主に貸館機能は、地域貸館施設(地域会館)として太田小地内への移転(新設)を考えています。これは、太田小体育館を地域体育館として活用することと併せ、一体的に地域の方々に利用していただけるよう計画しております。
51		ビジョンが無いので回答しづらいが、太田地区には施設が老朽化している。だから無くす。最終的に太田地区は地域施設は何か残るのか？全く地域意識がなさすぎる。	地域コミュニティの維持は、防災拠点でもある地域拠点施設(地域体育館、地域貸館施設など)としての再編・整備により図ってまいります。
52		地域施設等もまだ、これからどうなりますということもいろいろありすぎてわかりづらいなあと思いました。私達、一市民の声が、なかなか届きづらいのかなと思います。	今後も説明会やアンケートなどを実施し、引き続き「市民の声」の把握に努めてまいります。
53		地域施設は今のままで十分。いろいろ増やしても利用されないならいらない。ムダな資金をつかってまた20年後資金不足と言うのが目にみえている。	地域における必要性と長期的な財政の健全性・許容性を比較衡量しつつ、引き続き検討してまいります。
54	新たに建設するというのであれば賛成。小さな地域ではあればあまり利用者がいないのでは？と思われるが、公民館の利用者は多い。どの程度の規模の公民館の再建なのか。	現在の稼働率・利用状況をもとに必要な部屋数を検討してまいります。	

No.	区分	質問・意見	回答
55		体育館は利用度は高くなると思うので、教育委員会管轄でコミュニティとして利用していきたい。(中央公民館など利用者が多い為、他の施設が利用可能になるので良いと思う)	地域貸館施設を含めた地域拠点施設の管理方法については、指定管理や包括委託なども含めて検討してまいります。
56	地域会館	体育館を〇〇の利用とのことですが、2～3件の利用はむずかしいのでは。	小学校体育館を地域体育館に転用し、地域貸館施設等とともに地域拠点施設とし、一体的に地域の方々に利用していただけるよう計画しております。また地域貸館施設の規模・名称等について、地域の皆様の御意見を伺いながら検討してまいります。
57	公共交通	(原井の)バス停が遠くて不便。今後の公共交通はどうなるのか？	公共施設再編にあたり、地域公共交通の充実を推進してまいります。具体的には、民間路線バスや「ゆうゆうバス」、地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによって構成される公共交通ネットワークを整備し、高齢者にも利用しやすい施設への交通手段を模索してまいります。
58	アクアピア	学校のプールには、浅いプールと深いプールがある。今度つくるアクアピアはどうなのか？	現在のアクアピアにも、浅いプールはありますので、新たにつくるアクアピアの整備に当たっても検討を行います。なお、民間施設の場合は、プールに器具を入れて、水深を調整しています。
59		検討中のものが早く結論が出て、また説明会があり、次はもっとくわしく知れればと思っています。(センターと自校でどっちがおいしいかどうかだったんですかね。)おつかれさまでした。	
60	説明会	市としての、案をもう少しほしかった。話し合いが出来ない。	今後小学校での地域説明会、保護者の方々との意見交換会等を実施し、御意見を伺ってまいります。
61		この先意見をきく場、機会をそこそこもうけてもらい、具体的な案を提示して意見をきいてもらえればと思います。	
62		市としての、案をもう少しほしかった。	

## ご質問・ご意見への回答・考え方一覧（秦小学校区）

No.	区分	質問・意見	回答
1		まだキレイな施設も多いのにもったいない。	統廃合は、老朽化した施設や耐震性に課題のある施設などから進めていきます。比較的新しい施設などは今後も使用していきます。
2	再編方針案全般	概定(規定?)方針を”しゅくしゅくと”進めるのはやめてほしい。経過をオープンにして…。ぜひお願い致します。	今回お示した再編方針案は、市民皆様の御意見を伺うためのたたき台であり、市民皆様の御意見を伺い、個別施設計画を策定してまいります。また、策定した計画については、随時公表をしております。
3		再編方針案全体が、学校跡地利用を前提にしており、他の公共施設再編と同列になっていることから、学校の統廃合ありきの印象がぬぐえない。	公共施設再編を検討する過程で、学校施設も含めた全市有施設状況についての調査を行いました。市内小中学校については昨年「市立学校の適正な規模に関する基本方針」を策定し、この方針に基づいて統廃合案を作成しております。
4		(学校統廃合について)決定事項はすぐに教えてほしい。特に統合年度。	随時、公表をしております。
5		(学校統廃合について)詳細を早めにまとめて下さい。	
6	学校統廃合	(学校統廃合について)良いと思います。ただ説明会というならきちんと早めに色々決めてから説明会を開くべきではないかと思う。色々な質問など出ると思うが、だいたい何個か答え的な案も出して欲しかった。まだ決まっていないとなると質問する側も不安になります。子供の事を考えるなら学校の事もわかるが、少人数になる為の通学路の安全のかくほなども考えて欲しいです。行田市内は帰りの時間になると(平日15:40頃～)毎週各小学校で放送があります。(子供の声で流れます。)	今回お示した再編方針案は、市民皆様の御意見を伺うためのたたき台であり、市民皆様の御意見を伺い、個別施設計画を策定してまいります。
7		(学校統廃合について)反対です。要検討願いたい。	—
8		生徒数が少なくなって来ている現状では仕方がないのではないかと思います。	—
9		反対です。小供(子供)、親達の立場で本当に進めていくことが前提です。	—
10		学校統廃合の順番は決定済みなのか？	予定として計画をしておりますが、地域の状況や人口推移を見ながら調整を行います。
11		学校統廃合について、熊谷市独自の計画なのか?適正規模に基づいた統廃合を行う理由は？小学校は地域の核になる施設であり、人数が減ったというだけで統廃合を決める事には疑問を感じる。	国から学校の適正規模に関する指針は示されていますが、学校統廃合の計画については市独自のものです。児童生徒が集団の中で多様な考え方に触れ、社会性を高め、新たな人間関係を構築できるような学習環境を整えることを目的としています。小規模校の良さも承知はしているが、長い目で見た場合、集団の中で生活をし、コミュニケーション能力を高められるよう、子どもの教育環境を第一に考えています。

No.	区分	質問・意見	回答
12	学校統廃合	財政的な理由で学校の統廃合を計画しているような印象が感じられる。市は(議員定数・給与見直し等も含め)財政削減に努めてから、計画を策定するべきではないか？	学校施設と他の公共施設については別枠で考えています。学校の統廃合計画については、子ども達の教育を第一に考えたうえで作成しています。一方、他の公共施設の計画については、コスト・利用状況等を基に作成しています。行財政改革については、鋭意推進して参ります。
13		少子化が進む中、学校の統廃合はやむを得ないと思う。但し、各学校間・クラス間で授業の進捗状況・授業の方法等に違いがあることから、統合による子どもの負担が心配です。	学校統合に当たっては、両校児童の事前交流の機会を作り、学習進捗等を教職員間で調整を行って参ります。統合による子ども達への負担がないように、十分な事前準備を行うよう務めます。
14		学校統廃合について、未決定の事項が多くて心配である。子ども達を一番に優先させたいうえで、早急に方向性を決定し、住民の不安を軽くしてほしい。また、「新学校名」を早急に決定することで、その後、関係者の間での協議が進捗していくと思う。学校統合をした場合の指定用品(体育着、帽子等)の取扱いについて、保護者・子どもが複数の選択肢を選ぶというのでは、かえって不安が募ってしまう。統一的な対策を講じてもらいたい。	参考にさせて頂き、検討してまいります。
15		具体的な計画を早急に決定・公表してほしい。これにより、(例えばスクールバス通学は)他市町からの転入者を呼び込める可能性もある。	
16		学校統廃合・スクールバス (学校統廃合について)賛成。ただ、通学に関し、決まっていないことが多く不安が残りました。保護者の立場としては、秦地区生徒全員スクールバスが臨ましいです。また、早めの計画を提示いただければ、対応をとりやすい為お待ちしております。	
17	事前の転校	学校統合が決定した場合、新学校への通学開始のタイミングはいつになるのか？今後入学する児童は、入学時から新学校に行けるのか？統合年度からなのか？2023年度に統合が想定されている星宮小はどうなっているのか？	前者の方法を認めると、学校統合前から児童数が更に減少してしまう学校が発生してしまいます。難しい問題ですが、詳細については今後検討してまいります。他の学校についても、今後の検討となります。  →その後、検討を行った結果、原則、統合するまでは統合前の学校に通うようすべての保護者の方々にお願いすることといたしました。ただし、お子様にとって途中で学校が変わることが不登校やいじめ等の心配があり不安な場合には、指定校変更の申請により個別に協議いたします。
18	通学方法・通学路	施設の立て直しや新しく作ると有りますが、まずは通学路を見直して欲しいと思いました。	通学路の安全については、必要な対応をする予定です。
19		小学校の通学距離基準4kmというのは、児童にとって厳しいのではないかと？	あくまでも国で定めた目安であり、地域の実情等により検討を行っていきます。
20		行田市では、「見守り隊」による児童の登下校の見守りを行っている。熊谷市の状況は？	登校時については多くの皆様に見守りをしてもらっています。通学班に大人が随行して頂いております。下校時においても、住民皆様に声をかけ、ご協力をお願いしています。
21		自治会として「見守り隊」の活動を行っているが、下校時については、児童の下校時間がバラバラであり、活動が難しい。防災無線による下校時刻のアナウンスをできないか？	運用規定があると思いますので、頂いた御意見として所管課に伝えます。

No.	区分	質問・意見	回答
22	スクールバス	スクールバスの具体的な運行方法は？	具体的な運行については検討中です。方法としては①学校跡地を集合場所とする②複数の集合場所を設置しバスを巡回させる等の方法が考えられます。
23		バス通学について、詳細とは言わないが、ある程度具体的な計画案を示してもらいたかった。	－
24		小学校統合後、秦小地区の児童については全員バス通学にしてほしい。また、長井小・秦小通学区境の児童の扱いについて検討してもらいたい。	今後の具体的検討の中で詳細を決めてまいります。
25		スクールバスについて、学年による下校時刻の違いは考えているのか？	スクールバスの複数回運行等により対応していくことを想定しております。
26	学校プール	学校プールについて、廃止することなく継続させることはできないか？	現況のプールについては、利用時期が限られ、天候により授業数も不規則になっています。屋内プールの利用することで、プール利用時期も長くなり、天候に左右されることなく、水泳授業数を確保できます。また、専門のインストラクターによる授業を通して、子ども達の水泳能力上達が見込めます。
27	学校用品	学校統合をした場合、各学校の指定用品(体育着、帽子等)の取扱はどうなるのか？統合後も使えるのか、新たに買いそろえなければならないのか？	保護者皆様の負担が軽減されるよう検討していきます。
28	給食	給食について、出来たてで温かい給食を提供できる「自校式」をセンター方式にするというのは、住民の考えとは違っているのではないか？	配送車両の増車・最新設備の導入等により、温かい給食を提供できるよう検討してまいります。
29		市内小中学校給食について、センター方式を自校方式にしていくことは検討したのか？	市内全校の自校式への切替えについても検討をしましたが、学校敷地の制約等により困難と判断し、給食センターの更新を行うこととしました。
30	その他 学校関連	国が定めている学級定数について、教育委員会から国に対し定数を減らすよう要望はしないのか？	学級定数は国で1クラス40人、県で1年生35人・2年生38人と定めています。
31	防災	学校は避難所として指定されており、地域が中心となっている防災組織についても、学校を中心に運営されている。学校統廃合による住民の連帯意識等に影響があるのではないか？	学校統廃合後も体育館は原則として存続することから、避難所機能については存続していくことを想定しております。地域防災組織は、今後も維持していただきたいと考えております。
32	地域	教育施設の統廃合により、地域コミュニティ・文化へ大きな影響があると思われる。具体的な方策は検討しているのか？	「地域会館」を設置することで、地域の活動場所を確保してまいります。活動自体は今までどおり継続して頂けるよう考えております。
33		学校中心に行っている地区行事・活動の今後は？	今までどおりの活動ができるよう、校区連絡会等については存続されることを想定しております。
34	子育て支援	子育てに関するサポートが薄い。医療費無料だけではもう子供は集まらないのでは？深谷市や群馬県を見習ってほしい。	本市では、子育て支援のため、妊娠から子育て卒業までの様々な相談に対応する子育て世代包括支援センター「くまっころむ」の設置、高校卒業までの医療費の無償化、放課後児童クラブの充実などの取組を進めております。

No.	区分	質問・意見	回答
35	人口施策等	本市人口増のための施策は行っているのか？	公共施設再編と並行して、人口減少の対策も行っています。具体例としては、子ども医療費助成、新幹線通勤の補助や固定資産税の免除、三世同居への補助金交付などのほか、就労の場の確保のために企業誘致等にも取り組んでいます。
36	説明会	どうせ説明会をするなら、もっと策を練ってからやるべき、税金がもったいない。検討中が多くて話にならない。秦に子供が通うかもしれないので、通学方法含めちゃんと検討してほしい。そして決まったことは該当する地区の保護者に通知するべき。このままじゃ公立には通わせられない。	今回お示した再編方針案は、市民皆様の御意見を伺うためのたたき台であり、市民皆様の御意見を伺い、個別施設計画を策定してまいります。
37	説明会	”説明会”ではなく、”討論会”方式で定例化してほしい。定期的に情報交換しながら進めてほしい。父兄や教員さらに小供(子供)達の意見も入れて…。	御意見として承ります。
38		学校統合について、通学児童の保護者や未就学児の保護者を対象にした説明会を行うべき。	今後、各対象の方への説明会を行っていく予定です。
39	その他	地域コミュニティ、文化の創造は住民。文化の統合ができるかが心配。	小学校地内の地域貸館施設と地域体育館とを併設した地域会館の新設し、一体的に地域の方々に利用していただき、地域文化の継承・充実を図ってまいります。
40		現有施設の更新等は補助金を受けることは可能ですか？	施設の分野(国の所管の省庁)によっても異なりますが、補助金が受けられる場合もあります。ただし、単純な更新(建替え)は対象外で、統廃合を行う場合や耐用年数を伸ばす長寿命化改修を行う場合などに限定している例もあります。

## ご質問・ご意見への回答・考え方一覧（男沼小学校区）

No.	区分	質問・意見	回答
1	再編方針案 全般	計画書は市の職員の作成したものではなく、プロが作成したものではないか。あるいは、参考にすべきモデルプランがあったのではないか。	計画（再編方針案）は、庁内での議論・検討を踏まえ、職員が作成しました。委託業者（有限責任監査法人トーマツ）の業務は、「策定支援」という位置付けです。他市などの先進事例ももちろん参考にしていますが、特定のモデルやお手本があるわけではありません。
2		補助金をめぐり総務省から圧力があるのではないか。	補助金に関し、国からの圧力等はありません。
3		行財政改革と人口統計を結びつけて地域社会を変えるのは乱暴ではないか。	人口統計・推計は、行政上の最も基礎的な資料であり、それを考慮しない計画・改革というのは、（その計画・改革が長期間にわたるものであればなおのこと）考えづらいのではないのでしょうか。ただし、市としても、人口減少から短絡的に学校を減らそうと考えているわけではなく、「熊谷市立学校の適正な規模に関する基本方針」に基づき、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するために学校統廃合を推進するものです。同じ公共施設とはいえ、学校とそれ以外の一般の公共施設とは区別をした上で、検討を進めているところです。 また、学校跡地の地域拠点施設化の考え方などは、施設再編が地域社会に及ぼす影響を最小限に抑えるためのものであり、市としても、地域の維持・存続を図ってまいりたいと考えています。
4		人口減少率は市南部の方が高いのにも関わらず、北部が同じ規模で進められるのは納得しがたい。	住民基本台帳人口の減少率（本年と昨年の7月1日同士で比較）をみると、南部（旧大里・江南町と吉岡地区）は0.58%減、北部（旧妻沼町と中条・奈良地区）は1.49%減で、北部の方が人口減少率は高くなっています。また、本年と3年前（2016年）の7月1日同士の比較でも、南部は1.77%減、北部は3.76%減です。最近の動向を見る限り、「人口減少率は市南部の方が（北部より）高い」という事実はない、と考えられます。
5		最初に実施計画ありきで、地域の意見を受け止めようとする姿勢が伺われない。	お示した再編方針案はあくまでも「案」、「たたき台」であり、エリア別市民説明会や地域説明会、パブリックコメントにおける市民の意見、要望等を受け、内容の再検討、修正等を行うことを想定しています。
6		施設が市中央（心）部に集まってしまうと、北部南部に住んでいる人たちは行くのが大変になる。駐車場も大きなものを備えてほしい。児童館は中心部に集めないで欲しい。行くまでが大変で、行くのがおっくうになってしまうし、足が遠のいてしまう。	各行政センターを廃止することをご指摘いただいていると推察しますが、分庁舎方式を廃止し、庁舎機能を集約する一方、必要に応じ、（仮称）生涯活動センター内に、行政センター機能の受け皿となる出張所を設置し、利便性を確保していくことを想定しております。なお、（仮称）生涯活動センターの規模・施設内容等については、今後検討してまいります。
7		無駄なようでも不可欠な施設もあります。住民の人々の話を十分に聞きながら、慎重に進めてもらいたい。	施設の利用状況、人口推計や建物等の状況の変化を踏まえ、市民の皆様の御意見を伺いながら、施設再編を進めていきたいと考えています。
8		（公共施設再編について）進めて下さい。賛成です。	—

No.	区分	質問・意見	回答
9	再編方針案全般	<p>地域性が薄れて、地域の課題に対処しづらい(なる?)のではないか。</p> <p>地方自治は「民主主義の学校」です。そして、地方自治の基本単位は、歴史的、地理的、文化的に小学校区単位です。「時代の流れとしていたし方のないことではないか。」のようにやむを得ないと考えている人もいますが、今のところそう考えるのでしょうか。けれど一方では、「地域として自分たちはこうしたい」という局面に遭遇したとき、地域の意見が集約できなくなり、また、その問題に対し無関心な大多数の「数の論理」に阻まれる危険性があると感じている人がいます。</p> <p>次に私見を述べます。今回の市施設の統廃合は明治維新時の廃藩置県に匹敵する、あるいはそれ以上の変化を地域社会にもたらすでしょう。しかも、価値観の多様化、個人主義の浸透が今後も続く想定したとき、民主主義の基本単位の変更には細心の配慮が必要であると考えます。参考になるのはヨーロッパの現状です。ヨーロッパは民主主義の先進国でありながら、今では社会の亀裂・分断が深刻になっています。もともとヨーロッパは自治意識の強い(地域?)でした。その基本単位は教会区で、シンボルは教会の尖塔です。けれど、共存・共栄の理念のもとに国家の枠が作られ、さらにEUへと発展しました。それが、今日の混乱はEU委員会の愚策にあると感じる人たちが増加しています。スマートそうに見えても、住民の側からすると居心地悪くなったと感じられるのです。</p> <p>例えば、「少子高齢化」をとっても、その内実は地域によって違います。それぞれの地域にはそれぞれの地域に固有な政治課題があります。熊谷の中においても同じです。そして、その個別な政治課題を発展的に調整するのが市政だと思えます。</p> <p>次のような意見もあったことを紹介します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 妻沼を熊谷から独立させる</li> <li>2 妻沼西中学校を存続させ小学校を併設して、9年制の新しい学校を作る</li> </ol>	<p>確かに、それぞれの地域には、過去から積み重なった歴史に基づく地域性や伝統があり、それ自体は今後も尊重し、継承していくべきであると考えます。</p> <p>しかしながら、輸送・交通や情報通信のインフラがこれほどまでに発達した現代においては、学校統廃合や施設再配置の検討に際し、旧村や合併前の市町の区域・境界にとらわれ過ぎないことも重要です。一方では地域のお祭りや伝統行事を尊重し、継承していく機会をしっかりと確保しつつ、他方で熊谷の将来や、その未来の熊谷を担っていく子供たちの健全な成長に思いを致すならば、日常生活においては、より広い地域の一体化や連携を図ることにより、より良い教育環境の整備や効率性の追求、公平性の確保を図ることが必要です。</p> <p>なお、平成30年3月に策定した第2次熊谷市総合振興計画基本構想において、地域別拠点整備方針として、北部エリアでは、利根川河川敷やグライダー滑空場といった地域資源、地域の歴史や文化を生かすとともに、生涯学習・スポーツ振興・農業振興などを目的とした生活文化施設と連携した土地利用を図ることとしており、また、聖天山周辺においては、歓喜院聖天堂等の門前町としての歴史を生かし景観に配慮したまちづくりを進めることとしています。</p>
10		時代の流れとしていたし方のないことではないか。	人口減少・少子高齢化といった社会・経済環境の変化・時代の流れを受け、引き続き先を見据えた検討を進めてまいります。
11		必要最小限の再編ですませるべきである。旧大里、妻沼、江南の利便性等が下がるような再編には絶対反対です。	<p>機能移転の考え方を活用し、廃止施設の機能を他施設が引き継ぐことで、施設の利便性を維持することを想定しております。</p> <p>また施設再編にあたり、地域公共交通の充実を推進してまいります。具体的には、民間路線バスや「ゆうゆうバス」、地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによって構成される公共交通ネットワークを整備し、高齢者にも利用しやすい施設への交通手段を模索してまいります。</p>
12	学校統廃合	こちらに引越してきたばかりで、よく分からなかったのですが、地域の方の話が聞けたので、問題など理解することが出来た。統合する年に入学する子供がいるので、とても参考になりました。通う学校の選択などよく考えて、意見や要望を出して行きたい。通学の方法などもあるので簡単には決められない。南小に通うにしろ妻沼小に通うにしろスクールバスを検討してほしい。	学校統廃合については、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するためにお示したものです。今後、PTAの方々との意見交換会等を実施し、御意見を伺って参ります。
13		5年後に合併を考えているのに、内容が薄い。結局、保護者や子供の意志は尊重されたい。	今後、小学校での地域説明会、保護者の方々との意見交換会等を実施し、御意見を伺ってまいります。

No.	区分	質問・意見	回答	
14	学校統廃合	児童数が減少しているので統合(廃校)だと偏見というか正しく認識していない人が多いのが残念。より分かり易い説明に努めてほしい。	今回の学校統廃合は、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するために推進するものです。また、分かりやすい説明を工夫してまいります。	
15		南小、妻沼小、選択できるようにしてもらいたい。まだ案とはいえ、地域の事を何も考えていないように感じた。5年後は先の事ではなく、すぐ先の事ですよ。		
16		この計画では反対です。デメリットを十分に考えていない状態では住民としての判断はNOです。		
17		個人的には、統合については反対です。小学校区の意向を最大限に尊重して進めて欲しい。財政的には「臨時財政対策債」を100%活用することにより解決できるはず。小学校区の意向が統合に賛成となったらいたしかたないと思う。		
18		複式学級は避けたい。地域のつながりを充分念頭において検討願いたい。		学校統廃合については、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するためにお示したものです。今後、小学校での地域説明会、保護者の方々との意見交換会等を実施し、御意見を伺ってまいります。
19		統合については賛成です。決める時は地元の意見も聞いて下さい。		
20		いくら説明を聞いても意見を述べても決定されている…だからあきらめている。休けい中若い方がごぼしていました。学校PTA説明会ではどこと統合したらよいか、先に統合する学校に行けるのか…と決定したものとして話がすすむのではと、心配。		
21	学校の統廃合については、地域の合意に基づいて進めてほしい。小学校がなくなると、地域が廃れてしまう。			
22	適正規模のメリットとして挙げられた人数不足による部活動の問題解決や人間関係の不和の解消は学校を統廃合しなくても転校等をすれば解決できると思うがどう考えているのか。	部活動や人間関係を理由とした指定校変更は、これまでも教育的配慮として個別に認めている事例が多くあります。統廃合は、適正な規模の環境の中で学ばせることが子どもたちにとってよりベターであるという考えに立っております。		
23	小規模校のメリット・デメリット	小規模校のデメリットのみでなく、メリットも考えてほしい。高学年になってからの統合だと人間関係は心配。学童はどうなるのか？	<p>学校は、単に教科等の知識や技能を習得させるだけではなく、集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨する事を通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要です。そうした教育を十分に行うためには、一定規模の児童生徒が確保されていることや、経験年数や専門性等について、バランスのとれた教職員が配置されていることが望ましいと考えます。小規模校の良さはたくさんありますが、子ども達に「知・徳・体」の確かな学力を身に付けさせるためには、ある程度の規模(クラス替えのできる規模)の中で子ども達に学ばせた方が、さらに力を伸ばすことができると考えております。</p> <p>人間関係について、学校等とも協議しながら、学校行事などにおいて、それぞれの児童同士の事前交流を増やす、学校の統廃合の意味や内容について、児童に事前指導を十分に行うなど、必要な対応を統合前から丁寧に行います。また、統合後についても不安や悩みに関するアンケートや面談の実施など、継続的に必要な対応を行っていきたいと考えております。</p>	

No.	区分	質問・意見	回答
24		統合については、反対です。今まで少人数であることにデメリットは感じた事は無く、逆にメリットだらけだった。人数だけで3校統合を決めないで欲しいです。自校給食についても、男沼小学校のいいところの1つであったので、このまま続けて欲しい。	今回の学校統廃合は、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するために推進するものです。子どもたちが適正規模の学校において、集団での生活や役割等を学べるようにしたいと考えています。 給食施設については、現在、給食センター、自校式と調理方式が混在していることから、市内の子ども達に格差が生じないように、同じ調理方式、同じ献立等により給食を提供してまいりたいと考えております。新たな給食センターでは、衛生管理やアレルギー食について管理の一元化を図り、安心安全な給食の提供に努めてまいります。また、食育など自校式のメリットを取り入れた運営についても現在、検討しております。
25	小規模校のメリット・デメリット	クラス替えがないのは、少し気になる所だが、少人数の良い所もある。少ない人数で学校の行事や生活の様々をしていかななくてはならず、みんなが助け合ってフォローし合い、何でもできるようになる年の上下なく助け合える。地域の祭りや行事が続けられなくなりそう。地域の方とのふれあい、かかわりあいが無くなってしまふのは、残念。地域で子供を育てている見守っている感じが今はあるので続けて欲しい。生徒の人数が少なくて色々な意見がきけないと言うのであれば、他の学校とネットで中継すればよい。	学校は、単に教科等の知識や技能を習得させるだけではなく、集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨する事を通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要です。そうした教育を十分に行うためには、一定規模の児童生徒が確保されていることや、経験年数や専門性等について、バランスのとれた教職員が配置されていることが望ましいと考えます。小規模校の良さはたくさんありますが、子ども達に「知・徳・体」の確かな学力を身に付けさせるためには、ある程度の規模(クラス替えのできる規模)の中で子ども達に学ばせた方が、さらに力を伸ばすことができると考えております。
26		小規模校に利点は多くある。地域の意向を良く聞いてほしい。	今後、小学校PTA等への説明を行い、意見を伺ってまいります。
27	児童数	今後5年間の入学児童の数は？毎年何人入学すると推計していたのか。 太田小学校はいつから複式学級になるのか？	適正規模の基本方針を定めた時点での推計では全校62人となっております。R2年度に入学してくる一年生は16人となっております。 2025年度から複式学級となることが見込まれます。
28	小中一貫校等	小規模校の良さを残して頂きたい。西中学校に小中一貫校としてひらくのは良い方法だと思います。太田小、南小学校のみなさんの意見も聞いてみたいです。	小中一貫校・義務教育学校については、今後研究・検討をしてまいります。
29	学区	学校区と区切り方について、将来を展望し設定すべき	学区が決まった歴史的経緯や関係住民の意向、自治会の意見等を総合的に判断して決めてまいります。
30	指定校変更	太田小、妻沼南小、男沼小の三校を統合というかたちで検討しているようだが、現在男沼小には小島地区の児童・生徒も通学をしている。小島地区から妻沼南小に通うのはかなり遠方になってしまう。また、男沼小学校区についても妻沼南小よりも妻沼小に近い地区もある。妻沼小学校への入学・転校はできないのか？	将来的な市町村を見ると二校よりも三校の方がより適正規模に近づくという面もあり、三校での統合を検討しています。今後、男沼小学校区から妻沼小へ通学(指定校変更)について検討していきます。
31		同じ地域の子どもが、(指定校変更等により)他の学校に通うことになると、地域コミュニティが崩壊してしまうのではないかと考えられますので、慎重な検討をお願いします。	-

No.	区分	質問・意見	回答
32		指定校変更は統廃合が検討中であると説明しているにも関わらず、それを進めるために子どもを先に移してしまおうというように感じてしまう。台地区の子どもたちは妻沼小が一番近く、そちらに行きたいという声も上がると思うが、その場合には学校区はどうなるのか。今までの地域という団体が、子どもたちの居場所が変わることによって崩れてしまうのではないか。	まず統廃合の検討中ですが、指定校変更で今から学校を移すというような回答はどうかというご意見については、仮に統廃合が決定された場合には、指定校変更を認めるという方向で検討している段階であり、決定ではないことを御理解いただければと思います。
33	指定校変更	指定校変更について、いつから可能となるのか？また、どのように周知するのか？ 指定校変更について、可能だという方針を取る前に、一度子どもが入学を控えている保護者に、どこの小学校に子どもを入れたいかというようなことを回答してもらってアンケートを取ってから行った方が良く思われる。	まだ検討中の段階となりますが、仮に指定校変更を認める方針が立った際には、保護者の方に意見を聞いたり、調査等を行う必要があると考えています。
34		指定校変更により、兄弟で違う学校に通うことも起こり得る。 上の子が男沼小に通い、下の子が妻沼南小に通うこととなった場合、親が送迎をするのか、スクールバスが出るのか。 また指定校変更の希望が多かった場合、男沼小のクラスはどうなるのか？	スクールバスの送迎は学校統廃合後を想定しておりますので、それ以前の送迎は保護者で行っていただく形になります。 また、人数に関わらず、男沼小がある限りはクラスは存続させていきます。
35		妻沼小との合併を考えてほしい	適正規模の観点から、男沼小・太田小・妻沼南小の三校での統合案を検討しています。
36	統合する学校	南小学校への統合前提で話が進んでいますが、妻沼小への統合は検討されていますか。学校給食・自校とセンターの格差をなくすための事ですが、せっかく今現状である良い状況をあえてなくす必要は無いと思います。	今回の統合案の対象としている3校は、現時点で全学年単学級となっており、他の統合の組み合わせだと単学級が解消されないことから、今回の統合案とさせていただきます。 給食施設については、現在、給食センター、自校式と調理方式が混在していることから、市内の子ども達に格差が生じないよう、同じ調理方式、同じ献立等により給食を提供してまいりたいと考えております。新たな給食センターでは、衛生管理やアレルギー食について管理の一元化を図り、安心安全な給食の提供に努めてまいります。また、食育など自校式のメリットを取り入れた運営についても現在、検討しております。
37		妻沼小と男沼小の統合については検討しなかったのか？統合を検討するに当たり、地域の希望は加味されているのか？男沼地区の特性・経緯等を考慮すると、妻沼小学校との統合が良いのではないかと？	適正規模となるような統合案を提示させていただきました。
38	通学方法・通学路	中学校についてはスクールバス通学にならないのか？	自転車通学を考えていますが、今後の検討課題とします。

No.	区分	質問・意見	回答
39	学校プール	プールを残してほしい。自校給食を残してほしい。	<p>水泳授業の校外方式を導入し、屋内プールを利用することで、気温や水温が管理でき、天候に授業の実施が左右されず、季節を問わず水泳授業を実施することができます。また、専門のインストラクターによる児童生徒のレベルに合わせた専門的な指導が行え、教員も同行して授業を見守ることで安全面の向上が図られます。児童生徒、教職員にとって過度の負担とならず、有益なものとなるよう、方法を検討します。</p> <p>給食施設については、現在、給食センター、自校式と調理方式が混在していることから、市内の子ども達に格差が生じないよう、同じ調理方式、同じ献立等により給食を提供してまいりたいと考えております。新たな給食センターでは、衛生管理やアレルギー食について管理の一元化を図り、安心安全な給食の提供に努めてまいります。また、食育など自校式のメリットを取り入れた運営についても現在、検討しております。</p>
40		校外方式水泳授業について、現状の時間割で授業となるのか？また夏休み中の学校プールはどうなるのか？	授業については、カリキュラム調整を行うことで対応します。夏休みプールについては、無くなることを想定しています。
41	給食	給食センターについて、自校式にするという方向性だったはずだが、なぜセンター方式となったのか？	自校式は学校敷地内に調理場を建設することから、平成27年度に学校の敷地調査を行いました。その結果、熊谷、江南地区の全34校のうち、約3分の1の学校が敷地の確保が困難であり、同じ調理方式により給食を提供することができない等の課題が明確になりました。その後、改めて給食施設のあり方について検討を行い、今回、センター方式といたしました。
42	その他 学校関連	国に対し、1学級30人とするよう要望をしてはどうか？	機会を捉えて要望してまいります。
43		地域から小中学校がなくなることで若い人たちが学校の近くに家を作るようになって、男沼地域の人口減少が加速し限界集落化するのではないか。	学校統廃合後は、学校体育館を地域体育館に転用し、また、公民館を除却した後に、地域貸館を学校跡地に整備するなど地域の拠点施設として活用することで、地域の維持・存続を図ってまいりたいと考えています。
44	地域	男沼小学校を卒業し、地域に愛着をもって、地域活動に参加している者が多い。学校統廃合により、地域活動がなくなってしまうのではないかという不安を感じる。	小学校のような地域の施設が統廃合される場合には、地域体育館、地域会館等によって構成される地域拠点施設を学校跡地に整備する予定です。この拠点施設が、その地域の中核的な地域活動の場として利用されることを想定しています。
45	地域会館	地域施設の運営を丸投げされると自治会費を増額しなくてはならなくなる。その自治会費は戸を単位に集金するし、自治会費を払わないでサービスだけを受ける人が増加している現状からして、自治会費は税金ではないけれど必要不可欠な税に類似した支出とすると、税の公平負担の原則に反するのではないか。	地域拠点施設(地域体育館や地域貸館施設など)の管理運営は、市で行います。自治会に費用を負担していただくことは考えておりません(施設を使う場合の使用料は、もちろん別です)。なお、一部の集会施設を地元譲渡する場合、その建物は、譲渡により、一般の自治会館などと同様に地元(自治会)の所有となるため、管理運営も当然に地元(自治会)負担となりますが、地元の意向を無視して市が建物を押し付けるようなことはありません。

No.	区分	質問・意見	回答
46	地域会館	無駄のない施設利用が出来るようにしていただければと思います。	施設の利用状況、人口推計や建物等の状況の変化を踏まえ、市民の皆様の御意見を伺いながら、個別施設計画を策定していきたいと考えています。
47		地域の人が使いやすい様にして欲しい。	公共施設再編に合わせて、地域公共交通の充実を推進してまいります。具体的には、民間路線バスや「ゆうゆうバス」、地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによって構成される公共交通ネットワークを整備し、利用しやすい施設への交通手段を模索してまいります。
48		学校が廃止になって、地域の施設として使われるようになって、利用しなければ、地域とかわりがなくなっていくのではないかと？	学校跡地については、地域体育館、地域貸館施設等によって構成される地域拠点施設への転用を見込んでいます。体育館以外の学校施設は、原則として除却の予定です。ただし、廃校後の施設の活用可能性については、サウンディング調査(案件内容決定の前段階での公募による民間(事業者)の意向調査等)の実施の可否も含め、地域の意見を伺いながら検討してまいります。施設利用にあたり、御不便のないように、地域公共交通の充実を推進してまいります。
49		図書館、公民館等も高齢者が車を使わなくても利用できる形である程度残してもらいたい。	現在の公民館が有する機能のうち、主に貸館機能は、地域貸館施設(地域会館)として小学校地内への移転(新設)を考えています。これは、小学校体育館を地域体育館として活用することと併せ、一体的に地域の方々に利用していただけるよう計画しております。
50		地域施設についても可能なかぎり、統合せずに進めるべきである。	施設の利用状況、人口推計や建物等の状況の変化を踏まえ、市民の皆様の御意見を伺いながら、個別施設計画を策定していきたいと考えています。
51		仮に統合以後、男沼の地域づくりを進めようとするのか、社会教育の視点で青写真を示してほしい。	現在の公民館機能を、貸館機能と生涯学習機能に分け、現在の公民館区域ごとに地域の方々のサークル活動等にご利用いただく貸館施設としての地域会館を小学校跡地に整備し、講座等を行う生涯学習機能を生涯活動センターに集約することを想定しています。施設利用にあたり、御不便のないように、地域公共交通の充実を推進してまいります。具体的には、民間路線バスや「ゆうゆうバス」、地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによって構成される公共交通ネットワークを整備し、高齢者にも利用しやすい施設への交通手段を模索してまいります。
52	アクアピア	熊谷プールがなくなりアクアピア1つになるとの事ですが、屋外プールが無ければ子供の足も遠のくと思います。	さくら運動公園の屋外プールについては、老朽化や利用日数を踏まえて廃止し、アクアピアへと機能移転することを想定しております。また、市内数力所に全年齢層向けの屋内型水浴施設を整備することを想定しております。
53	説明会	一度の説明で納得、合意を得ることは難しいので、何回か開催して住民の疑問について丁寧に説明する必要がある。答えがすぐに出ない場合もあるのは当然だが、それらを(市へ)持ちよってよりよい解(回)答を導いてほしい。	今後、小学校での地域説明会、保護者の方々との意見交換会等を実施し、御意見を伺ってまいります。
54		統合案について、最近知ったばかりである。統合には反対。2025年統合というのも急ぎすぎる。検討のプロセス、適正規模と小規模のメリット・デメリットを知りたい。早急に次回の説明会を開催してほしい。	

No.	区分	質問・意見	回答
55	その他	そんな事より、子供が大事！！	今回の学校統廃合は、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するために推進するものです。
56		小学校だけで考えいっぱいです。	—

## ご質問・ご意見への回答・考え方一覧（第一回星宮小学校区）

No	区分	質問・意見	回答・考え方
1		もっと早い段階でアナウンスをしてほしかったです。	今回お示した再編方針案は、市民皆様の御意見を伺うためのたたき台であり、市民皆様からの御意見を伺い、個別施設計画を策定してまいります。
2	再編方針案全般	長期計画をすることにより効率的かつ有効な発展をしていって欲しい。	人口推計や建物等の状況の変化を踏まえ、市民の皆様の御意見を伺いながら、随時計画を見直し、推進していきたいと考えています。
3		既定の計画だと思い込んでいる人が多い。	学校の統廃合を進めるにあたっては、保護者や地域住民に対し、統廃合の趣旨等について説明し、御意見を尊重しながら進めることとしております。今後も保護者等を対象とした説明会を開催するなど、丁寧に進めてまいります。
4		適正な規模に関する基本方針 小学校は地域の顔であり拠点でもある。コスト面だけを考慮して統廃合を計画するのは全く無謀であり、地域の過疎化を助長させる原因になる。よってアセットマネジメント計画からは排除すべきである。	公共施設全般については、熊谷市公共施設アセットマネジメント基本方針や同基本計画に基づき検討しておりますが、学校教育施設、特に小中学校については、「熊谷市立学校の適正な規模に関する基本方針」に定める基準に従って検討した結果(案)です。「熊谷市立学校の適正な規模に関する基本方針」は、子どもたちにとって何が一番良いかを考えて策定されたもので、適正規模による学校の運営を行い、集団での生活や役割等を学校生活の中で学べるようにすることを目指しています。
5		市長は星宮小は廃校にしないと明言した(当分の間)。国の方針、議会関係、やむを得ないか？	平成27年1月に、文科省から「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」が示され、少子化等の影響により、学校の小規模化に伴う教育上の諸課題に対し、市町村が教育的な視点から活力ある学校づくりのための方策を継続的に検討・実施していくことが求められています。 本市においても、学校の小規模化と学校間の規模の違いが進行しており、この傾向が今後も続くことが見込まれることから検討を重ね、平成30年11月に「熊谷市立学校の適正な規模に関する基本方針」を策定し、これに基づき今回学校統廃合の案をお示したものです。
6	学校校統合	(小学校の統合) ・2023年の予定との事ですが、何年何月と具体的に教えてほしい(今の何年生～対象なのか) ・大運動会は？ ・役員は(準会員も含めて)	【統合時期】成田小と星宮小は、2023年(令和5年)4月の統合を予定しています。現在の2年生が6年生になるタイミングで統合します。 【大運動会】統合後の運動会については、小学校と地域で別々の開催となると思われます。 【役員】これまで星宮小では正会員のほか、準会員の皆さまに支えられて、子ども達の教育活動やPTA活動、地域活動等を行って頂いております。新校のPTA役員等の在り方については、両学校とPTAの方々と検討してまいります。
7		体育館はまだ新しく、成田小に吸収されるのはもったいないなと思いますが、人数が10人以下など少ないのなら仕方ないのかと思います。途中で転校になった場合のフォローは万全にしたいと思います。大変なのは実際に通っている子どもたちと保護者の方々です。交通手段もそうですし、体操着も新しく買い換え、役員の負担、転校によるいじめなど、心配ごとはたくさんあります。納得のいく回答をお願い致します。	子どもたちのケアについては、学校等とも協議しながら、学校行事などでそれぞれの児童同士の事前交流を増やす、学校の統廃合の意味や内容について、児童に事前指導を十分に行うなど、必要な対応を統合前から丁寧に行います。 また、統合後についても不安や悩みに関するアンケートや面談の実施など、継続的に必要な対応を行っていきたく考えております。通学にはスクールバスの利用を想定しています。体操着などはそのまま使用することもできますので、できるだけ保護者の負担にならないようにと考えております。 そのほか、さまざま点において、(仮称)新校設立検討委員会で、学校や保護者の皆様と協議しながら決定していくこととなります。子ども達と保護者の心配や負担ができるだけ少なくなるようにしていきたいと考えております。

No	区分	質問・意見	回答・考え方
8	学校統廃合	<p>【小学校統廃合について】            全体的に子どもの数が減少し、少ないの多くの学校に空き教室が増えている現状が確かにあります。しかし、教育的観点から見た場合、小規模校、大規模校どちらにも長所と短所があると思います。実際、小規模校で学ばせたいと考える保護者も居ます。            統合するのであれば、児童数に見合った規模の施設を新設して、新しくスタートして頂きたい。</p>	<p>小規模校の良さはたくさんありますが、子ども達に「知・徳・体」の確かな学力を身に付けさせるためには、ある程度の規模(クラス替えのできる規模)の中で子ども達に学ばせた方が、さらに力を伸ばすことができると考えております。            現在の学校小規模化の進行状況等を考慮し、現在の成田小の位置に新たな学校として設置することとしたものです。</p>
9		<p>【小学校統廃合について】            ・スクールバスを活用した場合のピックアップ方法            ・成田小に行く子ども達のケア            ・体操服や備品など買い替えが必要になった場合の保護者の負担            ・運動会や参観日などで成田小に行くときの車の使用の許可</p>	<p>・スクールバス            具体的な運行方法は、今後学校や保護者、地域の皆様と相談しながら、安全に通学できる方法を決定したいと考えていますが、案としては現在の星宮小に集合して、そこからバスで通学する方法や、何力所か乗降場所を設定してそれぞれ最寄りの乗降場所に集合して通学する方法が想定されます。            ・子どもたちのケア            学校等とも協議しながら、学校行事などにおいては、それぞれの児童同士の事前交流を増やす、学校の統廃合の意味や内容について、児童に事前指導を十分に行うなど、必要な対応を統合前から丁寧に行います。            また、統合後についても不安や悩みに関するアンケートや面談の実施など、継続的に必要な対応を行っていきたいと考えております。            ・保護者の負担            できるだけ保護者の負担にならないように検討します。            ・学校行事の車使用            学校とPTAとよく相談をして決めていく予定です。</p>
10		<p>【小学校統廃合について】            ・統合の必要性・意味・目的等は？            ・スクールバスのバス停位置、時刻表、運行規準は？            ・見守り隊(仮)の役割は？            ・准会員制度の今後は？            ・資源回収の今後は？            ・体験学習(じゃがいも掘り他)の今後は？            ・運動会負担金の今後は？            ・学校名、校歌の今後は？</p>	<p>今回の学校統廃合は、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するために推進するものです。子どもたちが適正規模の学校において、集団での生活や役割等を学べるようにしたいと考えています。小規模校の良さはたくさんありますが、子ども達に「知・徳・体」の確かな学力を身に付けさせるためには、ある程度の規模(クラス替えのできる規模)の中で子ども達に学ばせた方が良いと考えております。新しい学校として統合されても、これまでどおり、地域で子ども達を見守っていただきたいと思います。            詳細については、(仮称)新校設立検討委員会を立ち上げ、具体的な内容について検討してまいります。</p>
11		<p>学校が無くなってしまうのは悲しいけれど最善の選択であるなら賛成</p>	<p>学校の統廃合は、適正規模による教育環境の向上を図ることを第一に考えております。</p>
12		<p>小学校統廃合、反対</p>	<p>—</p>
13	<p>児童同士の事前交流はありますが、高学年は林間、海浜学校等あり、交流機会はありますが、低・中学年についてどのような交流等が例としてあがっているのでしょうか。具体的に教えて下さい。</p>	<p>具体的な内容については今後検討してまいります。</p>	

No	区分	質問・意見	回答・考え方
14	学校統廃合	廃校でなく、休校が良い。未定のことが多すぎて、話が見えない。4年生の先生はいつ決定ですか。産休の先生のかわりが決定しないなんて普通の会社ではありえない。	現在、全県的に臨時的任用教員が不足している状況であり、教員が確保でき次第、直ちに配置いたします。
15		そもそも統合すべきかの議論が少なかったのが残念だった。	学校統合に向けての説明会は今回で終わりではなく、今後回数を重ねていく必要があると考えております。
16		複式学級にならない様に人数は少なくなっても通常学級編成で検討下さい。	県の基準に則って学級編成は実施されます。複式学級実施にあたっては、熊谷市として複式学級対応支援員等を配置する予定であり、学級担任の授業補助や子ども達への支援を行い、学力の維持に努めてまいります。
17		第1に現行と未来の子ども達の為になる選択であるならば賛成致します。卒業生としては淋しいです。人の気持ちを大切に考えて進めてほしいです。	学校の統廃合は、子ども達の教育環境の向上を図ることを第一に考えております。
18		もっと早く示して欲しかった。人数が少ないので仕方ないと思う。	学校の統合には、校名や通学方法の決定など、さまざまな準備が必要になります。これらのことの多くは、学校や保護者、地域の皆様と相談しながら決定していくこととなりますので、今回お示した方針案の予定とさせていただきます。
19		学校統廃合、反対	-
20		小学校がなくなるの寂しいです	-
21		4世代で星宮地区に現在住んでいますが、娘夫婦達の子ども達が星小にぜひあげたいと引越してきました。自然ゆたかな土地とあたたかい地域の人々の居る星小をぜひ残して下さい。	-
22		(学校統廃合について)さみしいですが、子供のためにはしょうがないとおもいます。	-
23		(小学校について)できるなら現状のままが良い!	学校の統廃合は、子ども達の教育環境の向上を図ることを第一に考えております。
24		(学校統廃合について)子どもの環境を考えるとしかたないと思う。	
25		小学校については、統廃合すべきでない。	-
26	(学校統廃合について)反対です。	-	

No	区分	質問・意見	回答・考え方
27		(学校統廃合について) 反対	—
28		小学校統廃合となった場合、市の予算で記念碑の建立してほしい。	今後、学校や保護者、地域の皆様と相談しながら決定したいと考えています。
29		2023年の星宮・成田小統廃合までのスケジュール等を知りたい。	今後も保護者等を対象とした説明会等を開催し、御意見を伺う機会を設けます。また、統合に向けた準備段階で、学校に関わる具体的な内容(学校名や校章、校歌など)や子ども達の学用品等について、(仮称)新校設立検討委員会を立ち上げて、学校や保護者の皆様と協議しながら決定していくこととなります。
30		小学校統廃合は大きな話だが、今まで話がなかった。代々、地域の方が小学校を中心として地域の伝統を守ってきた歴史がある。小規模であっても小学校を残してほしい。	学校の統廃合は、子ども達の教育環境の向上を図ることを第一に考えております。
31	学校統廃合	PTA会長等を中心に、学校統廃合に係る検討委員会を立ち上げる等の体制づくりをするべき。	学校の統廃合を進めるにあたっては、保護者や地域住民に対し、統廃合の趣旨等について説明し、御意見を尊重しながら進めることとしております。今後も保護者等を対象とした説明会を開催するなど、丁寧に進めてまいります。また、統合に向けた準備段階においては、学校に関わる具体的な内容(学校名や校章、校歌など)や子ども達の学用品等について、(仮称)新校設立検討委員会を立ち上げて、学校や保護者の皆様と協議しながら決定していくこととなります。
32		(小学校の統合) 反対。星宮地区の文化が消える。	今回の学校統廃合は、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するために推進するものです。子どもたちが適正規模の学校において、集団での生活や役割等を学べるようにしたいと考えています。また、学校跡地の地域拠点施設化の考え方などは、地域社会への影響を最小限に抑えるためのものであり、市としても、地域の維持・存続を図ってまいりたいと考えております。地域活動における学校の関わりについても、統合後の新たな学校において、検討することとなります。市政レベルでは、平成28年3月に策定した熊谷市総合戦略において、人口減少の抑制に向けた各施策を講じることとしており、移住時の住宅取得に係る固定資産税の減免や三世代住宅取得に係る補助金の支出などの定住促進に向けた各事業を推進しております。さらに、ゆうゆうバスについては、運行形態を循環型から往復型に移行することにより便数の増加を図り、利便性の向上を図っています。
33		地域ぐるみで学校を見守り、育てている星宮小学校はなくすべきではない。	
34		子どもの事を第一に考えての統廃合であるべき	
35		あくまで公共施設の数を減らす上での小中学校の統廃合なのでは？	
36		星宮地区の各団体が小学校に集まり、子どもたちを育てているが、それがなくなることについてはどうするのか？	
37		地域施設がなくなると、地域の方の活動が減ってしまうのではないかと思う。	

No	区分	質問・意見	回答・考え方
38	学校統廃合	地域住民が一体となり、各世代が各々見守り合って生活している地域である。そのベースが小学校や公民館などの公共施設である。現在、各行事を通して小学校に皆が集まり交流してきた。「小学校」「地域施設」を切り離して考えることは困難であり、小学校をなくすということはそのコミュニティを崩壊させることではないか。	
39		絶対反対	
40		人口の推移、建物の老朽化等を見据えると、考えていかなければならないテーマだと思いが・・・。「子どもが豊かに育まれる環境」を考えていくと、当地区は自然豊かであり人情も厚く、地域の団結力と行った面から人間としての基礎を育む場としてふさわしいと思う。	
41		小学校＝地域の拠点 小学校がなくなることは地域がなくなってしまうことを意味するようになります。	
42		30年前、東京への通勤は大変だが、小学校が近くにあったため下川上に家を購入しました。同じ理由で長女夫妻も家を建てました。学校がなくなると、この地に移り住む若者はいなくなります。統合の見直しを切に要望します。	
43		小学校統合については反対します。 平成21年から食育・農業の伝承・継承の一環として、小学生の農業体験学習を実施し、農業への関心と啓発を目的に活動していますが、統合によってその活動が困難になる。 また、農地のポテンシャルを引き出すためのイベント活動にPTAも参加しているが、これも存続が厳しくなる。	
44		小学校統合に反対です！！学校は家の近くに必要です！！ 星宮小学校区はなぜか交通機関も少なく、利便性にかけます。広い土地があっても、店もありません。もっと市が、地元で努力している人の意見を聞き、皆で協力して若い人も移住しやすい環境整備をし、地域を活性化させて住みやすくしていけば、人も子どもも増える場所です。地域でコスモス祭りをしたり、行事などに努力しています。人が少ないから統合するのではなく、これからを考えて人を増やす(移住してもらえ)街作りに力を入れてもらいたいです。はっきり言って熊谷は住みにくいです。まずは住みやすい環境作りをお願いします。	
45		学校が遠い、店がない、道が危ない(歩道・狭い・混雑など)、交通機関が少なすぎる。そんなところに移住しますか？子育ても安心してできますか？小学校を減らして子ども人も減るのは悪循環です。	
46		小学校と地域、各種団体が協力していろいろな行事を行っています。 廃校になると地域コミュニティが崩壊してしまう恐れがあります。	
47		(小学校の統合)賛成。早ければ早いほどいいです。	

No	区分	質問・意見	回答・考え方
48	学校統廃合	<p>【星宮小学校統合について】                      なぜ2023年なのか?星宮小では、来年度にも複式学級となる学年がありますが、複式学級では先生・生徒共に負担が大きく、十分な学習ができないと思います。学校は児童の学習と発達を最優先すべきです。複式学級を発生させることなく統合することを望みます。地域の統合と時期を合わせる必要はないと考えます。必要であれば来年度からでも良いと思います。</p>	-
49	学校統廃合・公共交通	<p>施設の再編、統廃合は必要と考えるが…その後の維持管理費(人件費含む)の削減はどの程度になるのか試算は出来ていると考えますが、案に添った概算を発表(提示)すべきだと思います。公共交通手段の充実を進めてほしい。(現状では、運行本数が少ないので利用者も少ない(不便)。</p>	<p>施設の建設から利用・修繕等を経て解体までのトータルのコストをライフサイクルコスト(LCC)といいますが、一般に人件費含む維持管理費(ランニングコスト)がLCCの7~8割を占めるといわれており、その削減は施設マネジメントにとって重要な課題です。ランニングコストの削減見込みについては現在試算作業中ですが、いずれ試算結果をお示ししたいと考えています。                      公共施設再編と同時に、民間路線バスや「ゆうゆうバス」、将来的には地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによって構成される地域公共交通ネットワークの整備を引き続き進め、地域公共交通の充実も図ってまいります。</p>
50		<p>気になる子の存在から考えると・・・                      クラス内に6%存在していると聞いている。担任以外に教職員さんの配置がある。ひとりひとりをしっかり見つけ、子どもの個性を把握して関わっていくことを考えると、少人数クラスが望ましいと思う。集団の中で育まれるものが心配であれば、教科による通級対応でもよいのではないかと思う。</p>	<p>統合し、児童数が増えても、一人一人に応じた指導ができるよう、継続して取り組んでまいります。</p>
51		<p>小規模校は児童一人一人と密につながっていることで、いじめの前の段階で気づくことも可能ではないだろうか。クラス替えができない＝友達が少ない、不幸である、とは限らないと思う。設立当初から単学級の星宮小は、小規模校のモデル校になるのではないか？</p>	
52	小規模校の良さ	<p>国の方針として、数年の間に全国各地で統廃合が進んでいくと漏れ聞いている。どのような基準で区分を決めていくのか、誰がやるのかで内容は変わっていくと思う。                      小規模校を大規模校にまとめることが、果たしてベストなのかと感じる。少子化が進んでいる社会だからこそ、少人数できめ細やかな学びの場を創ってほしいと思う。少数意見、精良な意見に目を向けてほしいと思う。</p>	<p>小規模校の良さはたくさんありますが、子ども達に「知・徳・体」の確かな学力を身に付けさせるためには、ある程度の規模(クラス替えのできる規模)の中で子ども達に学ばせた方が良く考えております。                      新しい学校として統合されても、これまでどおり、地域で子ども達を見守っていただきたいと思っております。</p>
53		<p>人の生き方が多様化している現在、教育の柱も大人が与える学びではなく、子ども自身が学びたいことに気づき、学んでいく方向へと変わりつつある。学習の場は、大規模な方がよいのか？                      小規模校の中でしか育むことができないもの、小規模だからこそ、自分の力を発揮できる子もいることを無視しないでほしい。</p>	<p>学校は、単に教科等の知識や技能を習得させるだけではなく、集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨する事を通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要です。そうした教育を十分に行うためには、一定規模の児童生徒が確保されていることや、経験年数や専門性等について、バランスのとれた教職員が配置されていることが望ましいと考えます。小規模校の良さはたくさんありますが、子ども達に「知・徳・体」の確かな学力を身に付けさせるためには、ある程度の規模(クラス替えのできる規模)の中で子ども達に学ばせた方が、さらに力を伸ばすことができると考えております。</p>

No	区分	質問・意見	回答・考え方
54	小規模校の メリット・デ メリット	同じ校数でコンパクトにして、継続の検討をしたのか？したのであれば、その理由を説明をお願いします。(小規模校のメリットデメリットについて)	<p>小規模校のメリットとデメリットについては、次のように考えております。</p> <p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の一人ひとりに目が届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすい。</li> <li>・児童生徒相互の人間関係が深まりやすい。</li> <li>・異学年間の縦の交流が生まれやすい。</li> <li>・全教職員の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。 など</li> </ul> <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会、切磋琢磨する機会が少ない。</li> <li>・部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい。</li> <li>・人間関係や相互の評価が固定されやすい。</li> <li>・教職員数が少ないため、経験、教科、特性等の面でバランスの取れた配置を行っていく。</li> <li>・一人が複数の校務分掌を担当するため、負担が大きくなる。 など</li> </ul>
55	中学校統合	小学校はその地域によっていろいろな特徴があり、残してもらいたい。 小学校はそのまま残し、中学校を統合してはどうか？	<p>今回の学校統廃合は、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するために推進するものです。子どもたちが適正規模の学校において、集団での生活や役割等を学べるようにしたいと考えています。</p> <p>小学校の方が学校小規模化の進行が早く、複式学級の編成が見込まれることから、小学校の統廃合を優先して行うこととしたものです。</p>
56		小学校は小規模でも中学校は4校が一緒になり集団の中で生活することもできると思う。	<p>小学校から中学校への接続期に見られる「中1ギャップ」は大きな課題となっております。できるだけ小学生という早い段階から、集団のなかで学ぶ教育環境が望ましいと考えております。</p>
57	コスト	星宮小のH29年度歳出決算額(人件費除く)、水道、電気・・・等	<p>水道代は年間約50万円、電気代は年間約130万円です。そのほか備品など学校が支出して使用するための予算は、約360万円です。</p>
58	複式学級	複式学級になると、教師の負担も大きくなり、子どもの満足な学習ができなくなる。複式学級が発生しないように早急な対応をしてもらいたい。	<p>複式学級実施にあたっては、熊谷市として複式学級対応支援員等を配置する予定であり、学級担任の授業補助や子ども達への支援を行い、学力の維持に努めてまいります。</p>
59	児童数	星宮小の令和2年度以降の児童数の推移は(5年位)？ 成田小も参考に。	<p>現時点で住民登録している人口による推移予測は、次のとおりです。</p> <p>星宮小は、令和2年度以降、R2:61人、R3:60人、R4:57人、R5:54人、R6:52人、R7:48人。 成田小は、令和2年度以降、R2:460人、R3:437人、R4:445人、R5:424人、R6:419人、R7:401人。</p>
60	受入れ側への説明	成田小学校と「対等合併」との説明があったが、星宮小の説明会は決定しているが、成田小の説明も同時に進めるべきではないか？受け入れ側の「学校名変更反対」の理由で廃案になった例もあり、気になるところです。	<p>地域説明会は、影響がより大きいと考えられる学校機能が移転する側の学校・地域から優先的に、調整・開催しています。受入れ側の学校・地域への説明も今後行っていく予定です。</p>
61	子供の社会性	統廃合により人数が増えることによって社会性は身につくのか？	<p>集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることができます。そうした教育を十分に行うためには、一定規模の児童生徒が確保されていることや、経験年数や専門性等について、バランスのとれた教職員が配置されていることが望ましいと考えます。</p>

No	区分	質問・意見	回答・考え方
62	子供の社会性	小規模校での日常から、新たな複数学級生活に戸惑いを感じたりする場面も想定され、心配な面があるが、いずれ大勢の仲間とも交流していく新しい「社会性」の育成が助長されることを期待したい。	新しい学校で、子ども達の力がさらに伸ばせるように支援してまいります。
63		すでにグループができあがっているところに入っていけるのか？ 仲間はずれやいじめの対象になることも考えられる。	
64	児童の人間関係・いじめ防止	大人だけでなく、子どもたち全員にわかるように納得できるように説明できるのでしょうか？長い距離と危険な道を通り、毎日通学しないといけないこと、星宮という小さな集団が、できあがっている大きな集団に入って、もしかしたらバカにされるかもしれないこと、校歌も先生も全部変わってしまうこと、星宮からすべてのものを取り上げられてしまうこと、プールも壊してしまうことなどなど、現実をどう子どもたちに伝えるのでしょうか？私にはウソを並べてとりあえず合併させるようにしか思えてなりません。市にお金がないからとでも、子どもに伝えるのでしょうか？	学校等とも協議しながら、学校行事などにおいては、それぞれの児童同士の事前交流を増やす、学校の統廃合の意味や内容について、児童に事前指導を十分に行うなど、必要な対応を統合前から丁寧に行います。 また、統合後についても不安や悩みに関するアンケートや面談の実施など、継続的に必要な対応を行っていきたくと考えております。
65	事前の転校	小学校の統合について、途中の転校でなく、統合がやむを得ないならば、新1年生から成田小へと移るのが良いかと思えます。在学年(星宮)は卒業まで、星宮小で過ごせないのでしょうか？	決定事項ではありませんが、学校の統廃合にあたり、あらかじめ統合される学校(拠点校)への入学希望がある場合や、在校生の転校希望がある場合は、指定校変更の手続により認める方向で話し合いを進めております。 なお、統合後は在校生も新設校へ移るといことで御理解いただきたいと思えます。
66	事前の転校・指定変更	統合についてやむを得ないかと思いますが、途中から学校が変わってしまうのであれば、初めから成田小学校への入学を考えたいと思えます。…が登校の手段、学童のことを考えると難しいのかもしれない。そういった点を統合前からサポートして頂けたら有難いです。(スクールバス、学童)。もし成田小へ希望した場合、登校はいちばん近い通学班の集合場所へ送ってあげれば良いのでしょうか？帰りは迎えに行けない場合は、子ども1人で帰って来ることになるのでしょうか？	決定事項ではありませんが、学校の統廃合にあたり、あらかじめ統合される学校(拠点校)への入学希望がある場合や、在校生の転校希望がある場合は、指定校変更の手続により認める方向で検討を進めております。  →その後、十分検討を行った結果、原則、統合するまでは統合前の学校に通うようすべての保護者の方々にお願いすることといたしました。ただし、お子様にとって途中で学校が変わることが不登校やいじめ等の心配があり不安な場合には、指定校変更の申請により個別に協議いたします。また、統合前に指定校変更された場合は、ご自宅から学校までの送迎を各ご家庭で対応して頂くことをご理解ください。
67	指定校変更	通学先小学校を選択できるようになるという噂がある。	統合が決まった場合は、指定校変更もできるよう検討しています。但し、統合前の通学については、各世帯での対応をお願いします。  →その後、検討を行った結果、原則、統合するまでは統合前の学校に通うようすべての保護者の方々にお願いすることといたしました。ただし、お子様にとって途中で学校が変わることが不登校やいじめ等の心配があり不安な場合には、指定校変更の申請により個別に協議いたします。
68		指定校変更について、エリア説明会の時の説明(指定校変更は不可)と違うようだが？	各説明会で皆様から御指摘・御要望を伺い、検討を開始いたしました。
69	通学方法・通学路	熊谷羽生線にガードレール設置等の安全配慮をお願い致します。	通学路の安全については、必要な対応をする検討してまいります。

No	区分	質問・意見	回答・考え方
70	通学方法・通学路	賛成ではないが仕方がない事だと思う。星宮地区の中心は星宮小学校であるという意識が強い。小学生が安全に通学できる環境を整備して欲しい。	学校統廃合については、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するためにお示したものです。今後、小学校での地域説明会、PTAの方々との意見交換会等を実施し、御意見を伺ってまいります。 子どもたちの体力面や安全面等を踏まえ、スクールバスの導入を考えております。具体的なスクールバス運行方法については、今後皆さんと相談していきたいと考えております。
71		通学路について、草が伸びて通行に危険を感じる箇所がある。通学路の安全性について、市でも良く考えてほしい。	通学路については、学校と保護者で協議のうえ決定しています。危険性がある箇所については、把握次第場所を確認し、所有者と調整するなど、必要な対応を行っています。
72	通学・スクールバス	噂によると、スクールバスを運行予定とのことですが、具体的には？	基本的には、現在の星宮小学校区の児童が通学する際にはスクールバスを利用することを想定しています。 具体的な運行方法は、今後学校や保護者、地域の皆様と相談しながら、安全に通学できる方法を決定したいと考えていますが、案としては現在の星宮小に集合して、そこからバスで通学する方法や、何力所か乗降場所を設定してそれぞれ最寄りの乗降場所に集合して通学する方法などが想定されます。
73		17号バイパス(青山)の横断が危険です。安全面の改修を。(スクールバスを利用しない場合が生じる)。スポーツ活動、修学旅行など。	通学路の安全については、必要な対応をする予定です。
74		通学距離が長くなった場合、どう対処しますか？例えば通学バス利用となると、6年間朝夕小学校を往復して培われる基礎体力を養う機会を奪うこととなります。将来的には足腰の弱い大人、寝たきり老人の増加をまねくことになりませんか？運動すること、普段の生活を見直すことで、医療予防につながっていくのではないかと思います。	小学校の通学距離の基準は、おおむね4km以内としています。学校統廃合により、通学距離が長くなる場合は、スクールバスの利用を想定していますが、自宅からバスの乗降場所までは徒歩で往復することになります。そのほかにも、基礎体力の低下を招くようなことがないよう必要な対策を講じていきます。
75	学童数から考えて統合はやむを得ないと思う。問題は統合先の成田小学校までの登校手段です。体力的な面も考える必要があります。スクールバスは必須と思います。		
76	スクールバス	スクールバス→原則星宮小全員→承諾→成田小学校でもっと遠い人はいないのか？差別化でいじめなどは？→校区内で再編けんとうはあるのか？そういった心のケアは？小規模より大規模の方が良いという意見が子供にすり込まれてしまう気がします。統合について子供はどう考えているのか？アンケート意見不安→とりのぞく改善が必要	スクールバスの具体的な運行方法については、今後皆さんと相談していきたいと考えております。 子ども達の不安や悩みに関するアンケートや面談の実施など、継続的に必要な対応を行っていきたくと考えております。
77		スクールバス運行の基準となる通学距離4kmとはどの位なのか？	統合した場合、星宮地区全域をバス通学とすることを想定しております。

No	区分	質問・意見	回答・考え方
78	学校統廃合・スクールバス	早く統合してほしい。記念碑なんていらぬ!!じじばばの意見は古いし、無意味なのが多い。星宮の名前なんて残す事に意味がない!在校生やこれから保護者になる人の意見に耳をかたむけてほしい。早く統合してバスが出ないなら自車での送迎もやむをえないので駐車場をたくさん確保してほしい。絶対必要になります。例えば運動会、バス送迎が出るとしても、保護者は準備や弁当等の大荷物、場所取りなどで、バスなんて乗れないからマイカーになる。(バスについて)成田がどんなかわからないが、学年で帰る時間がちがったり、クラブ活動だったり、放課後の校庭開放などで、子供1人1人の下校時間が違うので、そこもスクールバスでフォローしてもらえるのか。新1年や転校希望者は成田へ編入入学を認めるとの事ですが、既に少人数の子供達が、1人また1人と早めに成田に行ってしまったら、残った子達も「私も!」「じゃあ私も!」となりかねない。残った生徒が2.3人になってしまったらと考えるとやはり早めに統合するべきだと思います。スクールバスは生徒のみを乗せるべき!一般だれでも乗れたら、変な人から子供達を守れない!!今後保護者への説明会は、これから入学する保護者への説明会と合同でやってもらいたい。	学校統廃合については、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するためにお示したものです。今後、小学校での地域説明会、保護者の方々との意見交換会等を実施し、御意見を伺って参ります。 子どもたちの体力面や安全面等を踏まえ、スクールバスの導入を考えております。具体的なスクールバス運行方法については、今後皆さんと相談していきたいと考えております。
79	閉校	歴史ある星宮小ですので、記念碑(石)の建立計画は?市にて予算化?	今後、学校や保護者、地域の皆様と相談しながら決定したいと考えています。
80		さよなら星宮小のセレモニーの実施?	
81		星宮小廃校後は、速やかにプールを解体し、駐車場を確保する。下川上地区は西門からの出入りが便利です。	
82	跡地利用	星宮小の校舎の利用計画は?信用おける業者に(例:倉庫...)貸出し、収入にする?	学校体育館は地域体育館への転用を見込んでいますが、体育館以外の学校施設は、原則として除却の予定です。ただし、廃校後の施設の活用可能性については、サウンディング調査(案件内容決定の前段階での公募による民間(事業者)の意向調査等)の実施の可否も含め、地域の意見を伺いながら検討してまいります。
83		小学校用地の今後の活用内容は?	
84		地域活性化の為に、廃校後の現施設の有効利用が必要です。現星宮公民館は老朽化も進み、規模も小さく地域の方が活発に利用したいと考えにくいです。熊谷市民がスポーツ文化活動、その他の活動に廃校後の施設を有効に利用できるようにしていければと思います。	
85		星宮公民館を星宮小体育館、校舎の一部利用する案。跡地は公園等いいの場に利用。	
86		基本的には賛成。校舎の除去については、もっと活用法があると思うので、していただきたい。	

No	区分	質問・意見	回答・考え方
87		(小学校)グラウンドをサッカーゴールをそのままにして解放してほしい。スポーツ施設にしてほしい	廃校後の施設の活用可能性については、サウンディング調査(案件内容決定の前段階での公募による民間(事業者)の意向調査等)の実施の可否も含め、地域の意見を伺いながら検討してまいります。
88	跡地利用等	星宮小跡地に市の重要施設の移設を希望する。	学校体育館は地域体育館への転用を見込んでいますが、体育館以外の学校施設は、原則として除却の予定です。ただし、廃校後の施設の活用可能性については、サウンディング調査(案件内容決定の前段階での公募による民間(事業者)の意向調査等)の実施の可否も含め、地域の意見を伺いながら検討してまいります。
89	名称	「星宮」の名前を残したい。	名前については、(仮称)新校設立検討委員会で検討していきます。
90	学校用品	学校で使うジャージや体操着などは、統合になったら新しく購入するのか、そのまま使用していいのかが聞きたいです。	体操着などはそのまま使用することもできますので、できるだけ保護者の負担にならないようにと考えております。 学校に関わる具体的な内容(学校名や校章、校歌など)や子ども達の学用品等については、(仮称)新校設立検討委員会を立ち上げて検討していきます。
91		体育着などの学用品等の買い換えによる経済的負担が学校名が変わることにより大きい。	
92		プールについては維持費や教職員の負担を考えれば取り壊しても理解できる。	水泳授業の校外方式が、児童生徒、教職員にとって過度の負担とならず、有益なものとなるよう、方法を検討します。
93	学校プール	学校プール廃止のメリット・デメリットは？	<p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内プールを利用するため、気温や水温が管理でき、天候に授業の実施が左右されない。また、季節を問わず水泳授業を実施することができる。</li> <li>・専門のインストラクターによる児童生徒のレベルに合わせた専門的な指導が行える。</li> <li>・教員も同行して授業を見守ることで安全面の向上が図られる。</li> <li>・教員の負担の軽減が図られる。</li> <li>・学校プールの跡地を有効活用できる。</li> </ul> <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数時間をまとめて水泳授業を実施するため、時間割の調整が必要になる。</li> <li>・外部の屋内プールまでの移動時間及び移動手段が必要になる。</li> </ul>
94	海外の事例	海外においては、小規模校いくつかを1人の統括者(校長)がまとめ、教師が動いて授業を行っているところもあるとか・・・と、聞いたことがあります。様々な可能性を考え、何が子どもたちの将来に有益であるかと議論すべきだと思います。	学校の在り方については、引き続き他の地域の取組を参考にして研究してまいります。
95	学校全般	小学校は地域の文化活動などの拠点。簡単に賛成できない。	現在の公民館が有する機能のうち、主に貸館機能は、地域貸館施設(地域会館)として星宮小地内への移転(新設)を考えています。これは、星宮小体育館を地域体育館として活用すること併せ、一体的に地域の方々の生涯学習活動の拠点として御利用いただけるよう計画したものです。

No	区分	質問・意見	回答・考え方
96	学校全般	住民(みなさん)の意見を聞いてすすめるということであるが、本日のみなさんの意見を市側はどんなけ取めているのか不安です。住民の本意は星宮小の存続を願っているということがわかっているのでしょうか。複式学級になるのならしかたない。統合するのなら早めに対処したいということでバスのことや早めに成田小に入学させるのはどうかというような質問が出されたのだということがわかっているのでしょうか？市が考えることは、国の基準で複式学級になってしまうのなら市で予算を出して複式学級でなく単学級を存続させるというようなことだと思います。また、統合の決定の前から、指定校の変更を認めるということは…地域の中で各家庭に別々な方針を入れることになり、地域を分断させるものであると思う。保護者の不安を解消するためかもしれないが、それより分断させさせる作用の方が大きすぎると思う。	学校の統廃合は、子ども達の教育環境の向上を図ることを第一に考えております。学級編成は、県の基準に則って実施されます。複式学級実施にあたっては、熊谷市として複式学級対応支援員等を配置する予定であり、学級担任の授業補助や子ども達への支援を行い、学力の維持に努めてまいります。入学時から新しい学校に通うことについては、十分検討を行った結果、原則、統合するまでは統合前の学校に通うようすべての保護者の方々にお願いすることといたしました。ただし、お子様にとって途中で学校が変わることが不登校やいじめ等の心配があり不安な場合には、指定校変更の申請により個別に協議いたします。引き続き、保護者の方々ははじめとした住民の方々に説明をし、御意見を伺ってまいります。
97		東部地区に立派な公民館を設置しても魅力ない施設では利用者が少ない。グランドゴルフ可能、カラオケ、マッサージ、絵画室、保育室、読書室等。近辺で魅力のある公民館の所在地は？	近隣では深谷市が、公民館機能もある複合施設(深谷・幡羅・大寄・藤沢・明戸・上柴・花園)を設置しています。それらは、児童室、図書室、音楽室、調理室、工芸室、体育館、テニスコートなどを備えた規模の大きい複合施設です。本市でも、(仮称)生涯活動センターの整備に際しては、他市の事例も参考に、魅力ある生涯活動施設となるように検討してまいります。
98		(地域公民館の)老朽化は著しいと感じる。地区の中央にあることはとても良いと思う。いろいろな機能が中央に集中している傾向はいかがなものかと思う。高齢者の方は大変です。	施設が移転しても、できるだけ御不便のないように、地域公共交通の充実を推進してまいります。具体的には、民間路線バスや「ゆうゆうバス」、地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによって構成される公共交通ネットワークを整備し、高齢者にも利用しやすい施設への交通手段を模索してまいります。
99	公民館	公民館長さんがいろいろな企画をして行事(クラブ等)を実施しているので、稼働率は多いと思います。場所も地区の中央にあり、残してもらえれば助かる。	星宮公民館の年間利用者数は、平成29年度7,465人、平成30年度6,290人とここ数年減少傾向にあり、部屋の稼働率も、最も多いホールの午後の稼働率で3割程となっており、減少傾向となっています。公民館の貸館機能に限って見た場合、社会教育法上の制限から、社会教育以外の目的で貸し出すことは制限がありますが、地域会館として整備することで、社会教育以外の貸出しも可能となり、地域の多くの方々に、多目的に御利用いただける施設としたいと考えております。
100		公民館は星宮地区の中心ということで建立しました。公民館が学校内へ移転すると、利用に不便です。利用者が減少。	
101		星宮公民館は駐車場も広く利用しやすかったのが、なくなるのは不便に思います。コスモス祭りは大変良かったです。	現在の公民館が有する機能のうち、主に貸館機能は、地域貸館施設(地域会館)として星宮小地内への移転(新設)を考えています。これは、星宮小体育館を地域体育館として活用することと併せ、一体的に地域の方々に利用していただけるよう計画したものです。
102		星宮公民館は当地域のほぼ中央に位置し、我々の活動拠点である。公民館の見直しを行うのであれば、現状の利用実績と地理的条件を精査し、地域特性を考慮すべきである。	また、主に公民館機能(生涯学習機能)は、(仮称)東部生涯活動センターに移転(新設)させ、東部エリア内の他の地域の方々と共同で利用していただくことを想定しております。星宮小は星宮地区の東端に立地することから、地域公共交通を充実するなどして、地域の皆様の利便性に配慮していきたいと考えております。
103		公民館は当地区のほぼ中央に位置し、高齢者にとって利便性が良く、地域活動の拠点となっている。この施設を行田市境に移転するのは好ましくない。	

No	区分	質問・意見	回答・考え方
104	公民館	公民館の役割として、地域住民を組織化し地域の課題を問題提起することが含まれるため、地域コミュニティの中心となる拠点であると思う。地域の、「要・小学校」と同様に、重要な場所と考えます。	御指摘のように、公民館は地域コミュニティの拠点施設ですので、その機能を生涯活動センターと地域会館とで役割分担して引き継ぐことにより、今後もその役割を担っていくものと考えています。
105		基本的に再編はやむなしと考えますが、今回参加している方や自分も含めたこの地域に生きる人達は自分たちの住まう地域に愛着があると思います。「星宮」という名称を何らかの形で残してほしいと願います。モデルケースとして再編後もモニタリングしてほしい。	現在の公民館が有する機能のうち、主に貸館機能は、地域貸館施設(地域会館)として星宮小地内への移転(新設)を考えています。これは、星宮小体育館を地域体育館として活用することと併せ、一体的に地域の方々に利用していただけるよう計画しております。地域貸館施設の規模・名称等について、地域の皆様の御意見を伺いながら検討してまいります。
106		耐震性から移転は止むなし。但し、星宮小近くが良い。	公民館が有する機能のうち、主に貸館機能は、地域貸館施設(地域会館)として星宮小地内への移転(新設)を考えています。
107		(公民館について)なくなるの寂しいです	現在の公民館が有する機能のうち、主に貸館機能は、地域貸館施設(地域会館)として星宮小地内への移転(新設)を考えています。これは、星宮小体育館を地域体育館として活用することと併せ、一体的に地域の方々に利用していただけるよう計画しております。
108		(公民館)存続	
109		(公民館について)なくなってしまうのは寂しいです	
110		前向で考えて行きたいです。	
111	中央公民館	中央公民館や市民活動支援センターをよく利用しているが、一番不便を感じることは、駐車スペースの少なさです。また、中央公民館は3階まで階段の昇り降りするのは大変で、健康な人でないと利用しづらいですし、施設が古いのでトイレの鍵が閉まりづらかったり、暗くて清潔感に欠けたりしていますので、早急に広い駐車スペースがあり、使いやすい施設に作り替えていただきたい。	中央公民館は、昭和40年に建てられた施設で、駐車場が狭いなど、利用者には大変御不便をおかけしております。現在の再編方針案では、2025年度オープンを目途に、中央エリアに新しい施設を建設する計画となっております。
112	地域会館	地域施設(公民館等)は、地域住民の「縁側的」なイメージ。高齢者、乳幼児、子育て世代、その予備軍、あらゆる世代が集う場。災害時の拠点。	地域体育館、地域貸館施設等によって構成される地域拠点施設が、御指摘のような「集う場」「災害時の拠点」となる方向性を目指しております。
113		(地域施設(公民館等))反対。星宮地区の文化が消える。	公民館の貸館機能を地域会館として星宮小地内に移転し、地域の方々のサークル等の生涯学習活動の拠点として御利用いただき、講座等を行う生涯学習機能を上之荘跡地の東部地区の生涯活動センターとして集約し、様々な分野の生涯学習の機会や成果を発表する場を提供することにより、地域文化の継承・充実を図ってまいります。

No	区分	質問・意見	回答・考え方
114		(地域施設(公民館等))不要 全般 公民館、神社等不要。	地域公民館は、地域の交流拠点として、また、生涯学習の機会を提供する場として、必要な施設と考えています。地域公民館の機能は、いずれも新設予定の(仮称)東部生涯活動センターと(仮称)星宮会館とで役割分担して引き継いでいくことを想定しています。
115		地域の拠点として、 EX 学童クラブ・・・地域の高齢者力を原動力として運営 乳幼児の預かり・・・地域のパパママ予備軍がボランティアとして参加できるシステム	学童クラブ(児童クラブ)の職員となるには一定の資格や経験が必要とされており、また、乳幼児の預かりは、保育士による保育やファミリーサポートセンターの援助会員によるサービス提供などがありますが、いずれも有償によるものです。御提案については、これらの既存サービスとの調整、組織・運営体制の構築等の課題が考えられます。
116	地域会館	地域施設(公民館等)は、生活に必要な自治体のサービス機能を持っているところ。	地域体育館、地域会館等によって構成される地域拠点施設は、地域の利用に供される施設ですが、窓口サービスのようなものは想定しておりません。一方で、エリアレベルの(仮称)生涯活動センターでは、一部の窓口サービス(既存のコミュニティセンター、市民活動支援センター、公民館などにおける窓口サービス)の提供も想定しております。
117		地域施設(公民館等)は、子どもたちは地域の高齢者から多様な考え方を学び、高齢者は他孫(たまご)育ての場として、新しい文化に触れる場。引きこもり老人、大人、青少年、児童を作らない地域住民すべての方の良さを活かす場。地域のコミュニティセンターとして生まれ変わらせてほしいと思う。	星宮公民館の機能は、いずれも新設予定の(仮称)東部生涯活動センターと(仮称)星宮会館とで役割分担して引き継いでいきます。より規模の大きい生涯活動センターにおいて主に公民館機能(生涯学習機能)を、より小規模の星宮会館において主に貸館機能を引き継ぎます。星宮公民館で行っていた活動は、参加人数や貸室に必要な広さ・機能などにより、いずれかの施設で継続していただくことを想定しています。これらの施設が「地域のコミュニティセンター」として利用され、親しまれることを期待しております。
118		【地域施設(公民館等)について】 地域コミュニティを守るためにも、公民館等の施設は必要です。 地域住民(特に高齢者)が、歩いて集える位置にあることが重要だと思います。	公民館の生涯学習機能は、エリアごとの生涯活動センターに集約しますが、地域貸館施設(地域会館)を新たに建設し、地域活動拠点として整備することを想定しております。
119		【地域施設(公民館等)について】 公民館は地区内に必要です。 地域の人々が①徒歩②自転車③車で④投票所が近くにある等 集まれる利便です。	
120	生涯活動センター	東部生涯活動センターは入居する各公民館が同時使用可能か また 駐車場台数は？	(仮称)東部生涯活動センターには、太井・久下・星宮・成田・佐谷田の5公民館を一つに統合して入居となります。 サークル等の地域の方々の御利用につきましては、現在の地域公民館区域ごとに設置する地域会館を利用いただき、生涯活動センターは、東部エリアを対象とした、講座等の生涯学習活動を行い、現在の公民館機能を分離してそれぞれの施設を御利用いただく予定です。駐車場台数につきましては、未定です。

No	区分	質問・意見	回答・考え方
121	地域施設 (地域会館) と生涯活動 センター	地域施設と東部生涯活動センターの使い分け区分規準は何なのか？ また当該施設の①部屋数②給湯設備の有無③トイレ内容④バリアフリー化の有無⑤照明付き 自転車置場の広さ⑥駐車場台数⑦自動販売機設置⑧管理者⑨利用時間⑩空調設備 につ いて	現在の公民館機能を、貸館機能と生涯学習機能に分け、現在の公民館区域ごとに地域 の方々のサークル活動等にご利用いただく貸館施設としての地域会館と、講座等を行う生 涯学習機能を生涯活動センターに集約するものです。施設の部屋数につきましては、現在 の稼働率をもとに必要な部屋数を検討いたします。給湯施設は、生涯活動センターでは設 置予定ですが、地域会館につきましては未定です。トイレ内容につきましては、洋式化・多 目的トイレの設置を検討いたします。バリアフリー化につきましては、対応いたします。自転 車置き場・駐車場台数・自動販売機設置・管理者につきましては、現在のところ未定です。 利用時間につきましては、現在と同様の開館時間を予定しております。空調設備につしまし ては、冷暖房設備を設置します。
122		小学校前にバス停の設置をして欲しい。校舎やプールを除くということなので駐車スペースを 増やしてほしい。	学廃校後の施設の活用可能性については、サウンディング調査(案件内容決定の前段階 での公募による民間(事業者)の意向調査等)の実施の可否も含め、地域の意見を伺いな がら検討してまいります。
123		回答の中に地域公共交通の充実 民間路線バスが「ゆうゆうバス」の活用と有りますが、人口 の減少とともに民間バスも少なくなり、又、ゆうゆうバスも現在新しい道を通っており、東エリアに は運行されていません。今後どの様に対応するのでしょうか？	公共施設再編に合わせて、地域公共交通の充実を推進してまいります。具体的には、民 間路線バスや「ゆうゆうバス」、地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによっ て構成される公共交通ネットワークを整備し、利用しやすい施設への交通手段を模索してまい ります。
124	公共交通	高齢者が使いやすい方法(交通手段含め)考えて欲しい。	現在の公民館機能を、貸館機能と生涯学習機能に分け、現在の公民館区域ごとに地域 の方々のサークル活動等にご利用いただく貸館施設としての地域会館と、講座等を行う生 涯学習機能を生涯活動センターに集約するものです。 施設利用にあたり、できるだけ御不便のないように、地域公共交通の充実を推進してまい ります。具体的には、民間路線バスや「ゆうゆうバス」、地域循環バスとしても活用可能なス クールバスなどによって構成される公共交通ネットワークを整備し、高齢者にも利用しやす い施設への交通手段を模索してまいります。
125		車やバスで行きやすくしてほしい。利用するのは、若年、老年世代の人も多いため。	施設利用にあたり、できるだけ御不便のないように、地域公共交通の充実を推進してまい ります。具体的には、民間路線バスや「ゆうゆうバス」、地域循環バスとしても活用可能なス クールバスなどによって構成される公共交通ネットワークを整備し、高齢者にも利用しやす い施設への交通手段を模索してまいります。
126		ワゴン車仕用の地区内全域をまわるバスのけんとうをお願いします。	公共施設再編にあたり、地域公共交通の充実を推進してまいります。具体的には、民間 路線バスや「ゆうゆうバス」、地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによっ て構成される公共交通ネットワークを整備し、高齢者にも利用しやすい施設への交通手段を模 索してまいります。

No	区分	質問・意見	回答・考え方
127	公共交通	何しろ足の確保が問題です。	公共施設再編と同時に、地域公共交通の充実も図ってまいります。
128		循環バスの運行に相当額の費用がかかっていると聞いた。市の補助金等で民間路線バスを復活できないか？また、路線バスとスクールバスの選択制にできないか？	路線バスの復活については困難と思われます。循環バスについては、路線バス営業免許を持っている会社に委託をしています。今後、循環バス・スクールバスのルート等を検討していきます。
129	地域	地域振興も併せて考えて欲しい。デメリット(不便)だけでなく広くメリット(便利)を求めたい。	小学校のような地域の施設が統廃合される場合には、地域体育館、地域会館等によって構成される地域拠点施設を学校跡地に整備する予定です。統廃合後も、この拠点施設が、その地域の中核的な施設として利用されることを想定しています。また、閉校となった地域の子供たちはスクールバスなどで統合先の学校に通学しますが、そのスクールバスを地域循環バスとしても活用することで地域公共交通の再編・充実を進め、(運転免許を返納した)高齢化など車を運転しない方にとっても生活しやすい地域を目指したいと考えています。
130	地域活動・地域コミュニティ	利用しやすい(安心・近い・多くの人が集まれる)、そうした施設にするには、地域住民の活発な活動が重要と感じる。	地域コミュニティの場合は星宮地域に確保されるほか、東部エリアに生涯活動センターを新設する計画ですので、皆様の活動の機会が広がるものと考えます。
131		施設マネジメントは良いが、地域活性化のマネジメントはどう考えているのですか？	平成30年3月に策定した第2次熊谷市総合振興計画においては、市内企業や中心市街地商店街等に対する補助金などによる市内経済の活性化に係る事業、スポーツツーリズムや観光の推進などによる交流人口の増加による市内活性化を進めております。特に、地域マネジメントとの関係では、校区連絡会の活動を支援しております。
132		地域活動の中心的存在である小学校を統合することは、当地域の伝統文化・伝統行事の伝承が困難になるとともに、地域コミュニティの希薄さを招く。また、地域住民の小学校たちへの関心も薄らぐことになりかねない。	校区連絡会は小学校統合後もそれぞれの区域で活動していただくことを想定し、地域の主体性を尊重してまいります。地域コミュニティの中心的役割を担う自治会が地域づくりに関わることで、伝統が継承できるものと考えます。
133	地域活性化	地域全体が活性化するように考える。今の場所ならコスモス祭りがあります。	平成30年3月に策定された第2次熊谷市総合振興計画の政策において、市民活動の支援を施策として掲げており、コスモス祭りに代表されるような地域による盛り上がりの一層の充実化を図ることとしております。
134	地域の行事・伝統文化	公民館・学校・地域が協力し、地域伝統文化の伝承を行っている関係等を考えれば、公民館が学校の中にあってもいいと思う。	一般論として、学校内の空き教室などがあれば、公民館を学校の中に配置して、地域活動の拠点とすることは、地域や学校にとって有益であり、ひとつの方法として考えられます。一方で、児童生徒及び保護者にとって学校敷地内の安全、安心の確保も重要となります。星宮公民館や(仮称)星宮会館、(仮称)東部生涯活動センターを拠点に活動を続けることで、逆に成田地域からの参加などにより、地域伝統文化・行事のより強固な継承・拡大も考えられるのではないのでしょうか。
135		成田小との統合だと、地域伝統文化の伝承活動が心配です。	
136	地域の意見の傾聴	これまで頑張ってくれた地域の方たちの意見を無視しないで頂きたい。説明会も、「とりあえずマニュアルだけ読んで時間稼ぎ」「質疑応答にはとりあえず」後で検討します」	「地域の方たちの意見」を伺うために、地域説明会を開催するものです。次回以降の説明会では、より具体的な答弁ができるように努めてまいります。

No	区分	質問・意見	回答・考え方
137	避難場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・星宮地区の避難場所はどこになりますか？</li> <li>・必要な物は用意されていますか？</li> <li>・管理者は？</li> <li>・必要な時にすぐに対応できますか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、最寄りの避難場所は星宮小学校になっています。避難場所等は、被害想定の見直しや施設の建替等、状況の変化に合わせて見直します。</li> <li>・避難所である小学校には、乾パンや飲料水、毛布や発電機、投光器やランタンなどを備蓄しており、その他必要なものは市内の備蓄倉庫から搬入します。</li> <li>・建物の管理者は学校長ですが、災害発生時には市の避難所担当職員や施設管理者が避難所開設に当たります。避難所開設後は避難者が主体となって避難所の運営に当たることとされています(「避難所運営委員会」の設置・活動など)。</li> <li>・市職員や施設管理者が避難所に集合し、施設の安全を確認した後に受け入れます。</li> </ul>
138	防犯	学校や公民館などの公共施設がなくなることで、地域の人の動きが減り、防犯面で心配になるのでは？	地域の防犯については、これからも地域の皆様とともに必要な対策を講じていきます。
139	児童クラブ	反対です。学童について、星宮保育園の利用はできないか。保護者が近くへ行ける近くの方が良いと思います。スクールバスの増便をお願いします。	児童クラブ(学童)については、今後のニーズを見据えつつ整備をまいります。
140	投票所	2029年(東部生涯活動センター設置)以降の星宮地区の投票所は地域公民館になるのか？生涯活動センターまで行けない人が多くなりそうです。投票率が更に下がってしまう。	投票所の位置は選挙管理委員会で決定することとなりますが、学校体育館から転用予定の地域体育館(現星宮小体育館)や今後設置予定の地域貸館施設((仮称)星宮会館)などが、投票所の候補になるものと見込まれます。
141	過疎化への不安	小学校も公民館も、農協(星宮支店)も、星宮の人たちは取り上げられて、これからきっと若い人たちは星宮から離れていくでしょう。小さい子どもを持つご家族はそんな何もない星宮を避けて家を建てるでしょう。星宮が過疎地域になることが目に見えています、「そんなこと知ったこっちゃない」と市の方たちは思っているのでしょうか？	<p>今回の学校統廃合は、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するために推進するものです。子どもたちが適正規模の学校において、集団での生活や役割等を学べるようにしたいと考えています。少子高齢化・人口減少が進行している現状では、学校統廃合やその他の公共施設の再編は、現時点から、検討し、計画していかなければならない問題です。</p> <p>人口減少の対策も行っています。具体例としては、新幹線通勤の補助や固定資産税の免除、三世同居への補助金交付などのほか、若い世代を本市に呼ぶ込むためには、就労の場と産婦人科の確保が必要なため、企業誘致や事業支援を病院や農業法人にも拡大して取り組んでいます。</p>
142	まちづくり・地域づくり	調整区域における教育施設の存続について、減少する児童数のみでなく、関係人口(PTA協力会員、地域住民の生涯活動拠点等)を含めた地域住民の取組を評価する指標の観点からお聞きしたい。	<p>子どもの健全な育成に資する教育環境の在り方については、市街化調整区域であるか否かとは無関係に、現状及び今後の(予想)児童数から編成され得る学級数や1学級当たりの人数の確保(規模適正化)などの視点をより重視すべきではないでしょうか。</p> <p>また、市において重視している「関係人口の増加」は、市外在住者で本市に何らかの活動により関わっている人の増加であり、市内・地域内における各種の関わりは地域自治の範疇と考えます。</p> <p>なお、地域住民の取組に対しては、地域計画に基づく校区連絡会の活動などへの支援を、引き続き行ってまいりたいと考えております。</p>

No	区分	質問・意見	回答・考え方
143		戦後の町村合併により、星宮村が熊谷市と行田市に分断されて両市に吸収され、新たに当市の星宮小が誕生したが、令和の児童が二つの星宮小学校に分かれたことによる児童数減少で身近な地域で教育を受ける権利を奪われるようなことになれば、町村合併が地域の特性の上にコンパクトシティを推進する動きを加速させる懸念を持つが、この点においての見解をお聞きたい。 (星宮地区から小学校が消えたら、文字通り行政施設のない、消滅地区になってしまうのではないか。)	第2次熊谷市総合振興計画基本構想において、今後、長期的視点に立った都市機能の集積や適切な居住誘導を図るとともに、本市の都市拠点である熊谷駅周辺と各地域を道路網や公共交通網でネットワーク化する「多角連携型コンパクト&ネットワークシティ」の形成を目指しています。市町村合併やコンパクトシティ化は、星宮地区住民を含めた熊谷市民全体の視点から検討されるべきものと考えます。
144		一律に市街化区域と調整区域の小学校を、児童数のみで統廃合を進める根拠について、まちづくりとの整合性の観点からお聞きたい。(人口流入困難な状況を甘受した結果の廃止は疑問)	市町村によっては、全域が市街化区域であったり、そもそも都市計画区域ではない(未線引き)の状態であったりと、様々な「まちの在り方」がありますが、本市は、その全域を熊谷都市計画区域として、市街化と市街化調整の各区域を含む、住宅地・商工業地域と田園地域のバランスをとれたまちであるといえます。実際、第1次産業から第3次産業までいずれも一定以上の産出額を有する県内でも有数の均衡ある発展を遂げてきた都市です。そのようなバランスを重視するならば、学校区も、市街化区域と市街化調整区域の両方を含む区域で構成されることにも利点があるのではないのでしょうか。
145	まちづくり・地域づくり	星宮小は地域と一体化した伝統ある個性的な小学校の為、残すべき公共施設だと考えています。小学校がなくなると、一層高齢化と過疎化が進むと思います。調整区域をなくし、若い方が家を建築しやすい環境を行政が行っていけば、子どもが増え、活性化していくと思います。以上、統合には反対です。	また、学校統合がなされるということは、成田小学校区と星宮小学校区が1つの小学校区になるということであり、その学校区内でどこに学校を設置すべきであるかは、別の論点です(今回の再編方針案では成田小の位置での存続を想定していますが、将来もその同じ場所が変わることはない、とまでは言い切れません。)。なお、都市計画上の線引き(市街化区域か市街化調整区域か)を無くせば確かに住宅は建てやすくなるかもしれませんが、そのような状況下で無秩序に進んだ都市化・乱開発による生活環境の悪化や自然破壊に対する反省から都市計画法等による規制がなされるようになった、という経緯を重視したいと考えます。市街化調整区域とは、そもそも市街化を抑制すべき区域ですので、法律上、人口を増やしていく区域として位置付けられており、法律に基づく行政の原理からも、市の立場上は、積極的な施策は打ちにくいという面も御理解いただきたいと思います。
146		小学校はそのまま、他の工夫をして移住者が増えるような施設やお店などを作ってほしい。環境を直さず、ますます不便になってしまったら若い人は外に出てしまい、衰退してしまう。若い人がいない街にしないほしいです。	ちなみに、熊谷市田園地区まちづくり条例による協議会を立ち上げ、所定の手続を経て「まちづくり計画」を策定し、市長の承認を受けることで、住宅建設を促進する(都市計画法第34条第11号の指定受ける)ことは可能ですが、そのためには地域が主体的に行動することが不可欠です。
147		市行政の地域間での均衡あるサービスの観点から、星宮地区の活性化の潜在的資源(周辺の熊谷スポーツ文化公園や将来の道の駅構想等)を活かすためにも、次世代の人材を育てる教育施設は存続させるべきではないか。	御指摘のように、第2次熊谷市総合振興計画基本構想において、地域別拠点整備方針として、道の駅構想の予定地周辺においては農業基盤の整備に合わせて産業の振興を図り、産業拠点としての地域特色を生かすこととしています。また、熊谷スポーツ文化公園の日本屈指のスポーツ施設及び防災機能という特徴から、市民の健康増進・文化的活動及び災害時の支援活動拠点としての機能向上を図ることとしております。しかしながら、これらの施設は熊谷市の全域あるいは埼玉県(少なくともその県北地域)全体を対象とした広域的な施設であり、その潜在的資源としての性格は、星宮地区のみを対象とすることに止まるものではないと考えております。いずれの施設も、星宮地区の住民を含めた熊谷市民全体、(特に県北の)埼玉県民全体のために、活用されるべきではないでしょうか。

No	区分	質問・意見	回答・考え方
148	地域の行事・伝統文化	学校の授業の中で、地域に伝わる伝統文化やお祭りなどを学習し、先人たちから受け継いできたものがどの地域にも必ず存在する。今回の統廃合は、地域性を無視した中央集権的であり、神社仏閣に伝わるものを蔑ろにしているように思える。地域コミュニティと学校は、密接につながっている。地域＝学校区という関係ができあがっている中で、お祭りや文化を継承できている。統廃合を行うことでそのまま継承することが本当に可能なのだろうか？	地域に伝わる行事や伝統文化はとても大切なものです。地域活動の中で、子ども達へ伝統文化を継承していただきたいと考えています。
149	公共施設全般	小学校以外の施設は行政側の説明で不便を感じる点はあるが、やむを得ないと思う。	御不便を感じることができるだけ少なくなるように、検討・工夫・推進してまいります。
150	人口増・収入増	財政負担を減少するために施設の統廃合を行う前に、企業誘致や病院誘致などの人口増・収入増につながる施策を行うべきである。	平成28年3月に策定した熊谷市総合戦略においては、大きな基本目標の一つに雇用促進を掲げており、本社機能の移転や正社員の本市移住に係る補助金の交付などにより企業誘致に起因する人口増に向けた取組を進めております。医療機関の関係では、経営体制を一新した総合病院のリニューアルなども既に行われていることは御存知のとおりです。
151	市施策全般	人口減少を待っていることなく、人口増・産業振興を進めることを考えるべきだ。無策では熊谷がサビレルばかりだ!!	人口減少対策については、新幹線通勤の補助や固定資産税の免除、三世同居への補助金交付などのほか、若い世代を本市に呼び込むために就労の場と産婦人科の確保が必要なため、企業誘致や事業支援を病院や農業法人にも拡大して取り組んでいます。また、こども医療費の高校生までの無料化も行っております。
152		小学校がなくなると、地域の少子高齢化が益々進んでしまう。工業団地を誘致する等、若い人々が増えるような施策、市の財源を増やす施策に取り組んでほしい。	人口減少対策については、新幹線通勤の補助や固定資産税の免除、三世同居への補助金交付などのほか、若い世代を本市に呼び込むために就労の場と産婦人科の確保が必要なため、企業誘致や事業支援を病院や農業法人にも拡大して取り組んでいます。また、こども医療費の高校生までの無料化も行っております。今後も積極的に取り組んでまいります。
153	説明会	成田小との地域を含めて、同時に意見を聞いたり両方の地域の代表者による協議の意見を聞いた方が良くと思います。	今後、小学校での地域説明会、保護者の方々との意見交換会等を実施し、御意見を伺ってまいります。
154	説明会の日程	保護者対象の説明会は、土日でお願いします。仕事の都合で平日は調整が難しいです。	適切な日時等を設定できるように調整してまいります。
155		説明会と熊子連の球技大会の日程が重なっているが、どう対処するのか？	説明会の準備段階で、学校、PTA、自治会、公民館などの地域の代表者が集まる機会に、市職員が出席して説明会開催の趣旨説明を行い、事前調整・了承の上で日時を設定させていただいた経緯があります。
156		子どもに直接関わる説明会と熊子連球技大会が同じ日なので、参加することが難しい。	また、学校統合に向けての説明会は今回で終わりではなく、今後回数を重ねていく必要があると考えております。次回以降の説明会では、より適切な日時等を設定できるように努めてまいります。

No	区分	質問・意見	回答・考え方
157		説明会と球技大会の日が同じなのはおかしい。	
158	説明会の日程	星宮小には「星宮スターズ」というソフトボールチームがあり、児童数が少ない中でも常に10人以上が在籍し、チームを存続させてきた。この説明会の日には星宮スターズにとって大切な熊子連球技大会の試合日と重なっている。6年生とその保護者にとって最後の大会であり、とても大事な日である。小学校統廃合についても、保護者や児童、地域住民にとってもとても大切な話である。それについてどう対処するのか？またどう考えているのか教えて頂きたい。	説明会の準備段階で、学校、PTA、自治会、公民館などの地域の代表者が集まる機会に、市職員が出向いて説明会開催の趣旨説明を行い、事前調整・了承の上で日時を設定させていただいた経緯があります。 また、学校統合に向けての説明会は今回で終わりではなく、今後回数を重ねていく必要があると考えております。次回以降の説明会では、より適切な日時等を設定できるように努めてまいります。
159		市の開催する大会と日程が重なっている。地域住民のための、小学校保護者のための説明会ならば、そういうところを考慮すべきではないのか？	
160		施設再編に係るアンケートの対象件数・回答件数は？対象数を多くすべきである。	平成26年度実施アンケートでは3000人を対象とし、986人の回答がありました。 平成29年度実施アンケートでは3300人を対象とし、782人の回答がありました。 手法については引き続き検討したいと考えております。
161	アンケート	今後、市内全戸対象とした再アンケート調査(特に若い人)の再考	今後も市民アンケートを実施することは想定しておりますが、「市内全戸対象」となると作業量・コストともに多大となる等の課題もあることから、手法については引き続き検討したいと考えております。なお、「特に若い人」の声を聴くべきである点については、御指摘のとおりであると考えております。
162	資料2	資料2のP3・P5・P6・P14、資料4のP8⑤⑥⑦を詳細に説明してほしい。 ※星宮小学校、星宮公民館関連について	星宮小学校の学校としての機能は、成田小学校との統合により、成田小学校の位置で存続する学校に移転します。統合後の旧星宮小の施設のうち、体育館は、地域体育館として存続・活用の予定です。校舎とプールは、現在の再編方針案では、閉校後速やかに除却することを見込んでいますが、旧校舎等の活用可能性については、サウンディング調査(案件内容決定の前段階での公募による民間(事業者)の意向調査等)実施の可否も含め、地域の意見を伺いながら検討してまいります。 星宮公民館の機能は、いずれも新設予定の(仮称)東部生涯活動センターと(仮称)星宮会館とで役割分担して引き継いでいきます。より規模の大きい生涯活動センターにおいて主に公民館機能(生涯学習機能)を、より小規模の星宮会館において主に貸館機能を引き継ぎます。星宮公民館で行っていた活動は、参加人数や貸室に必要な広さ・機能などにより、いずれかの施設で継続していただくことを想定しています。 なお、これらの施設を地域公共交通ネットワークにより結び付け、アクセス面でも利用しやすくすることも検討しております。ここでいう地域公共交通ネットワークとは、具体的には、民間路線バスや「ゆうゆうバス」、地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによって構成されるものを想定しています。
163	自治会の事務所	自治会館が愛染堂の境内にあり、トイレが汲み取りです。公民館内に自治会の事務所を移転したら利便性が高い。管理等を検討する。	自治会の事務所は、自治会が管理する自治会館内に設置されるべきものと認識しております。自治会活動を地域貸館施設(地域会館)等で行うことは、もちろん可能です。

No	区分	質問・意見	回答・考え方
164	その他	創る、増やす → 安心・安全・誰もが利用しやすいテーマになると思う。	安心・安全で、誰もが利用しやすい施設を目指してまいります。
165		高齢者や乳幼児を育てている母親(家庭)、障害を持つ人たちは、長い距離を移動することは困難です。災害時、誰もが自力で避難できる環境作りを希望します。	施設や公共交通機関のバリアフリー化やユニバーサルデザインへの適合を、引き続き推進してまいります。災害時の避難体勢・環境づくりについては、引き続き取り組んでまいります。
166		お互いが気になる存在となり、お互いの生きてきた世代を分かち合える場を考えての計画を希望します。	お考えの趣旨を計画内容に活かせるよう努めてまいります。
167		「プロ」感覚で細かな施設の再編を期待したい。 地域としては、そのために可能な限りの協力ができれば良い。	老朽化した施設を減らす代わりに市民ニーズに合致した施設の新設・集約を積極的に実施し、同時に公共交通の充実等を推進します。
168	その他	教育(特に小学校)縮小はするべきではないと思う。 学校以外の施設の統廃合を先に進めるべきではないのか？	今回の学校統廃合は、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するために推進するものです。子どもたちが適正規模の学校において、集団での生活や役割等を学べるようにしたいと考え、案をお示ししたものであり、教育の縮小であるとは考えていません。 学校以外の施設の統廃合についてはニーズや老朽化の状況等を考慮し、別途進めていきます。
169		125号から17号バイパスまでの抜け道として、そば屋の信号を曲がってミニストップを左へ曲がるトラックが多い。新しい道路ができて、関係ない。図面での説明では納得できません。数字、地域の人の意見の反映の少なさが残念です。	機能的で安全な道路の整備を目指し道路行政を進めてまいります。

## ご質問・ご意見への回答・考え方一覧（市田小学校区）

No.	区分	質問・意見	回答
1	再編方針案全般	高齢化、児童の減少に伴い、やむを得ないと思います。子供を育成する為に、最善対策を行ってほしい。	少子高齢化・人口減少が進行している現状では、アセットマネジメント(公共施設の再編)は、現時点から、検討し、計画していかなければならない問題です。 アセットと並行して、人口減少の対策も継続してまいります。
2		大里地区に主要拠点なくなってしまうのは地域が不活性化してしまうのではないかと不安です。より住みやすいところへの移転で地域から人が減ってしまうのではないかと不安です。	学校統廃合や施設再配置が地域の不活性化や衰退を招かぬように、地域拠点施設の整備や地域公共交通の充実・再編などに努めてまいります。
3		旧大里、妻沼が中心となっており、もっとくわしく先を見通してほしい。	旧熊谷や江南も含め、全市的に検討しております。
4		必要最小限の統廃合はあってもいいが、この案はやりすぎだと思います。これを実行したら熊谷市の将来が危うい。	施設の総数・総面積(量)は減らしても、サービスの水準(質)は維持・向上させることが、施設マネジメントの目標です。個別施設計画については、本市の人口推計、今後の各エリア・地域の状況の変化も踏まえ、定期的に見直していく予定です。
5		人のあつまり、活動の保障のためにも…何もなくなりそうで残念です。	地域体育館、地域会館等によって構成される地域拠点施設を学校跡地に整備する予定です。この拠点施設が、地域の中核的な施設として利用されることを想定しています。
6		公共施設は市町村合併により、大里・江南・妻沼は、前に合併した吉岡、他の旧村に比べて多くなっている感はある。今回は、吉岡区域に移行する感があるが。	各エリアの施設再配置については、民間施設を含めた現状の施設の配置状況や、その地域の歴史や沿革も考慮しつつ、バランスの取れたものにしたいと考えています。
7		住民の意見を聞きながら行うというのであればこの計画にはほとんどの住民が反対だと思うのですぐに止めるべきである。職員は住民の声を聞く耳を持つべきです。	説明会の参加者だけでなく、施設利用者や市民アンケートへの回答者など、広く市民の声を聴き、その考え方を計画に反映できるように努めてまいります。
8		同和関連施設や学級、市営のプールなど時代に合わなくなった公共施設の廃止を優先すべきだと思う。	再編方針案の基本的考え方として、老朽化した施設を減らす代わりに市民ニーズに合致した施設の新設・集約を積極的に実施することとしています。どのような施設が時代に合わなくなった施設であるかについては議論があるかと考えますが、施設を廃止する場合は、市民ニーズや時代に合わなくなった施設を優先すべきものと考えます。
9		行政として具体的案計画が見通せない面が多分に含まれていると考えられます。実施実務により見える事と思いますが、期間が多く、解決すべき点が多く、国政の影響もあり指示を受けての行政事案と思われませんが最善の方法で行う事を願います。	実際に事業を進める中で得られる知見や経験もありますが、今後はそのような知見・経験も活かしながら、引き続き、施設マネジメントや学校規模適正化を推進してまいります。
10		少子化は理解しており、再編については当然やるべきものと考えられるが、特養などの福祉施設について、計画に触れられていないことから、全ての施設について反対せざるを得ない。	本日の説明会は、現在の公共施設の説明であるため、計画の中に触れていない。今後の検討課題とさせていただきます。
11		福祉施設がこの場で出ないのはおかしい。その検討も含めた説明会である必要がある。このような議論もしていきたい。	地域貸館や体育館を地域の方に利用していただき、残った施設で活用できるものについては、民間も含めた活用も検討していきます(サウンディングなど)。

No.	区分	質問・意見	回答
12	再編方針案 全般	2050年度の熊谷市の経営のあり方がわからない。そこがわからないと再編が必要かどうか判断がつかない。	今回は、2040年までの施設について掲載しています。経営などについては、行政側の状況は示していません。職員配置や給料の想定はまだできていません。その点については、不確定な要素となっています。
13		基本的な考え方は人口減少から致し方ないものと考えられる。資料2で老朽化した施設から統廃合を検討しているという説明だったが、時代遅れとなっている施設を優先に検討すべきではないか。 国の同和対策事業は終了した。春日文化センターはあまり活用されていないのではないかと。プール等はあまり使っていないため、無くすのは時代の流れで仕方ない。 市民ニーズ、時代遅れ施設こそ無くしていくべきでそこから維持費を削っていくべきである。小学校は単学級であっても残すべきではないか。根本的な考え方を変更していくべきではないか。	老朽化だけではなく、施設ごとの稼働率も含めて集約などを検討しています。ご指摘のあった春日文化センターについては、2013年から2015年平均で45.7%の活用があり、箕輪集会所については、8.1%となっています。人権教育にて使用用途を限った場合の数値は分かりません。 いらなくなったものは減らし、学校そのものを残すという意見についてや、少人数学級の良さも十分理解していますが、理解した上で、今後の長期的な目で見たとき、単学級や複式学級で生活を送るより、ある程度の規模(クラス替えのできる)の中で子ども達を学ばせた方が、さらに力を伸ばすことができると考えております。
14		再編案で見ると、現在大里地区にある大里庁舎、大里分署、農産物直売所、農産物加工施設、あすねつとなど、ほとんどの施設がなくなる案となっています。 大里庁舎については、旧大里のシンボリック存在であり、近くにあるからこそ利用できるのです。廃止など考えたこともありません。	大里地区については、大里・江南・吉岡で構成される南部エリアの一部としての位置付けで施設の再編を考えています。大里庁舎にある行政センターの窓口機能や消防署(分署)は現在の位置から移転しますが、南部エリアとしては機能は存続します。また、農産物直売所、農産物加工施設などは、民間譲渡により民間施設として機能が存続する場合も想定しています。南部エリア全体の施設再編については、地域交通交通の充実・再編も含め、引き続き検討してまいります。
15		バスの停留所のログハウスの撤去や、学校給食の自校方式の廃止など、旧大里でやってきた事ごとく廃止予定など、これでは対等合併どころか吸収合併そのものではないでしょうか。 少子高齢化社会に向かっていく中で、いろいろな施設が身近にあるからこそ利用できるものであって、遠くにいくら立派な施設が出来ても利用できません。 施設の見直しについては、財政の効率化だけでなく、地域住民の立場にたって考えていただきたいと思っております。よろしくをお願いします。	合併後の新熊谷市では、合併前が旧熊谷であったか旧大里であったかなどにかかわらず、公平・平等な行政が行われるべきであるという点に関しては、施設再編も同様です。ログハウス風のバス待合所が設置されているのは大里地区の一部のみであり、自校式の学校給食は、大里・妻沼地区のみで現在実施されています。熊谷市全体の方針・方向性として、バス停留所は他の地域と同様に、学校給食は全市的にセンター方式に移行するという考え方の下で廃止・再編を行うものです。施設の統廃合に伴うアクセスの確保については、民間路線バスや「ゆうゆうバス」、将来的には地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによって構成される地域公共交通ネットワークの整備を引き続き進め、高齢者などにも利用しやすい施設の在り方を目指してまいります。
16		小規模を解消しクラス替えなど実施でき友だちが増えるのは嬉しい。送迎の点、学童をキチンと整備してほしい。習いごとにも対応してくれるとなお良い。	学校統合については、子どもたちが適正規模の学校において、集団での生活や役割等を学べるようにしたいと考えています。 児童クラブ(学童)については、ニーズを見据えつつ整備をしてまいります。
17	(学校統廃合について)もっと話し合いを行い、議論をつくした方がよいと思われる。時間はかかるがそこを丁寧にしておいた方が、先に進むことにつながると考えます。	学校の統廃合を進めるにあたっては、保護者や地域住民に対し、統廃合の趣旨等について説明し、御意見を尊重しながら進めることとしております。今後も保護者等を対象とした説明会を開催するなど、丁寧に進めてまいります。	
18	小学校は、地域の核です。たとえ単学級になっても残すべき。	学校の統廃合は、子ども達の教育環境の向上を図ることを第一に考えております。	
19	(学校統廃合について)多くの意見の上、最良の方法を考察して下さい。	学校の統廃合を進めるにあたっては、保護者や地域住民に対し、統廃合の趣旨等について説明し、御意見を尊重しながら進めることとしております。今後も保護者等を対象とした説明会を開催するなど、丁寧に進めてまいります。	

No.	区分	質問・意見	回答
20		吉岡へ市田小が合併されることについては進めてほしい。理由、吉岡小の方が施設が充実している。	-
21	学校統廃合	これから保護者となる予定である。本日は、市田小学校の話の伺うために来た。説明も市田小だけでなく、市全体の話もあり、的を射た感じがしない。 2029年度に市田小と吉岡小の統合について、吉岡小をベースに市田小の子が移動するイメージがある。対等という話であったが、市田小が吉岡小に来たという感じがして公平性は感じられない。 例えば、小5になったときに統廃合がある場合、入学当初から吉岡小へ入学することは可能か。	<p>本日の市田小学校地域説明会は、市田小学校だけでなく地域の施設についても説明対象です。小学校の関係については、PTAやこれから保護者となられる方を対象とした意見交換会についても想定しています。</p> <p>確かに吉岡小の子どもからしたら、市田小から動いてきたイメージが生じてしまうかもしれませんが、そのイメージを拭うため、統合前には交流の機会を多数設け、統合時には仲良くなっている状況を目指していきます。また、統合に関する事前学習も取り入れていきたいと考えています。統合後についてもアンケートや面談を行っていき、心のケアも含めて対応したい。</p> <p>他の説明会を実施した際にも事前に統合がわかっているなら入学の時から新しい学校へ行っていいのかという質問がでていますが、決定事項ではありませんが、原則として統合の年から新学校へと想定していますが、各家庭の判断で前もって入学したい場合には、認める方向性で調整をしています。</p>
22		深谷市から市内下恩田に3年前に引っ越してきた。引っ越した理由としては、小中学校があって預けられる環境があったためこの地域に決めた。今回の統廃合については、悔しい気持ちがある。 統廃合を進める事によってこの地域に引っ越して来る人は減少するのではないかな。 案だとスクールバスの導入と記載されているが、体力面が心配である。「知・徳・体」が付け焼きの言葉になっているのではないかな。 30人学級はどうなのか。一人一人をちゃんと見てもらえるのか不安である。 吉岡小と市田小の統合はなぜか(吉見小とではないのか)	<p>学校の統廃合は、子ども達の教育環境の向上を図ることを第一に考えております。小規模校の良さはたくさんありますが、子ども達に「知・徳・体」の確かな学力を身に付けさせるためには、ある程度の規模(クラス替えのできる規模)の中で子ども達に学ばせた方が、さらに力を伸ばすことができると考えております。</p> <p>スクールバス導入による体力面の不安については、必要な対策をする予定です。</p> <p>吉見小は現時点で適正規模が保たれていること、統合した場合の通学距離、各地域に小中学校どちらかを残すということなどを考慮し、今回の案を提示させていただきました。</p> <p>ただし、児童数の推移の状況によっては、今後も統廃合を含めた検討を行います。</p>
23		統合をすると市田小学校区の子どもが減ってしまう。これから来る人もスクールバスだと他地区へ行ってしまわないか。市田地区へ公園などの公共施設の予定はないか。	<p>学校の統廃合は、子ども達の教育環境の向上を図ることを第一に考えております。公園等の具体的な予定は現時点ではありませんが、小学校を地域体育館、地域貸館施設等によって構成される地域拠点施設への転用を見込んでいます。また体育館以外の学校施設は原則として除却の予定ですが、廃校後の施設の活用可能性については、サウンディング調査(案件内容決定の前段階での公募による民間(事業者)の意向調査等)の実施の可否も含め、地域の意見を伺いながら検討してまいります。</p>
24	学校統廃合・スクールバス	統合は絶対に反対です。単学級になっても存続させるべきです。子ども達のためという殺し文句を使っているが統合は子ども達のためにもなりません。スクールバスの費用がどの位かかるのか知りたい。スクールバスの費用を考えると統合しても財政を助けることにはならないと思います。	<p>学校の統廃合は、子ども達の教育環境の向上を図ることを第一に考えており、財政面を理由とした統廃合ではありません。</p> <p>スクールバスは、通学時間帯以外において地域循環バスとしての活用も検討しており、費用面についても今後研究を行ってまいります。</p>

No.	区分	質問・意見	回答
25	適正規模	<p>子どもたちが少ないから統合するようですが、少ないからこそ1人1人に先生の目が届き、子ども同士の関係も深くなる利点もあると思います。「クラス替え」が出来ないというのであれば、1クラス10人～20人とかにしたらどうですか。又は小中一貫校にするとかいろいろな案の中から考えたいと思いますが、どんな話し合いがなされたのでしょうか。</p>	<p>本市では、平成29年10月に「熊谷市立学校適正規模審議会」に諮問を行い、平成30年8月に答申を受け、「熊谷市立学校の適正規模に関する基本方針」を策定して、適正規模の推進方を定めました。</p> <p>小規模校の良さはたくさんありますが、子ども達に「知・徳・体」の確かな学力を身に付けさせるためには、ある程度の規模(クラス替えのできる規模)の中で子ども達に学ばせた方が、さらに力を伸ばすことができると考えております。</p> <p>また、少人数学級や小中一貫校については、直接学校小規模化の解消につながるものではないことから、今後の検討課題としています。</p>
26		<p>統合し、人数合わせをただで、今の教育の問題が解決するのでしょうか？児童・生徒に対する教員の数がふえた方が子供との対話がふえるのではないのでしょうか。</p>	<p>小規模校の良さはたくさんありますが、子ども達に「知・徳・体」の確かな学力を身に付けさせるためには、ある程度の規模(クラス替えのできる規模)の中で子ども達に学ばせた方が、さらに力を伸ばすことができると考えております。</p>
27	統合する学校	<p>吉岡小、市田小に加えて吉見小も含めて統合してはいかがでしょうか。中学校はこの3地区が統合されるのでこの方が自然。吉見小を除くと将来吉見小の児童数減少も心配になる。</p>	<p>吉見小は現時点で適正規模が保たれていること、統合した場合の通学距離、各地域に小中学校どちらかを残すということなどを考慮し、今回の案を提示させていただきました。ただし、児童数の推移の状況によっては、今後も統廃合を含めた検討を行います。</p>
28		<p>市田、吉見、吉岡3校の統合も考えてもいいのでは。でも、市田小は残してほしい。</p>	<p>吉見小は現時点で適正規模が保たれていること、統合した場合の通学距離、各地域に小中学校どちらかを残すということなどを考慮し、今回の案を提示させていただきました。ただし、児童数の推移の状況によっては、今後も統廃合を含めた検討を行います。</p>
29	クラス人数	<p>いま学校にいけない子ども、いじめ問題が深刻化しています。先生がひとりひとりの生徒にじっくり関わられるよう、また学校での先生の負担を減らせるよう、小学校の低学年の1クラスの人数を20人から25人(ヨーロッパ並み)にしていくという考えはないのでしょうか？</p>	<p>小規模校の良さはたくさんありますが、子ども達に「知・徳・体」の確かな学力を身に付けさせるためには、ある程度の規模(クラス替えのできる規模)の中で子ども達に学ばせた方が、さらに力を伸ばすことができると考えております。</p> <p>少人数学級については、今後の検討課題としています。</p>
30	スクールバス	<p>スクールバスの活用内容をくわしく聞きたかった。(市田地区すべての児童となると1台では賅えきれないと思うのですが、何台出るのか、バス停の設置場所、バス費用、安全性(悲しい事件があったことを思えば、バスに教職員が乗車することは想定していないことにおどろきました。)</p>	<p>具体的な運行方法は、今後学校や保護者、地域の皆様と相談しながら、安全に通学できる方法を決定したいと考えていますが、案としては現在の市田小に集合して、そこからバスで通学する方法や、何力所か乗降場所を設定してそれぞれ最寄りの乗降場所に集合して通学する方法が想定されます。</p>

No.	区分	質問・意見	回答
31		通学は通学距離を考慮して、スクールバスの活用を想定しているとのことですが、どのくらい の距離の子どもたちがスクールバスの利用となるのでしょうか？	市田小学校のすべての児童が、統合後スクールバスを利用することを想定しています。
32	スクール バス	通学距離が4km、6kmとなっているが、小学校に集まってから行くのか、バス停を作るのか。通 学距離の4kmと6kmの意味がわからない。スクールバスを活用する場合、市田小学校区の子 達はみんなスクールバスか。	市田小学校区の児童は、統合後、全員スクールバスで通学することを想定しています。 具体的な運行方法は、今後学校や保護者、地域の皆様と相談しながら、安全に通学でき る方法を決定したいと考えています。
33		なぜ自校給食から給食センターにしなければならないのか？ 給食は子どもたちの命を守り、健全な成長を保障するうえで重要な位置を占めています。 食育基本法の前文には、食育は生きるうえでの基本であって、子どもたちが様々な経験を通 じて食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間に成長する よう食育を推進することが求められているという主旨が記載されている。 この立場に立ち、学校間の公平性を考えるならば給食は全校を自校式にすべきです。すで に、さいたま市は全部の小学校が自校給食に切り替わり、子どもたちはおいしい給食を食 べています。 熊谷市の考え方は子ども達の食育を推進する立場に逆行していませんか？	自校式は、学校内に調理場を建設することから、平成27年度に学校の敷地調査等を行 いました。その結果、敷地の確保ができない学校があり、自校式の整備ができる学校とでき ない学校があることが分かりました。その後、改めて給食施設のあり方について検討を行 い、衛生管理やアレルギー対応等について管理の一元化を図ることができることや学校間 の公平性を担保することができることなどの理由からセンター方式とすることといたしま した。 食育については、学校教育全体の中で行うべきものであることから、新たな給食センター では、学校と連携した食育を推進できるように取り組んでまいります。
34		食育やアレルギーの面から自校給食の大切さを感じます。センター方式ですと、食するまでの 時間と食中毒ということからこん立が限られ、いろいろな食事を提供できないのではないでしょ うか。	新たな給食センターでは、衛生管理やアレルギー食について管理の一元化を図り、安心、 安全な給食の提供に努めてまいります。また、食育など自校式のメリットを取り入れた運営 についても現在、検討しております。
35	給食	給食について 自校方式にするのは、とてもお金がかかると思いますが、合併に伴い、自校方 式にしていくのはどうでしょうか？地産地消をすすめるためにも。	自校式は学校敷地内に調理場を建設することから、平成27年度に学校の敷地調査を行 いました。その結果、熊谷、江南地区の全34校のうち、約3分の1の学校が敷地の確保が 困難であり、同じ調理方式により給食を提供することができない等の課題が明確になりま した。その後、改めて給食施設のあり方について検討を行い、今回、センター方式といたしま した。 新たな給食センターでは、衛生管理やアレルギー食について管理の一元化を図り、安心 安全な給食の提供に努めてまいります。また、食育など自校式のメリットを取り入れた運営 についても現在、検討しております。
36		給食について、センター方式は時代に逆行している計画ではないか。自校式の良い面を進め ていくべき。自校式であれば、地域の地元食材を使用でき、また、食育により心も体も育つこ とができる。 校庭が広いのだからどうすれば自校式でいけるのかを検討すべきであり、それを考えるのが 行政の仕事である。	平成27年度に全小中学校の敷地調査を実施したところ、市内1/3の学校が自校式への移 行ができないことが判明した。そのため、自校式への移行ではなく、センター方式とすること とした。 食育の観点から考えると、給食だけではなく、授業においても養われていくものとする。 そのため、センター方式であっても食育を行う事は可能である。センターであっても地産地 消で行っている。

No.	区分	質問・意見	回答
37	給食	給食の自校式を廃止してセンター方式とするのはなぜか。説明で公平性といっていたが、公平性はなぜ必要なのか。今までなぜ自校式だったのか。	市全体の公平性を取りたいと考えています。今までは合併前の状態を引きずっています。
38	名称	学校名は、新しくしてほしい。吸収合併ではないのですから。ほんとうははじめに統合ありきでは、話がおかしいと思うのです。	学校統合にあたっては、両校対等の統合とし、新学校名・校歌・校章等を検討してまいります。
39		学校名を変えて欲しい。	
40	学校全般	距離的に歩いて通うことが難しい子どもが出てくること、自校給食でなくなることで、避難場所としての学校の役割、そして子どもたちが成長して、もし人生に迷った時、子どもたちの楽しかったことを思い出し、考えることの出来る場所としての学校の役割などもあると思うので、学校の統合には反対ですが、もし統合されるとしたら、小学校廃校後の学校の活用方法とか、地域の活性化については、どういう方向で考えていますか。またスクールバスには常時、先生が乗車してくれるのでしょうか。	<p>【廃校後の活用方法】</p> <p>学校体育館は地域体育館への転用を見込んでいますが、体育館以外の学校施設は、原則として除却の予定です。ただし、廃校後の施設の活用可能性については、サウンディング調査(案件内容決定の前段階での公募による民間(事業者)の意向調査等)の実施の可否も含め、地域の意見を伺いながら検討してまいります。</p> <p>また、現在の公民館が有する機能のうち、主に貸館機能は、地域貸館施設(地域会館)として市田小地内への移転(新設)を考えています。これは、市田小体育館を地域体育館として活用すること併せ、一体的に地域の方々に利用していただけるよう計画したものです。</p> <p>【地域の活性化】</p> <p>平成30年3月に策定した第2次熊谷市総合振興計画においては、市内企業や中心市街地商店街等に対する補助金などによる市内経済の活性化に係る事業、スポーツツーリズムや観光の推進などによる交流人口の増加による市内活性化を進めております。</p> <p>【スクールバス】</p> <p>具体的な運行方法は、今後学校や保護者、地域の皆様と相談しながら、安全に通学できる方法を決定したいと考えていますが、現時点でスクールバスに常時、教職員が乗車することは想定しておりません。</p>
41		養護施設をかかえている地域で、学校生活の不安定さがある中で、教員の見くばり、気くばりは困難をかかえているのを見てきました。プール等移動を含めた対応にはさらなる困難さがかかえます。単なる増員にならず、子どもの成長にも目を向けて欲しいです。市田地区の空洞化を感じてしまうのは私だけでしょうか。	学校の統廃合は、子ども達の教育環境の向上を図ることを第一に考えております。小規模校の良さはたくさんありますが、子ども達に「知・徳・体」の確かな学力を身に付けさせるためには、ある程度の規模(クラス替えのできる規模)の中で子ども達に学ばせた方が、さらに力を伸ばすことができると考えております。
42	地域	(学校統廃合について)地域をまったく考えず、市の考えのみで進んでいるように思う。もっと住民の意見をわかるように！バスはどのくらい費用がかかるのか。	<p>学校の統廃合を進めるにあたっては、保護者や地域住民に対し、統廃合の趣旨等について説明し、御意見を尊重しながら進めることとしております。今後も保護者等を対象とした説明会を開催するなど、丁寧に進めてまいります。</p> <p>スクールバスの具体的な運行方法は、今後学校や保護者、地域の皆様と相談しながら、安全に通学できる方法を決定したいと考えております。</p> <p>また、スクールバスは、通学時間帯以外において地域循環バスとしての活用も検討しており、費用面についても今後研究を行ってまいります。</p>

No.	区分	質問・意見	回答
43	地域	市田小学校が無くなるという事だけでなく地域の衰退を意味することだと思う。・ただ説明会に集まった人々もみても、今後のことを考える人が少ない地域なのかもしれない。	学校統廃合や施設再配置が地域の不活性化や衰退を招かぬように、地域拠点施設の整備や地域公共交通の充実・再編などに努めてまいります。
44	地域会館	高齢化が進めば、公民館の必要性が高まると思うので、“ゼロ”にはならないから良い。・防災時のひなん先として、市田小が指定されているが、これも変更になるのか？	現在の公民館が有する機能のうち、主に貸館機能は、地域貸館施設(地域会館)として小学校地内への移転(新設)を考えています。これは、体育館を地域体育館として活用することと併せ、一体的に地域の方々に利用していただけるよう計画しております。 避難場所について、統合後も市田小学校が避難場所となることが想定されますが、被害想定の見直しや施設の建替等、状況の変化に合わせて見直しもおこなってまいります。
45		地域施設は最低限とし、管理・人件費を削減し、近くの集会所への助成、補助に変更させるのが良いと思います。	自治会館など地域の集会所の整備に関する補助制度は、既にあります。ハードの施設の代わりとなるソフト事業としての補助制度(地域の会議を開く際に、その会場となる民間施設の使用料を市が補助する等)については、今後の検討課題と考えております。
46		(地域施設・公民館について)大いに進めてほしい。	地域体育館、地域会館等によって構成される地域拠点施設を学校跡地に整備する予定です。この拠点施設が、地域の中核的な施設として利用されることを想定しています。
47	公共交通	ゆうゆうバスは継続するのか 廃止の場合、タクシー代補助等して頂けるのか 継続の場合、増便、減便、現状維持の具合は	ゆうゆうバスは、公共施設利用者や高齢になり移動に制約のある方のため、鉄道や他の路線バスのない地域を中心に運行し、年間20万人を超える方々にご利用いただいております。 昨年10月1日に、多くのお声に応えるべく多くのルートで増便となる改正を行ったところです。今後も、限られた財源の中ではありますが、ゆうゆうバスの利便性の向上を図って参ります。
48		(地域施設について)高齢者が利用できる内容はもちろんの事ですが、利用できる条件を確得願える様考察願いたいものです。(交通、地域での利用の利便性を高く)	地域施設(地域会館)整備にあたり、地域公共交通の充実を推進してまいります。具体的には、民間路線バスや「ゆうゆうバス」、地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによって構成される公共交通ネットワークを整備し、高齢者にも利用しやすい施設への交通手段を模索してまいります。
49	子育て支援施設	新たな子育て施設も含めた新たにつくる施設も考えてほしい。	既存の児童館に替えて、雨天時でも子供を元気に遊ばせることのできる「(仮称)こどもセンター」の中央エリアへの整備を想定しています。
50	消防	大里にある公共施設は殆ど無くなってしまふ案ですが、本当にそれで良いのでしょうか？ 1分1秒を争う救急車の配備が地域に必要です。助かる命も危ういです。	原則的な考え方として、廃止される施設の機能は別の施設が引き継ぐこと、また、統合・集約後の施設へのアクセスは地域公共交通の充実・再編により対応することなどを想定しています。既存施設が廃止されても市民サービスの水準が維持できるよう努めてまいります。 荒川南部地区全体の消防力向上の視点から、大里分署と江南分署の機能を吉岡地区周辺へ移転・統合することを検討しています。 統合により消防力を集約することで、柔軟な部隊運用や車両運用が可能となり、大規模な事故現場等へ救急車を複数隊同時に出動させることができ、多様化する消防行政及び大規模災害への対応力の強化が期待できます。両庁舎の統合に伴う諸問題について検討してまいりますので、御理解をお願いいたします。

No.	区分	質問・意見	回答
51	消防	大里分署についても、これから益々高齢化が進む中で、近くにあるからこそ日常生活も安心して過ごすことができるのであって、ハザードマップで5メートルほどの水が出るということであれば、それに対応できる施設にすべきと考えますが、いかがでしょうか。	消防庁舎の浸水対策に要する費用や効果、また、災害が発生した際には、周辺道路が冠水し、出動に支障が生じる可能性などの課題があります。 総合的に考えると、災害時の活動拠点としての機能を維持できる場所に移転する必要があります。
52		大里分署(消防)の現在機能はこの大里地区(現在地)に残してほしい。	熊谷市防災ハザードマップによると、大里分署は荒川洪水時の浸水想定2.0~5.0m未満地域にあります。現在地では、消防庁舎の浸水対策に要する費用や効果、また、災害が発生した際には、周辺道路が冠水し、出動に支障が生じる可能性などの課題があります。 総合的に考えると、災害時の活動拠点としての機能を維持できる場所に移転する必要があります。
53		大里分署と江南分署の統合は理解ができない。どういうことか想定していない。吉岡への統合にあたっては、分団のみ残るのか、分署機能を残すのか。	荒川南部地区全体の消防力を向上させるため、大里分署と江南分署を吉岡地区周辺へ移転・統合することを検討しています。 統合により消防力を集約することで、人員、機械器具の有効な活用により、複数部隊による迅速な活動や柔軟な部隊運用及び車両運用が可能になるなど、複合的な利点生まれ、あらゆる災害への対応力を高めることができます。 また、統合、移転の場合には、大里、江南両分署庁舎は取り壊すこととなりますが、消防団車庫については、原則現状のとおりと考えています。 なお、移転先に新庁舎を建設する場合は、付近の消防団車庫の併設も検討したいと考えています。
54		消防機能が吉岡地区に移ったら市田(大里地域)を助ける事はできない。	
55		大災害が起きる確率より隣で火事や救急が必要になる事態が生じる方が多い。	
56	農産物直売所等	農産物直売所、加工施設は、地域の住人の方が生きがいに農作物を出荷したり、商店の少ない大里においては、直売所がなくなると買い物もできなくなる人も少なくありません。新しく出来る道の駅までは、遠くて出荷したり買い物したりと、とてもできるものではありません。本当に地域のことを考えて提案しているのでしょうか。	農産物直売所、加工施設につきましては、建物や設備の状況、経営収支の状況、利用客の状況、地域の状況等を勘案し、民間譲渡・機能移転等を検討してまいります。
57		直売所は継続するのか 無くなる場合、他の直売所に出せるのか	直売所の継続の可否については、建物や設備の状況、経営収支の状況、利用客の状況等を勘案し、民間譲渡・機能移転等の可能性も考慮にいれながら決定してまいりたいと思います。また、直売場が無くなる場合も他の直売場に商品をだすことができるかということも十分に検討してまいります。

No.	区分	質問・意見	回答
58	バス停	バス停にあるログハウスについては、条例廃止ですぐなくすのではなく、使用できる間は、使っていくべきだと思います。	耐用年数や劣化の状況等を勘案した上で判断していきたいと考えております。
59	ライスセンター	ライスセンターの方向性をはっきりしたら周知してほしい。	ライスセンターの方向性が決まりましたら市報等を通じて周知いたします。
60	庁舎	不便になることは、ぜったいにないように！行政センターは、なくなると本当に困る。	施設の総数・総面積(量)は減らしても、サービスの水準(質)は維持・向上させることが、施設マネジメントの目標です。行政センター機能については、(仮称)南部生涯活動センター内に出張所を設置し、利便性を確保してまいります。
61	人口施策	この先、子どもが減少していくので「統廃合の計画案を策定した」と前回説明されていましたが、人口の減少を食い止め、増加につながる(ここに住みたくなるような)方策を考えた上での再編を考えているのでしょうか？	少子高齢化・人口減少が進行している現状では、公共施設の再編は、現時点から検討し、計画していかなければならない問題であると考えております。 熊谷市では、人口減少の対策も行っております。具体例としては、新幹線通勤の補助や固定資産税の免除、三世帯同居への補助金交付などのほか、若い世代を本市に呼び込むためには、就労の場と産婦人科の確保が必要なため、企業誘致や事業支援を病院や農業法人にも拡大して取り組んでいます。また、子育て支援のため、妊娠から子育て卒業までの様々な相談に対応する子育て世代包括支援センター「くまっころーむ」の設置、高校卒業までの医療費の無償化、放課後児童クラブの充実などの取組を進めております。
62		熊谷市全体の人口減少を食い止める為、どういう対策をお考えなのでしょう。まずは「子育てしやすい環境づくり」を考えてもらって、熊谷市の人口を増やすことが今の問題解決の糸口になると思います。現にそうして成功して人口が増えている所もあると聞いたのですがどうでしょうか。	本市では、平成28年3月に熊谷市総合戦略を策定し、各施策の実施により人口減少の抑制に努めておりますが、そのなかでも例えば妊娠から子育て卒業までの様々な相談に対応する子育て世代包括支援センター「くまっころーむ」の設置、高校卒業までの医療費の無償化、放課後児童クラブの充実化など、出産や子育て支援を大きな柱の一つとして取組みを進めているところです。
63	市施策全般	少子高齢化に対する施策として、市民第1に考えられているか甚だ疑問です。行政が自分たちの仕事のしやすい環境を整えているように見えかねません。再編するということであれば、行政サービスの質を向上すべく、知識が乏しく、公僕意識の低い人間を再編することで、人件費を浮かせることを第一に着手すべきではと考えます。公務員は我々の税金で暮らしているという前提をまったく理解していない職員が多く、非常に苦々しく思います。住みたいまちづくりには、自分本位ではなく、貢献意識の高い人間をいかにこの地域にとどめておけるかが重要ではないでしょうか。	熊谷市では、平成17年の合併以降、合併前職員数の約2割に相当する人員を削減してきました。納めていただいた税金をより効果的・効率的に使うことにより、引き続き、行政サービスの向上に努めてまいります。
64	説明会	再編を進めるにあたってお願いがあります。公共施設の再編はあまりにも大きな問題です。数回の説明会で、決定ということにしないでください。住民の総意で決めていくことが大事だと思います。多くの人の意見を聞くためにも各自治会で話し合いをもてるよう設定してください。	市民、地域、学校の保護者・PTAなどを対象とした様々な説明会を開催し、広く御意見を伺っていくことが必要であると考えています。今後も説明会等の機会を設けていく予定です。また、市政宅配講座の方法でお届けすることもできますので、施設マネジメント課まで御相談ください。

No.	区分	質問・意見	回答
65		前回出席できなかったので経緯が理解できないところがありました。	説明会の開催結果報告を、市ホームページや公民館等の公共施設窓口で閲覧できるようにしています。今後も説明会や意見交換会の機会を設けるとともに、市報、市ホームページ等での周知に努めてまいります。
66	説明会	(No. 63の質問を受けて)資料1の説明をしないとわからない。説明がないから共通認識が取れないのではないか。	資料1については、人口減少や人口構成の変化から現状のままの施設を全て維持することはできないという視点から、公共施設の再編を検討しています。
67		学校規模適正化については理解できる。・発達支援学級、指定学校の地域格差がない設置をお願いしたい。南部地域には、「養護施設おおさと」もあるので継続してほしい。・説明会の準備、説明対象、順番が違っていると思う。これから入ってくる人達や入学する方々へ説明が先にすべきでは？	まずは、学校がある地域の皆様の意見を伺うため、説明会を開催させていただきました。今後も保護者や未就学児をもつ親を対象とした説明会を開催するなど、丁寧に進めてまいります。
68		人口減少による空き家対策について 交通の妨げになっている木々はどうするのか 現在、他人の所有物として除去が出来ず伸び放題	空き家敷地内の立木が道路等へ越境している場合、現地確認や空家等の所有者等を調査し、所有者等に対して適切な管理依頼を実施します。
69	その他	人口減少による放棄農地対策について 農地転用許可の緩和 第一種農地をソーラーシェアリングで活用させて貰えないのか 農地を持っているが農業は行っておらず草刈りのみ、ただでも良いから手放したい 就農支援は無いのか 放棄農地の有効利用で何か施策的な物はあるのか	<p>農地転用許可の可否の判断は法令に基づき行っており、農地転用する場合、埼玉県知事の許可を受ける必要があります。第一種農地を、支柱を立てて営農を継続する太陽光発電設備(いわゆるソーラーシェアリング)で活用するためには、農地転用の許可が必要になります。また、場所によってソーラーシェアリングができない場合があります。詳しくは農業委員会事務局にご相談ください。</p> <p>就農支援といたしましては、埼玉県農業大学校での就農相談会に職員が参加し熊谷市内での就農を紹介したり、青年就農給付金などの補助事業、融資制度の紹介等を行っています。また、埼玉県の農業関係課は各種研修会や技術指導等を行っています。市と県は就農支援を連携して行っています。</p> <p>平成31年度から開始した農地利用最適化推進事業は、高齢化や後継者不足により、作付けはおろか草刈り等の管理がままならなくなった農地をJAくまがやのアグリサポート事業と連携して除草、管理地に戻すことで担い手への斡旋を目指すもので、除草後の農地を農地バンクに登録することを条件に除草費用の40%を1年に限り所有者に補助しています。事業開始間もないですが、農地の除草耕耘の多くの依頼があります。</p>

## ご質問・ご意見への回答・考え方一覧（成田小学校区）

No.	区分	質問・意見	回答
1	再編方針 全般	長期の計画であるが、財政的な問題は無いのか？期ごとの費用は算出しているのか？	現存する公共施設（インフラを含む）をすべて更新した場合5400億円、年額で135億円の費用がかかると推計しております。再編方針案を実施した場合の費用については、現在、推計作業中です。施設の集約等により、維持費を節減し、健全財政を確保していくことを目指しております。熊谷市公共施設建設基金の活用も行ってまいります。
2		公共施設再編について、市のプロジェクトとして推進するのか？市として大きな事業を行う際には、慎重に計画・判断してほしい。例えば区画整理事業について、過去に国体等の大イベントがあると事業進捗が遅くなった事がある。	全庁的な組織を作って計画を作成・実施していきます。施設を所管する全ての課が担当課となります。
3		少子高齢化が進む中、高齢者の事・福祉面についてもよく検討してもらいたい。	本計画では幅広い年齢層の方が利用できる施設を目指しています。併せて公共交通の充実も検討してまいります。
4	学校統廃 合	学校の統合について、計画案どおり行うのか？地域によっては統合が難しいところもありそうか？	学校統合については、小学校優先・児童生徒数の少ない学校優先で統合を行う計画です。統合が見込まれる各小学校区での説明会を開催してきましたが、賛成・反対意見共に出ております。
5		小学校統廃合の計画に対する市民の意見はどのような感触か？	説明会では反対意見を述べる声が目立ちましたが、星宮小児童や入学予定者の保護者を対象にした個別の意見交換では多くの方が賛成意見でした。
6		成田小・星宮小の統合に先立って、成田小学校の大規模修繕をするとのことだが、この間の成田小の授業はどうなるのか？	学校統合にあたって必要な場合に増築等を行う計画になっています。成田小学校の授業への影響はないと考えています。
7		小学校統合は年度初め(4月)からか？	成田小と星宮小の統合する際は、2023年度(令和5年度)4月からとなります。
8	通学	<p>17号バイパスと125号バイパスの交差点(上之南)が混雑する為、抜け道となっています。そして、制限速度30キロなのに守っている人は一人もおりません。また、物流倉庫が有るわけでもないのに大型のトラックやトレーラーなどが勢いよく歩道の白線を割り込んで走っています。最近、17号バイパスが片側3車線の良い道になりましたが、それにより事故も起こっています。子どもたちの通学時間でなくて幸いです。このように、以前と状況は変わっておりません。</p> <p>星宮小学校との合併に伴い、17号バイパスのすき家の交差点(上之 雷電神社)を渡る児童はスクールバスでの通学を検討してほしい。それが難しいのであれば歩道橋の設置をして欲しい。</p> <p>また、羽生県道の歩道の白線が消えている箇所があるのでラインをひき直してほしい。そして、速度を抑える為に歩道と車道の境に赤いポールを設置してほしい。</p> <p>日本の明るい未来を担う子ども達のために是非とも宜しくお願いします。</p>	学校の統合に当たり、星宮地域ではのスクールバス導入を説明しています。今後、運行ルート・方法等を検討していくので、課題として伺いました。通学路についても、児童の安全を最優先とし、道路関係機関と検討・調整してまいります。

No.	区分	質問・意見	回答
9	通学	小学校統合した場合、通学方法はどうか？	星宮地区についてはスクールバス導入を検討しています。具体的なバスルート、乗降場所等についても今後検討してまいります。
10		通学距離の基準「小学校4km・中学校6km」とあるが、現在の通学距離の現状はどうなっているのか？また、統合後の星宮地区児童生徒の通学距離はどうか？	現状、基準距離を超えて通学している児童生徒はいません。統合後、星宮地区児童については、通学距離にかかわらずスクールバス利用を考えています。
11		小学校統合後、星宮地区の児童が徒歩での登下校を希望する場合、通学路は整備するのか？	星宮地区児童についてはスクールバス利用を考えています。
12		バイパスを横断して登下校している成田小児童について、安全面の観点から、統合後にスクールバスを利用できるようにしてほしい。	今後検討してまいります。
13	学校用品	来年度新1年生になる子がおり、既に運動着等を購入した。小学校統合となった場合、使用していた学用品等はどうか？	継続して利用できるようにする等、保護者の負担を少なくなる方向で検討してまいります。
14	学校施設	上之荘にて敬老会を開催している。今後、地域活動の場となる体育館に、空調設備を設置する計画はあるのか？	体育館への空調設備設置の計画はありません。
15		成田小学校が避難場所となったが、トイレが未だ和式で利用しづらかった。	市内小中学校のトイレ洋式化を順次進めています。
16		2022年の成田小学校の大規模修繕の中にトイレ洋式化は含まれているか？	トイレ洋式化は別途進めておりますので、含まれていません。
17	地域活動・地域コミュニティ	現在は成田小学校区は「成田自治連合会」と「成田西部自治連合会」の26自治会が1校区として大変広域な「成田小学校区」となっています。 現在、成田小学校区全体の諸行事を成田公民館がまとめて実施しています。現在でも広域の校区が、さらに星宮地区が成田地区に併合となると成田公民館としても諸行事のまとめが大変難しくなると思います。 そこで提案ですが、1小学校は必ずしも1校区ではなく、広域の校区は2校区制以上に分けるべきだと思います。 その校区毎に諸行事をまとめる「公民館」等を設けるべきだと思います。 既に自治連合会では成田小1校区でも「2自治連合会」に分かれています。 以上、将来を見据え提案します。	小学校の統合後も、現状の校区連絡会については現状のまま、地域の活動を継続していただくことを考えています。
18		小学校を統合した場合、現状の1校区1公民館の体制はどのようになるのか？	小学校の統合後も、校区連絡会については現状のままとし、地域の活動を継続していただくことを考えています。また各地域に地域会館を設置し、地域の活動拠点とすることを想定しています。

No.	区分	質問・意見	回答
19	公民館	現在の公民館の機能はどこに引き継がれるのか？	(仮称)生涯活動センターで講座等、各地域会館でサークルや地域活動等と考えています。
20	跡地利用等	成田公民館を除却後の計画はどうなっているのか？防災のため、消防団の充実を図ってもらいたい。	成田公民館の機能については、(仮称)生涯活動センターと(仮称)成田会館とが引き継ぎます。公民館跡地の用途については、今後検討してまいります。 消防団については、地域ごとに検討をします。(全て存続)
21	避難場所等	東部エリア説明会でも質問したが、再編計画を進める中で、避難所はどのようになるのか？また、スクールバスの具体的な運行方法についての検討は進んでいるのか？	避難所について、台風19号時に実際に全小中学校に避難所を設置しました。実際に避難所を運営したことで課題も出てまいりました。今後、所管課での検討を行ってまいります。 スクールバスについて、統合の方向性が決まりましたら、安全面を確保しつつ具体的な検討をしてまいります。
22	説明会	計画について中学生等の若い世代にも周知する方法を考えてほしい。	現在、子育て支援施設での説明会を開催し、若い保護者への周知を行っています。今後も、周知方法等について研究してまいります。

## ご質問・ご意見への回答・考え方一覧（第二回星宮小学校区）

No.	区分	質問・意見	回答
1	再編方針 案全般	公共施設マネジメント計画について、地域会館や生涯活動センターの設置等が見込まれているようだが、財源的な問題はないのか？星宮地域は、計画の早い段階で施設統廃合が行われるが、財政的理由で計画が頓挫し、結果的に星宮地域だけが犠牲になってしまうのではないのか？	<p>現行の全ての公共施設を維持・更新した場合、年間135億円、40年間で5400億円のコストが見込まれます。この計画を実施することで、このコストが約30%減額する見込みです。</p> <p>一方、学校統合についてはコスト削減とは別で考えています。今後の児童生徒数の見込み人数を考えると、学校統廃合について検討を始める必要性があります。</p> <p>市の予算は単年度主義ではありますが、進捗管理とともに計画見直しも行いつつ、計画を進めていきます。</p>
2		星宮小学校と成田小学校の統合について、どのように方向性を決めるのか？学校統合承認の判断が難しいのではないのか？統合について、意思決定を早く行ってほしい。	地域の皆様から了解を得られたら、小学校統合の方向で検討をしていきたいと考えています。併せて、住民の統合に対する不安を解決していき、統廃合承認については、地域の代表者と話し合っ決めていくことを考えています。
3		学校統合した際の星宮小記念碑について、公費での設置を是非お願いしたい。また、星宮小児童が使っている机・椅子等を新校でも使ってほしい。星宮小児童の不安を少しでも解消できるのではないのか。	新校設立検討委員会にて詳細を検討していきます。
4	学校統廃 合	地域の核となっているのが小学校である。なんとか存続が出来ないか？例えば、星宮小学校に特色を持たせ、他の地域から児童を呼び込むことはできないか？	子ども達の教育を第一に考えての学校統廃合案を示しております。市内の多くの学校児童数が減少している現状において、星宮小のみ特色を持たせることは困難と思われる。
5		新校設立検討委員会の立上げを急いでほしい。併せて、検討については皆が納得する形で行ってほしい。(意見)	—
6		学校統合について、当初は計画とのことであつたはず。計画が示されてから、8か月が経ち、既に統合決定のような印象を受ける。	星宮小・成田小の統合について、2023年度を目標と設定しています。新校設立に向けた検討に当たっては時間がかかることから、統合の方向で検討を開始し、全ての問題を解決したうえで、統合決定となることを考えています。
7		学校教育にとっての適正な規模は判断しづらい。大人数と少人数教育の良い点は何か？	少人数校の良さは、児童一人一人に目が行き届き、きめ細やかな教育ができることです。一方、ある程度の規模の中で子ども達に学ばせた方が、社会性や多様な価値観を学ぶことができます。どちらにも優れた点がありますが、子どもの将来を考え、よりベターなのは一定規模以上の人数での教育と考えております。
8	スクールバス	スクールバスを利用する場合、バス停留所での待ち時間等を考えると、登下校時間が長くなる可能性がある。子ども達のトイレについて考慮してほしい。	新校の設立に向けた検討委員会において、詳細を検討していきたいと考えております。

No.	区分	質問・意見	回答
9	地域	地域行事を支えているのは、学校と公民館である。星宮小学校・星宮公民館が無くなって、地域の活動・教育が成り立つのか？	小学校の統合後も、現状の校区連絡会については現状のまま、地域の活動を継続していただくことを考えています。また現行公民館活動については、その大部分(8割)を占めている貸館機能を地域会館(現小学校)へ、公民館事業については(仮称)東部生涯活動センターへ機能移転することを考えています。
10	防災	星宮小が廃校となった場合、避難所はどうなるのか？市はどのように考えているのか？台風19号の際に全小中学校が避難所として開設された。星宮地域の住民が成田小学校に避難することは困難であり、容量的にも難しいのではないかと？市民のなかでは、風水害に対しての不安が大きくなっている。防災についての方向性を早く示してもらいたい。	台風19号の際は10,000人を超える市民の方が避難所に避難されました。実際に避難所を運営したことで課題も出てまいりました。今後、荒川・利根川の両河川氾濫も想定した浸水区域の見直し、大規模駐車場を有する施設への避難所検討、高齢者等の早期の避難等、ソフト・ハードの両面から見直しを行ってまいります。
11		地震及び風水害の両面から、今後の避難所の検討を行ってほしい。(意見)	—
12		ハザードマップの見直しを早急に行ってほしい。また避難所についても、十分検討してほしい。早急に。	ハザードマップの見直しを行ってまいります。避難所についても、ソフト・ハードの両面から見直しを行っております。

## ご質問・ご意見への回答・考え方一覧（妻沼南小学校区）

No.	区分	質問・意見	回答
1	再編方針案 全般	他市では公共施設再編の動きが見られないのはなぜか？	公共施設再編の動きは全国的なものではありますが、団体ごとの公共施設の状況の違いや、計画の進捗状況の違いもあると思われます。
2		熊谷市街地だけ手厚い案は良くない。	各エリアには(仮称)生涯活動センターを整備し、また必要に応じ、行政センター機能の受け皿となる出張所を設置し、利便性を確保していく予定です。また地域体育館、地域会館等によって構成される地域拠点施設を小学校区ごとに整備する予定です。この拠点施設が、地域の中核的な施設として利用されることを想定しています。併せて、地域公共交通の充実を推進し、高齢者にも利用しやすい施設への交通手段を模索してまいります。
3		不要な建物や老朽化の進んでいる建物なら仕方ない。	公共施設の再編にあたっては、各施設の耐用年限や老朽化の状況、コスト、利用状況等を総合的に判断し、住民サービスの維持・向上を目指して計画案を作成しております。
4		施設の統合が実施される計画ですが、高齢化が進むなか使用の向上を図ってもらえるようにしてもらいたい。使用が不便にならないようにしてもらいたい。	公共施設の再編と併せて、地域公共交通の充実を推進し、施設利用者の交通手段を模索してまいります。
5		公共施設も設備を良くして提供されたい。	施設整備に当たっては、従前の施設機能を維持しつつ、新しい施設によるサービスを提供してまいります。また利用する方々からの御意見を伺っていくことを考えております。
6		学校の統廃合も含め、利用可能な施設を地域に生かして下さい。	公民館・集会所機能等を学校に移転集約し、学校を「地域拠点施設」とする案を考えております。また廃校後の施設の活用可能性については、サウンディング調査(案件内容決定の前段階での公募による民間(事業者)の意向調査等)の実施の可否も含め、地域の意見を伺いながら検討してまいります。
7		本日初めて参加し資料をみせていただきました。いろいろたいへんな事と思いますのでよろしくお願いたします。子供、孫も大きくなっていますので学校の合併はいいのですが老人としての施設の確定を楽しみにしています。	各エリアに(仮称)生涯活動センターを整備し、また小学校区ごとに地域体育館、地域会館等によって構成される地域拠点施設を整備する予定です。この拠点施設が、地域の中核的な施設として利用されることを想定しています。併せて、地域公共交通の充実を推進してまいります。具体的には、民間路線バスや「ゆうゆうバス」、地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによって構成される公共交通ネットワークを整備し、御高齢の方にも利用しやすい施設への交通手段を模索してまいります。
8		公共施設再編で最新設備でお願いしたい。	施設整備に当たっては、従前の施設機能を維持しつつ、新しい施設によるサービスを提供してまいります。また利用する方々からの御意見を伺っていくことを考えております。
9		本来の必要な集約なら仕方ない。	公共施設の再編にあたっては、各施設の耐用年限や老朽化の状況、コスト、利用状況等を総合的に判断し、住民サービスの維持・向上を目指して計画案を作成しております。

No.	区分	質問・意見	回答
10	再編方針案全般	孫が市外の学校から妻沼地域の小学校に転校してきてから、勉強が疎かになったという。以前の学校は1学年5クラスで切磋琢磨できたが、今の学校は人数が少なく、それぞれの順位や役割などが固定化され、向上心や競争意識がなくなっているのが原因のようだ。早く妻沼南小と統合してほしいといっている。統廃合に反対している保護者は、一定規模の学校を知らないからだ。 学校統廃合に賛成。子どもの教育にはある程度の規模の学校が必要だと思う。市は、今後の子ども人数なども勘案して、将来を見据えて学校統廃合の案を示しているが、とても素晴らしいことで応援している。ぜひ統廃合を進めてほしい。	学校の統廃合は、子ども達の教育環境の向上を図ることを第一に考えております。子ども達に「知・徳・体」の確かな学力を身に付けさせるためには、ある程度の規模(クラス替えのできる規模)の中で子ども達に学ばせた方が、さらに力を伸ばすことができると考えております。
11	再編方針案全般・人口施策	個別施設計画を進めていくと、エリアの差が顕著になるのではないかと？中央エリアだけが優遇されているのではないかと？	公共施設の再編に当たっては、各エリア・各地域ごとに施設の再配置について検討しています。また、市に1箇所までよい施設につきましては、最も適した場所に整備してまいります。
12	人口施策等	人口減少が見込まれるから施設を減らすというのでは、市が衰退してしまう。人口減少に対する対策は行っているのか？人口を増やす努力をする必要がある。	人口減が想定されることから、公共施設の再編を計画しております。一方、熊谷市では少子化・人口減少対策として種々の施策(三世帯同居補助、新幹線通勤補助、若年層への固定資産税免除、子ども医療・学童保育等の子育て支援策の充実、雇用促進のための企業奨励金等)も実施しています。
13		現状でも住民が少なく、自治会役員になる人がいない状況である。公共施設が減ると、妻沼地区の人口減少に拍車がかかってしまい、自治会の負担も更に大きくなってしまっているのではないかと。	人口減少対策として種々の施策(三世帯同居補助、新幹線通勤補助、若年層への固定資産税免除、子ども医療・学童保育等の子育て支援策の充実、雇用促進のための企業奨励金等)を実施しています。
14		学校の統合については決定事項なのか？ 星宮自治会では反対意見を市に伝えたと聞いたが。	将来的に人口が減少することが推計され、少子化による単学級・複式学級化が見込まれております。教育環境改善のため、規模適正化のために統合を進めていきたいという考えであり、決定事項ではありません。 星宮地域については、現在、各団体やPTA代表者の意見を伺っているところです。
15		学校統合について、子供たちの意見は聞かないのか。	H29の市民アンケートでは、中学生以上の市民に対して実施しました。
16	学校統廃合	適正規模と言っているが、3つの学校の子供たちの数が減れば、適正規模を保つため、またどこかと統合するのか。小規模がだめとしか聞き取れない。	現時点の人口推計を基に、早急に対応が必要なところから進めているところです。
17		学校統廃合についての子どもの考えを聞くべきだとの意見があったが、子供の意見だけではよくないと思う。子どもの意思を尊重することは大事だが、子どもの教育については、責任ある大人が考えるべきことだ。(意見)	—
18		他市の学校統廃合状況はどうなっているのか。	行田市も学校統廃合の話が進んでいると聞いています。行田市立の星宮小学校と行田中央小学校とが、また行田市の東部にある太田東小と太田西小とが統合予定と聞いております。また、行田市では小中一貫校の整備を行う予定となっているようです。深谷市では今のところ具体的な計画はないと聞いています。

No.	区分	質問・意見	回答
19	学校統廃合	妻沼地域の保護者等の意見交換会ではどのような意見質問がでたのか？	通学方法、体操着などの学用品はどうなるのか、給食はどうなるのか、などの御質問をいただきました。また、学校がなくなることで、地域が衰退してしまうのではないかと、などの御意見をいただきました。
20		学校の統合を急ぐべきではないのではないか？	児童生徒数が減少していて、今後も減少が見込まれているため、検討を進めています。
21		施設の老朽化を理由の一つとしているが、修繕すればいいのではないかと？学校統廃合は経済的な理由ではないのか。	公共施設の修繕等については継続的に実施しておりますが、建築物には耐用年限があり、これは施設の構造により異なります。個別施設計画作成にあたっては、原則的には耐用年限まで施設を使用することを想定しております。ただし、市の施設は建設された時期が集中していることから、同時期に耐用年限が到来することを想定して対応する必要があります。一方、学校の統合については、子どもたちの教育環境を第一に考えて計画案を作成しています。
22		学校統合にあたっての学校の組み合わせについて、地域の要望を聞いてほしい。	御意見・御要望については、随時伺わせていただきたいと思いますと考えております。
23		太田小、男沼小は統合により体操着が変わりスクールバスとなるとの話だが、妻沼南小へも同様に説明するのか。	妻沼南小学校区全体の説明会は初めてであり、今後させていただきたいと考えております。
24		2025年に統合とのことだが、決断時期はいつか。	今は申し上げられません。2025年の統合に向け、さらに前から準備をする必要があることから、早めの決定としたいと考えておりますが、決断時期については明示できません。
25		熊谷市と学校統廃合しない深谷市との違いは何か。	深谷市は統廃合しないのではなく、まだ議論が進んでいないのではないかと、と思われます。また、深谷市と比べ、熊谷市は学校数も多く、学校規模が小さいことも理由の一つです。
26		学校統合について、反対が多数の場合には、「統廃合しない」ということもあるのか？また今後、説明会は何回開催するのか？	児童生徒数の減少が見込まれる中、子どもたちを第一に考え、より良い教育環境を整えるために学校統廃合計画案を提示しています。今後の説明会の開催回数については、進捗次第となります。
27		学校統合について、現在提示されている案は一つであるが、地域の意見を聞いたうえで、複数案を示すことも考えられるのか？	根拠に基づいて、最適と思われる案を提示していくことを考えていますが、現状では、より適正規模となる案を示しており、案は一つになっております。
28		意見をよく聞いて、よりよい学校を作ってもらいたい。	今後も説明会等を実施し、地域の方・保護者の方からの御意見を伺っていきたくと考えております。
29	合併案が1本で提示されている。他に案が1つも無いのはなぜか。この案だけで提示されたら、その計画前提で居住地の選択もされる。地域の意見をどう組み込んでいくのか。	三校(妻沼南小、太田小、男沼小)による統合のほうが適正規模に近づくという理由で、統合案を作成しています。今後も説明会等を実施し、地域の方・保護者の方からの意見を伺っていきたくと考えております。	

No.	区分	質問・意見	回答
30	学校統廃合	(学校統合について)他に方策が無いなら仕方ない。	学校統廃合は、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するために推進するものです。子どもたちが適正規模の学校において、集団での生活や役割等を学べるようにしたいと考えています。
31		人口減少の為なら他によい案がないのでよいか。子供のためにあるていどの人数が必要です。資料通りでよい。少人数だと競争意識がなくなるそうです(きいた話)	学校統廃合は、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するために推進するものです。子どもたちが適正規模の学校において、集団での生活や役割等を学べるようにしたいと考えています。
32		(学校統廃合について) やむを得ない。	—
33		教育(子育て)環境で統合すると市費用は軽減するが人口増は考えられない。	学校の統廃合は、子ども達の教育環境の向上を図ることを第一に考えております。子ども達に「知・徳・体」の確かな学力を身に付けさせ、多様な考え方に触れさせるには、ある程度の規模(クラス替えのできる規模)の中で子ども達に学ばせた方が、さらに力を伸ばすことができると考えております。 一方、熊谷市では少子化・人口減少対策として種々の施策(三世代同居補助、新幹線通勤補助、若年層への固定資産税免除、子ども医療・学童保育等の子育て支援策の充実、雇用促進のための企業奨励金等)も実施しています。
34		現在の学校は地域の特色を生かして教育されているが統廃合によりその特色が薄れていくと感じられる。	それぞれの地域には、歴史・地域性や伝統があり、今後も尊重し継承していくべきであると考えます。学校統合した後も、このための機会をしっかりと確保しつつ、未来の熊谷を担っていく子どもたちの健全な成長のためにも、より広い地域の一体化や連携を図ることにより、より良い教育環境の整備をはかっていきたいと考えております。
35		(学校統合について、)子供の意見をきく事。	子どもたちの意思は大事ですが、子どもの教育について考えるのは大人の責任であると考えます。
36		生徒減が進むので仕方が無いと思う。子供達が不便を感じる事が無いように対策をたててほしい。部活動ができなくなってしまうのは子供達によって良くない事だと思う。	学校の統廃合は、子ども達の教育環境の向上を図ることを第一に考えております。子ども達に「知・徳・体」の確かな学力を身に付けさせるためには、ある程度の規模(クラス替えのできる規模)の中で子ども達に学ばせた方が、さらに力を伸ばすことができると考えております。また、クラブ活動や委員会活動、部活動の多様な選択ができると考えます。また、統合の方向性が決まった際には、新校の設立に向けた検討委員会を設立し、詳細を検討・決定していきたいと考えております。
37		(学校統合について、)計画にそって進めるべきである。100%の賛同はない。※自信を持って統合させて下さい。	—
38	妻沼小-南小で統合、太田-男沼で統合という案ではどうか。	将来的な推計から判断し、三校(妻沼南小、太田小、男沼小)による統合のほうが適正規模に近づくという理由で、統合案を作成しています。	

No.	区分	質問・意見	回答
39	学校統廃合・スクールバス・地域活動	学校統合について、しかたがない事という部分も理解していますが、地域の人口減少や活動がしにくくなるのではないかと心配しております。スクールバスを利用することで大人数の子どもが事故にあう心配などその時の対応などもこまかいことも考えてもらいたい。	学校統廃合や施設再配置が地域の不活性化や衰退を招かぬように、地域拠点施設を整備し地域の活動の場を確保し、地域公共交通の充実・再編などに努めてまいります。スクールバスについては、学校統合の方向性が決定した後、学校や保護者、地域の皆様と相談しながら、具体的・詳細な部分を決定していきたいと考えています。
40	学校統廃合・避難所	現在の計画では、国道407号以西に学校が無くなり、避難場所も無くなってしまふ。例えば、妻沼西中学校を統合先にすることは考えていないのか？	御意見として伺います。避難場所については、現在検討中です。
41		単学級ではだめなのか。	令和2年4月には小学校の学習指導要領、令和3年には中学校の要領の改定が予定されております。新学習指導要領においては、子ども達の主体的な思考が求められています。市としては、一定以上の児童生徒数による学習を行い、多様な考え方に触れる機会・環境を整えていきたいと考えております。
42	適正規模	保護者側の不安にもう少しよりそった会議にしてもらいたいです。小規模校の魅力にひかれ、南小に入学させたのですが…。統合になると…。残念です。(保護者意見)	今後も説明会等を重ね、地域の方・保護者の方の御不安・疑問を解消し、御意見を伺っていきたくと考えております。
43		子供の人数が多ければ気の合う友達とも出会える可能性があるのでは良いと思う。一方で少人数校の方が団結力もあるし学力も高いように思える。1クラスの人数は多すぎない方がよい。目が行き届いていない気がする。	小規模校の良さはたくさんありますが、子ども達に「知・徳・体」の確かな学力を身に付けさせ、多様な考え方に触れさせるには、ある程度の規模(クラス替えのできる規模)の中で子ども達に学ばせた方が、さらに力を伸ばすことができると考えております。
44		登下校の負担、安全対策をしっかりと考えてほしい。	基本的には、統合により学校が無くなった地域の児童が通学する際には、無料スクールバスを利用することを想定しています。具体的な運行方法は、今後学校や保護者、地域の皆様と相談しながら、安全に通学できる方法を決定したいと考えています。
45	通学・スクールバス	統合となると男沼小学校、太田小学校通学に子供達は大変だと思います。	統合により学校が無くなった地域の児童が通学する際には、無料スクールバスを利用することを想定しています。具体的な運行方法は、今後学校や保護者、地域の皆様と相談しながら、安全に通学できる方法を決定したいと考えています。
46		孫がスクールバスで学校に通うことを楽しみにしている。	—
47	給食	給食をセンター方式にすることは本当にいいことなのか。他の説明会に出席したことがあるが、今回のように、給食に関する資料を用意して説明されたのは初めてだが、どういう事か。	資料があるほうが市の方針を、より伝えることができると考え作成しました。センター方式には、衛生管理・アレルギー・異物混入について一括で管理できるというメリットがあります。現在、アレルギー対策として、牛乳(を提供しない)や卵の一部除去をおこない、安心安全な給食を提供していますが、今の設備では限界があるため、新たな設備の導入に併せ、新たな品目の除去も検討してまいります。なお、給食の質については、基準をもとに調理しております。

No.	区分	質問・意見	回答
48	給食	給食について、自校式を継続し施設を分けておくことで、食中毒等のリスクを分散させることができるのではないかと？	センター化による管理一元化により、衛生管理の徹底を図り、安心・安全な学校給食を提供できると考えております。
49		給食は委託なのか。	熊谷と江南の給食センターの調理搬送は委託です。新センターについても委託を想定しております。
50		給食のセンター化の理由について、安心・安全と公平性に関しては考え方の違いがあると思うが、「魅力ある学校給食」はセンター化の理由にならないのではないかと？	魅力ある学校給食の提供は、センター化することにより、よりよい給食の提供ができるという観点から書いたものです。
51		現在、自校式給食で手作りの給食を食べている。 自校式給食とセンター式給食それぞれの手作り率はどうなっているのか？	どちらの方式でも、手作りをしている部分はありますが、率については不明です。
52	その他 学校関連	適正規模というが、子ども同士の話し合いで、多様な意見が出るのか。少数だといろいろな意見を聞けないと言っていたが、それを引き出すのが先生の役割なのではないかと？	教員については、ベテラン、若手、男女比など、バランスの良い配置を工夫し、子供たちにとってより良い学習環境を提供していきたいと考えております。
53		私立の高等学校等が市内にないが、県南との違いは何か。	普通・工業・商業・農業高校と様々な形態の高等学校が充足されていたことが原因と考えられます。
54		教育は百年の計！	—
55	公共交通	新施設の設立は良いと思いますが、近くにあった施設がなくなる事によって利用しづらくなる方(高齢で交通手段に困るなど)の為に交通手段は考えているのでしょうか？(無料シャトルバスなど)	公共施設再編にあたり、地域公共交通の充実を推進してまいります。具体的には、民間路線バスや「ゆうゆうバス」、地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによって構成される公共交通ネットワークを整備し、利用しやすい施設への交通手段を模索してまいります。
56		地域をつなぐ交通を整備してほしい。市の目的を明確にしてほしい。	公共施設再編にあたり、地域公共交通の充実を推進してまいります。具体的には、民間路線バスや「ゆうゆうバス」、地域循環バスとしても活用可能なスクールバスなどによって構成される公共交通ネットワークを整備し、利用しやすい施設への交通手段を模索してまいります。
57	庁舎	公共施設の再編となると、施設が残る地域は便利だと思う。庁舎については、分庁舎を進めるべきではないかと？住民の生活を中心に考えてほしい。	庁舎機能については、本庁機能を集約することで業務効率化を図る一方、必要に応じて各エリアに整備予定の(仮称)生涯活動センター内に、行政センター機能の受け皿となる出張所を設置し、利便性を確保していく予定です。
58	図書館	北部に図書館をなくしてしまうのかいかなものか。子ども達は西部の図書館まで自転車で行かなければならないのか？	西部エリアに図書館を新たに新設することを検討しておりますが、妻沼図書館についてはエリア内での存続を想定しております。
59	公民館	妻沼公民館について、地域住民の集いの場として残してほしい。(意見)	—

No.	区分	質問・意見	回答
60		妻沼公民館で活動をしているが、畳の部屋で座るのが大変。また、妻沼中央公民館等から椅子を借りてくることもあり、使い勝手が良くない。一刻も早く農業研修センターに移転していただきたい。(意見)	—
61		妻沼公民館が農業研修センターへ移転するという件について、賛成意見があったが、利用者の総意ではない。反対意見もあるという現状を知っていただきたい。(意見)	—
62	公民館	熊谷市は近隣の市に比べ遅れていると感じます。特に深谷市と比べると大変の差があります。私は趣味の関係で良く深谷市の公民館を使いますが、熊谷市内の公民館施設と比べると大変な差を感じます。	本計画では、各エリアに、妻沼中央公民館のような大きい拠点的な公民館の機能とコミュニティセンター、市民活動支援センター等、色々な考え方や活動したりする市民が集まる施設をつくり、皆さんに使っていただくことを想定しております。併せて、近隣にある活動の場として、地域会館を整備し、用途に合わせて生涯学習センターと地域会館のどちらかも利用できるようなし、地域活動の場を充実させていくことを計画しています。
63		全体に利用する対象者は高齢者が多い。では、公民館の設立の時は地域住民の利用を検討して作ったのではないか。	現在の公民館機能を、貸館機能と生涯学習機能に分け、現在の公民館区域ごとに地域の方々のサークル活動等にご利用いただく貸館施設としての地域会館と、講座等を行う生涯学習機能を生涯活動センターに集約するものです。用途に合わせて生涯活動センターと地域会館のどちらでも利用できるようなし、地域活動の場を充実させていくことを計画しています。
64	地域施設	地域拠点施設について、小学校敷地内に施設を作ると聞いたが、部外者を入れなくてはならず、子どもの安全性が保たれるか心配である。	入口や動線を分ける等の方針を考えております。まだ具体的な計画は進んでおらず、今後意見を取り入れながら検討いたします。
65		統合することは地区の住民の集いの場を作れない。	地域体育館、地域会館等によって構成される地域拠点施設を小学校区ごとに整備する予定です。この拠点施設が、地域の活動の場・集いの場として利用されることを想定しています。
66	避難場所	学校統廃合による避難場所はどうなるのか。	昨年の台風19号の際、市内全小中学校を避難所として開設しましたが、避難所についての課題が明らかになりました。現在、浸水災害時における避難のあり方を、再検討しているところです。なお、地域ごとに指定した避難場所というものはございません。一番大事なのは「早めの避難」であり、ハザードマップやメルくまを参考に、市からの情報をもとにして被害が少ない場所へ早めに避難していただきたいと思います。
67	公共施設全般	保育所の統合と大ホール集約は見直してほしい。屋外プールが1つも無いのも、子供のあそび場としての重要性を再検討してほしい。	「公立保育所の統合」の統合につきましては、2つの基本的な考え方があり、ひとつは、公立保育所の「老朽化」への対応と、もうひとつは今後の少子化の流れの中で、既にある「民間保育施設の運営の安定」を優先させ、公立保育所から民間保育所へ移行していくというものです。 大ホール・屋外プールについては、老朽化の状況、維持コスト、利用状況等を総合的に判断して計画案を作成しております。
68	跡地利用等	廃校後の学校跡地は、千葉県鋸南町のように、廃校後の校舎を道の駅にしている例もある。	廃校後の施設の活用可能性については、サウンディング調査(案件内容決定の前段階での公募による民間(事業者)の意向調査等)の実施の可否も含め、地域の意見を伺いながら検討してまいります。

No.	区分	質問・意見	回答
69		ワークショップの内容は「公共施設を10%減らしたチームが勝ち」という内容と聞いた。公共施設の削減が前提のようで悲しくなった。	限られた条件・状況の中でどうすればよいかという、一つのルールでしたので御理解いただきたいと思います。まお、施設面積以外に、市民満足度や地域満足度、インフラの健全化に充てる財源の確保なども考慮したルールとしました。
70	地域の意見の傾聴	今までの説明会では、参加者は学校統合ありきで質問をしている印象ではあったが、中には反対意見もあった。こういった意見も聞いてほしい。今後、人口が減れば、文化の継承もできなくなってしまう。 また、住民アンケートは無作為に行っており、地域の意見を聞くことはできていないのではないかと？	今後も説明会等を実施し、地域の方・保護者の方からの意見を伺っていきたくと考えております。また、文化の継承や活動については今後どうすれば続けていけるかについては、課題であると捉えております。
71		地域施設についても住民の意見を聞いてもらいたい。	今後も説明会等を実施し、地域の方からの御意見を伺っていきたくと考えております。
72		皆さんは不満が多いと思いました。その思いが全て解消できないと思いますが、半分以上の意見を大切にしてもらいたいです。(保護者意見)	今後も説明会等を重ね、地域の方・保護者の方の御不安・疑問を解消し、御意見を伺っていきたくと考えております。
73	地域活動・地域コミュニティ	各地域の伝統行事等は続けてほしいと市側は言うけれど、地域に若い人や子供が減るのは目に見えている。学校が無くなれば益々加速する。承継も困難になると思う。市内中央以外の住民は、高齢化が進む中、生活の困難度が上がるのではないかと。	各エリアには(仮称)生涯活動センターを整備し、行政センター機能の受け皿となる出張所を設置し、利便性を確保していく予定です。また地域体育館、地域会館等によって構成される地域拠点施設を小学校区ごとに整備する予定です。この拠点施設が、地域の中核的な施設として利用されることを想定しています。併せて、地域公共交通の充実を推進し、高齢者にも利用しやすい施設への交通手段を模索してまいります。
74	アンケート調査	妻沼地区は農業に関わる人が多いのに、アンケート欄に農業という職業がなぜないのか。	これまで実施したアンケートの区別ですが、「経営者」という認識でおります。
75		説明会のレイアウトについて、すべての発言者の顔が見えるように工夫をしていただきたい。また、多くのひとの意見が聞けるように、一人あたりの発言時間を決めた方が良いのではないかと？	持ち帰って検討いたします。
76	説明会	具体的な説明が少なかったのがわからなかった。	今回の説明会では、公共施設再編方針について説明をさせていただき、個別の施設の具体的なお話までは出来ませんでした。今後、地域の方、学校の保護者・PTAなどを対象とした説明会を開催していく予定です。また、市政宅配講座の方法でお届けすることもできますので、施設マネジメント課まで御相談ください。
77		南小の保護者が参加している人数が少なすぎる。その中で統合についての意見が上がりもしない中で決断要素になるのでしょうか。(妻沼小保護者意見)	今後、保護者・PTAなどを対象とした説明会についても開催し、御意見を伺っていきたくと考えております。
78		公共施設の再編は、人口減少や少子化で税収が減るなど、将来的に財政状況が厳しくなるのはわかりきっているため、絶対に進めなければならない問題だ。これを今後の説明会で強調して欲しい。	個別施設計画案の作成にあたり、学校施設と他の公共施設については別枠で考えています。学校の統廃合計画については、子ども達の教育を第一に考えたうえで作成しています。一方、他の公共施設の計画については、コスト・利用状況等を基に作成しています。説明会での説明方法については今後工夫してまいります。